

富津市市民意識調査

報告書

平成27年8月

富津市

目 次

調査の概要.....	1
1. 「富津市」についての設問.....	2
(1) 富津市への誇り・愛着.....	2
(2) 富津市の住み心地.....	4
(3) 富津市への定住意向.....	6
(4) 富津市での生活の満足度.....	8
(5) 富津市に重要なこと.....	28
(6) 参加している地域活動.....	31
(7) 地域活動への参加意欲.....	34
(8) 地域活動に参加しない理由.....	36
(9) 富津市から連想するキーワード.....	39
(10) 富津市の強み.....	40
(11) 幸せだと感じたとき・こと.....	41
2. 「結婚・出産・子育ての意向等」についての設問.....	42
(1) 子どもの数.....	42
(2) 理想とする子どもの数.....	44
(3) 富津市の子育てのしにくさ.....	46
(4) 子育てしやすいまちにするために必要なこと.....	48
(5) 未婚者が結婚しない理由.....	51
(6) 結婚の意思.....	54
(7) 結婚した場合の子どもの数.....	56
3. 回答者の属性についての設問.....	58
(1) 性別.....	58
(2) 年齢階層.....	58
(3) 居住地区.....	58
(4) 市内在住年数.....	59
(5) 転入の動向.....	59
(6) 居住形態.....	59
(7) 世帯人員.....	60
(8) 同居者.....	60

調査の概要

1. 趣 旨

- 「富津市総合戦略」の策定にあたり、富津市に関する市民の認識や考え方、市民の結婚・出産・子育てに関する意識や希望などを把握し、戦略策定のために活用することを目的として、市民向けのアンケート調査を実施するもの。

2. 調査の方法

(1) 調査時期

- ・平成27年6月2日～6月22日

(2) 調査対象

- ・市内在住の15歳以上の男女 2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

(3) 調査方法

- ・郵送による配布・回収方式

(4) 回答結果

- ・配布数：2,000 回答数：689 有効回答率：34.5%

3. 調査項目

- 「富津市」についての設問
- 「結婚・出産・子育ての意向等」についての設問
- 回答者の属性についての設問

(参考) 調査結果の見方

1. 各設問の比率は、傾向をわかりやすくするために「無回答」を除外して算出している。
2. 本文中の「SA」、「MA」は以下の略称である。また、「n」はその設問の有効回答数を示す。
 - ・「SA」(Single Answer)：単一回答形式（選択肢の中から1つを選択してもらう設問）
 - ・「MA」(Multiple Answer)：複数回答形式（選択肢の中から複数を選択してもらう設問）
3. 掲載しているグラフ中の単位は、全て「%」で、各設問の標本数を100%とした百分比で表示した。原則として小数点第2位を四捨五入してある。その結果として「SA」(単一回答形式)では、この比率の合計が100%にならないこともある。
4. 「MA」(複数回答形式)では回答者が複数の選択肢を選択するため、百分比(%)の合計は、一般的に100%を上回る。
5. 見やすさに配慮するために、以下の取組みを行っている。
 - 本文中のグラフ・表中の選択肢標記の語句の簡略化
 - クロス集計で比較対象とする選択肢を、主なもののみに限定

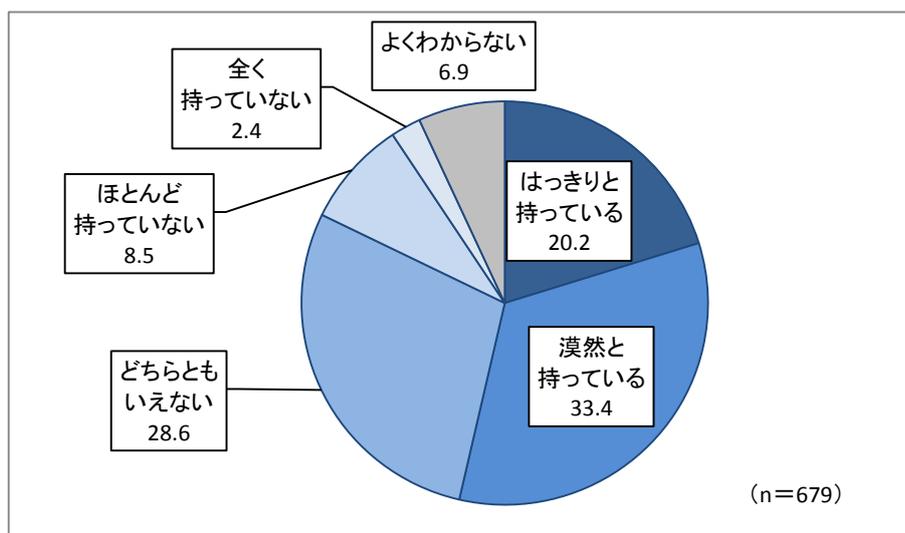
1. 「富津市」についての設問

(1) 富津市への誇り・愛着

問 あなたは、富津市に誇りや愛着を持っていますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

⇒「持っている」(「はっきりと」+「漠然と」の合計)は53.6%で、過半数を占めている。一方、「持っていない」(「全く」+「ほとんど」の合計)の比率は10.9%にとどまっており、「持っている」の比率と大きな開きがある。

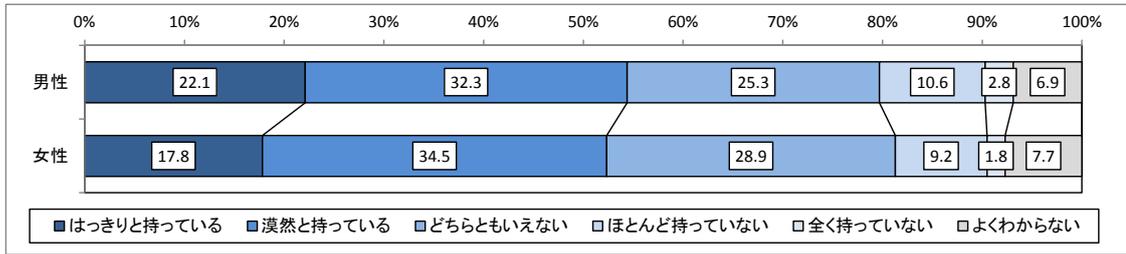
⇒全体的な傾向として、市民は富津市に誇りや愛着を感じているといえる。



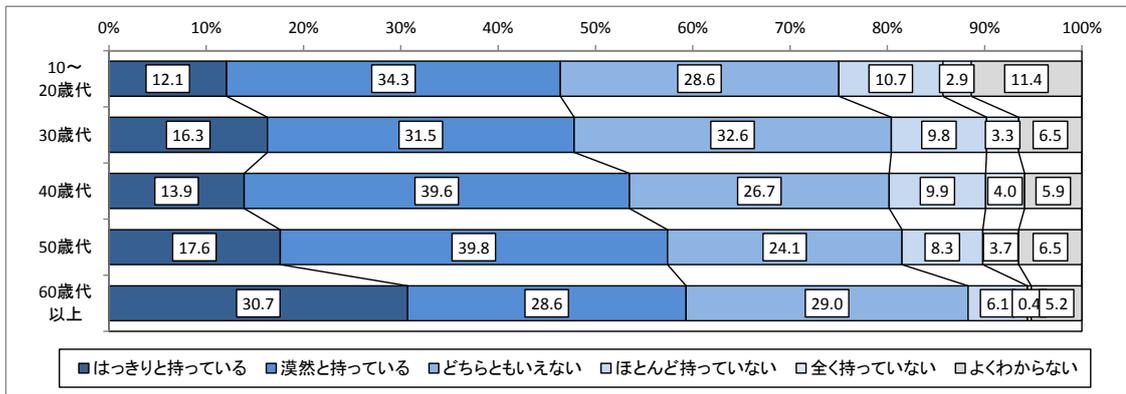
■属性別動向

- 男性の方が誇りや愛着を「持っている」比率が高くなっている。
- 年齢が高くなるほど、「持っている」とする比率が高くなる傾向がみられる。
- 「子どもがいない」層の方が、「持っている」比率がやや高い。
- 地区別では、「佐貫地区」で「はっきりと持っている」比率が他と比較して突出して高くなっている。

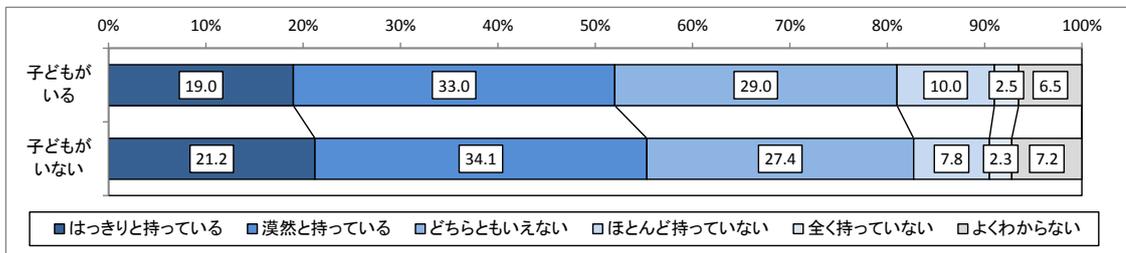
①男女別



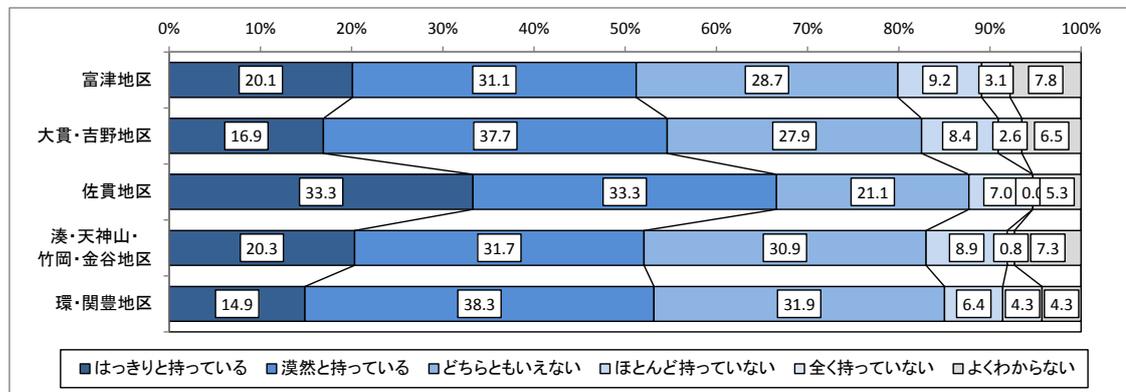
②年齢階層別



③子どもの有無別（このクロスは、同居している子どもの有無で比較したもの）



④居住地区別

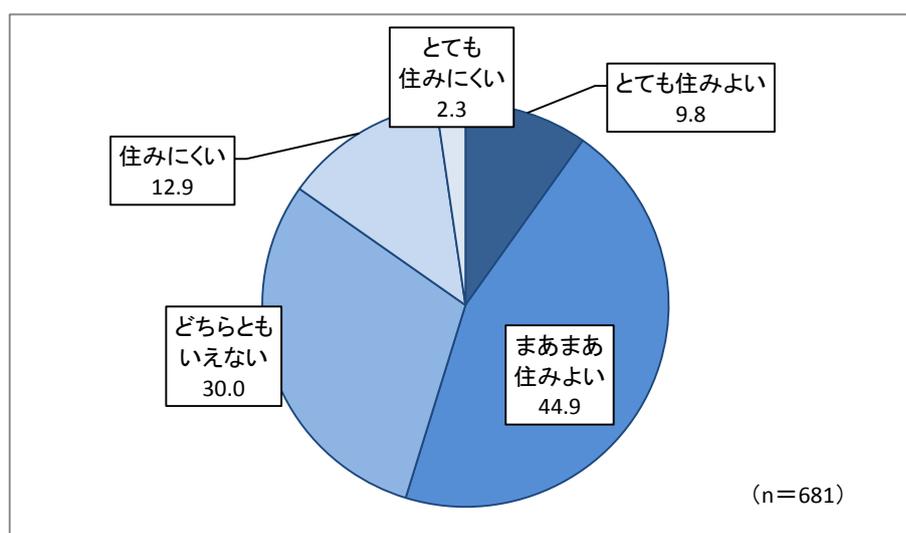


(2) 富津市の住み心地

問 富津市の住み心地はいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

⇒「住みよい」(「とても」+「まあまあ」の合計)は54.7%を占めており、「住みにくい」(「とても住みにくい」+「住みにくい」の合計)の15.2%を大きく上回っている。

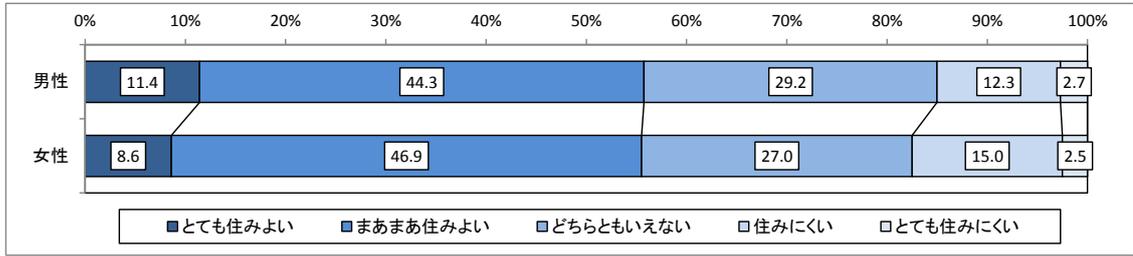
⇒市民の多くは、富津市の住み心地に満足していることがわかる。



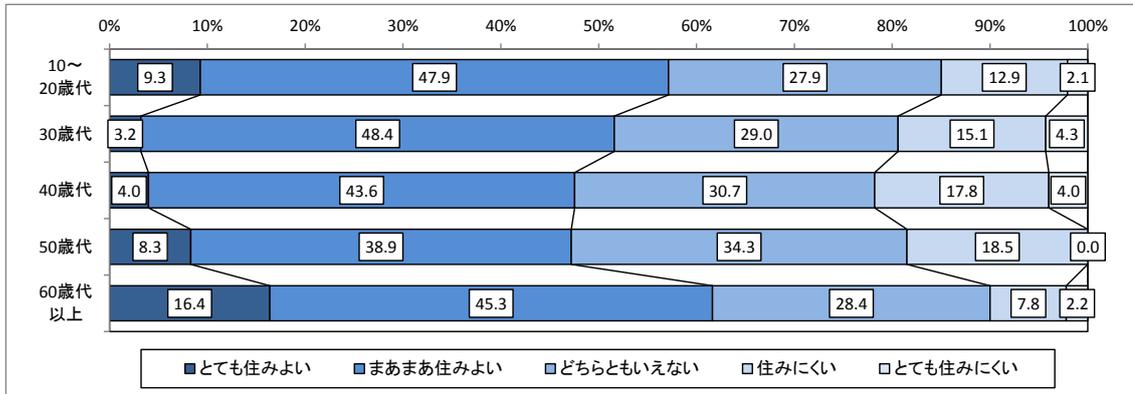
■ 属性別動向

- 男女別では、「とても住みやすい」の比率が男性でやや高くなっている。
- 年齢別では、60歳代以上で「住みよい」の比率が高く、その次に高いのは10～20歳代となっている。30～50歳代では「住みにくい」と「とても住みにくい」の合計が2割前後に達している。
- 「子どもがいない」層の方が「住みよい」との回答がやや多くなっている。
- 地区別では、「環・関豊地区」で「住みよい」の比率が低いことが目立っている。

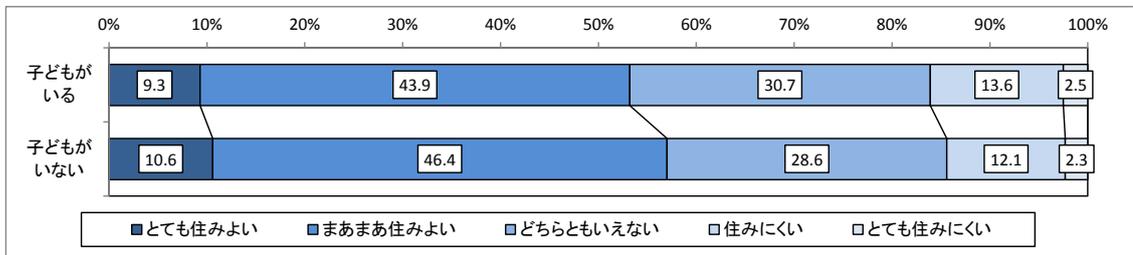
①男女別



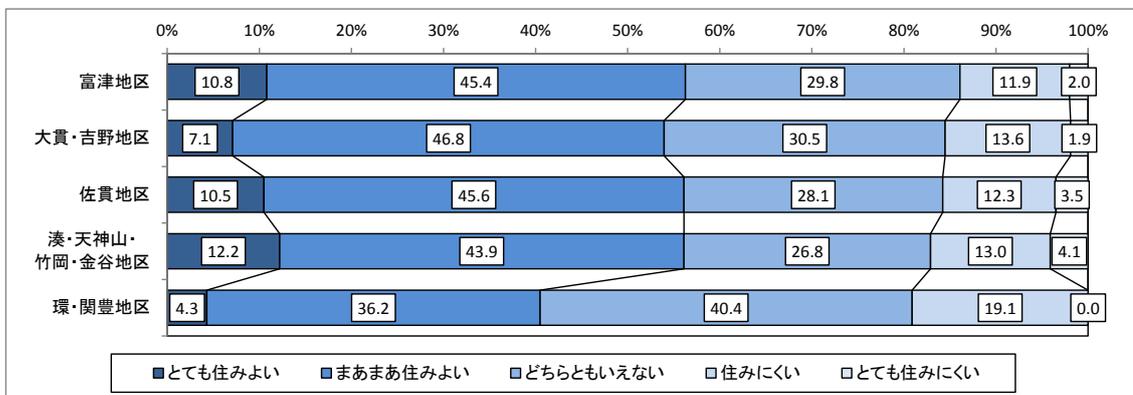
②年齢階層別



③子どもの有無別



④居住地区別

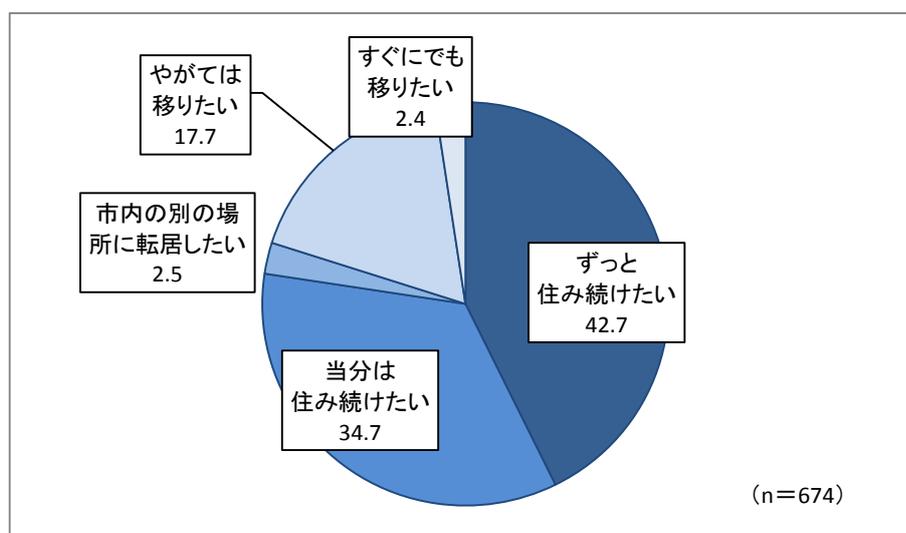


(3) 富津市への定住意向

問 あなたは、これからも富津市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

⇒住み続けたい(「ずっと」+「当分は」の合計)は77.4%と3/4以上を占めている。

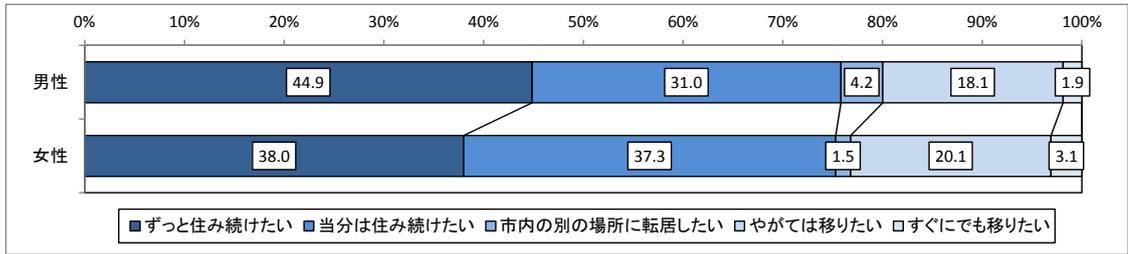
⇒市民の定住意向は、全体的にみて高いといえる。



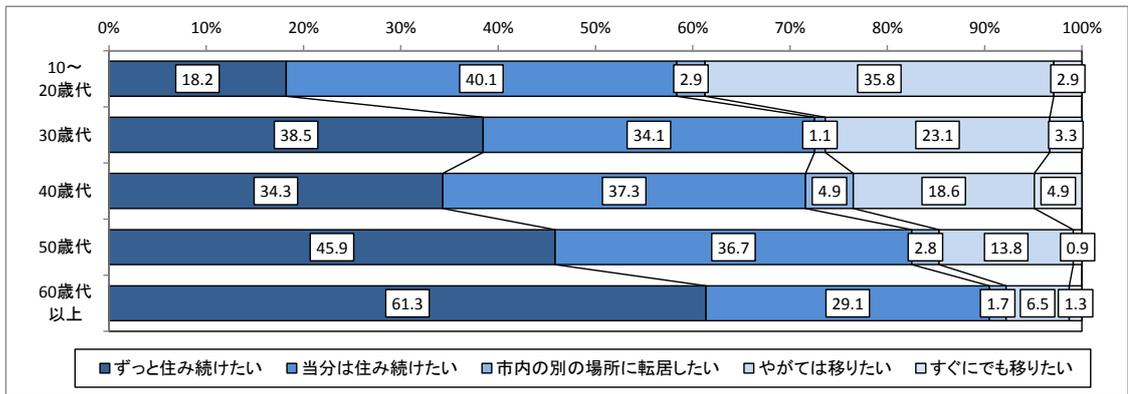
■属性別動向

- 男女別では、「ずっと住み続けたい」との回答が男性の方が多い。
- 年齢階層別では、年齢が高いほど定住意向が高く、60歳代以上では「住み続けたい(「ずっと」+「当分は」の合計)」の比率が9割近くに達している。一方、10~20歳代では4割弱が「移住したい(「すぐに」+「やがては」の合計)」と回答している。
- 「子どもがいない」層の方が「移住したい」の比率が高くなっている。
- 居住地区別では、「佐貴地区」で「住み続けたい」がやや高く、「移住したい」がやや低くなっている。

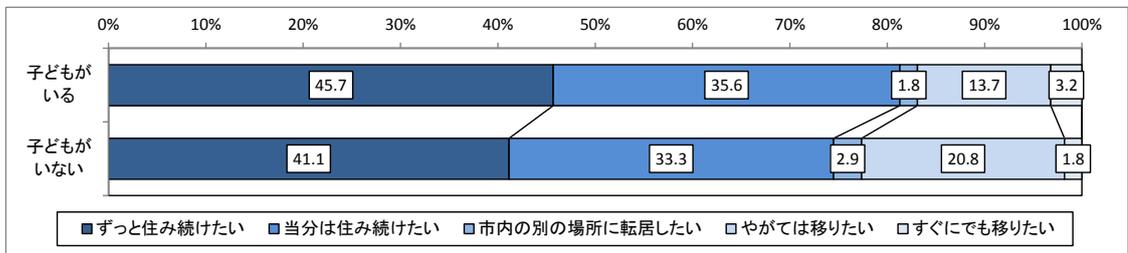
①男女別



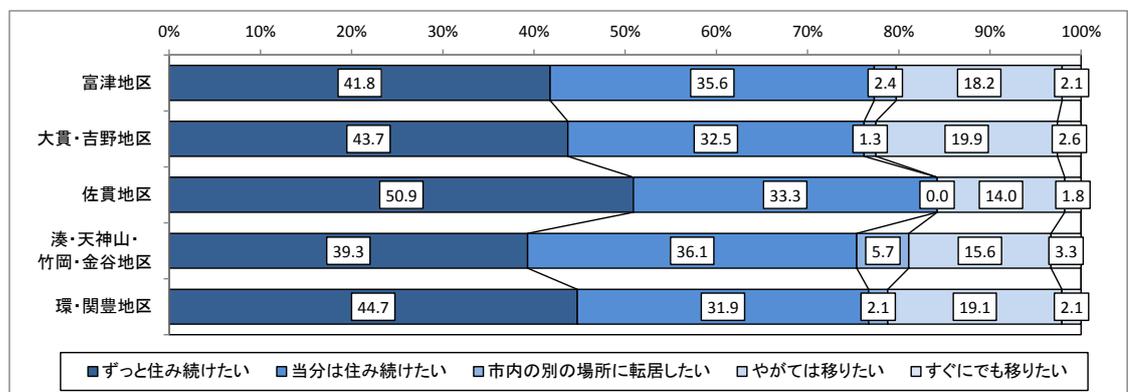
②年齢階層別



③子どもの有無別



④居住地区別

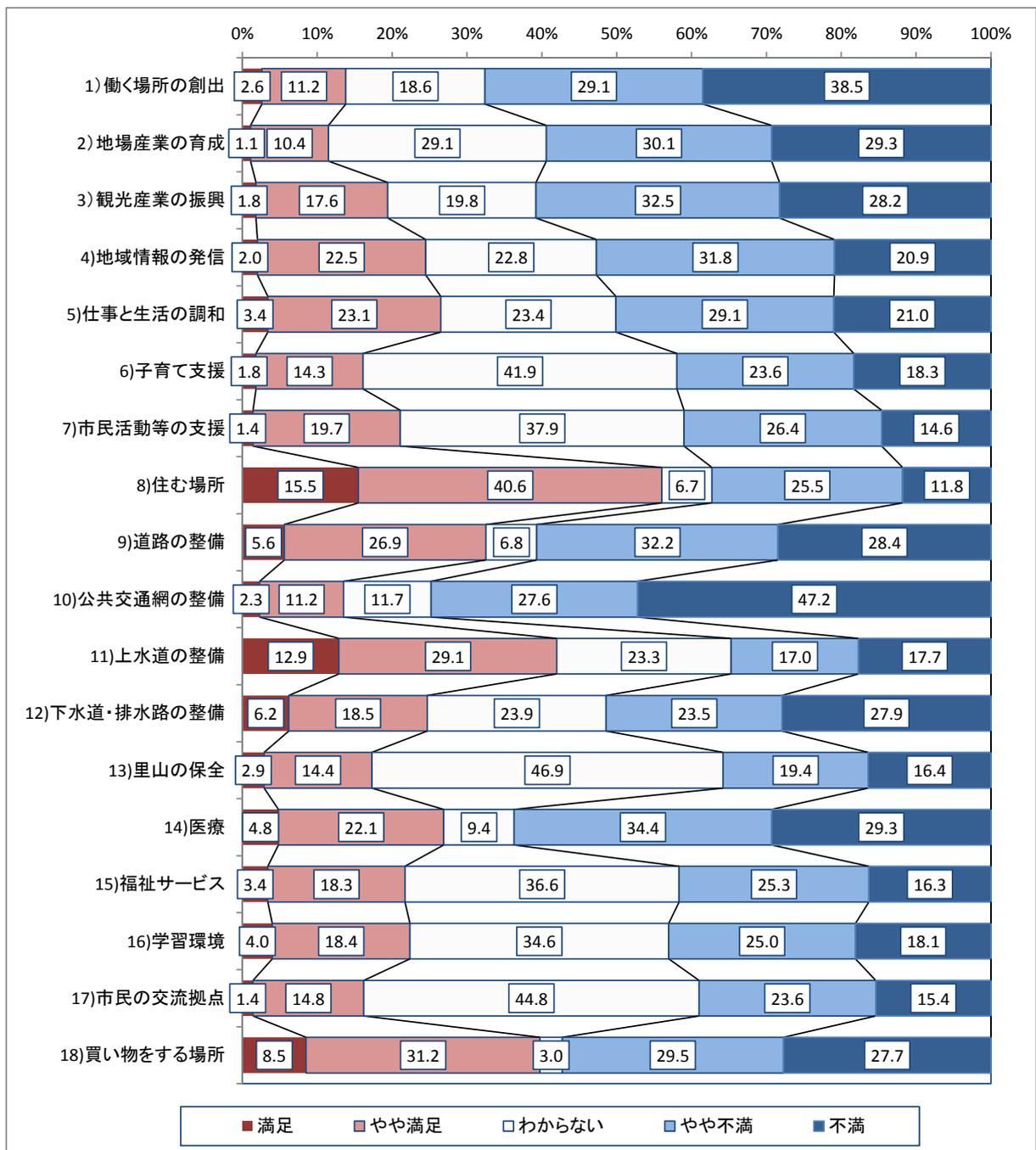


(4) 富津市での生活の満足度

問 あなたの、富津市での生活の満足度についておうかがいします。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。(各SA)

⇒多くの項目で「不満」が「満足」を上回っている。

⇒特に「(10) 公共交通網の整備」「(1) 働く場所の創出」「(14) 医療」などの項目で、不満との回答が目立っている。

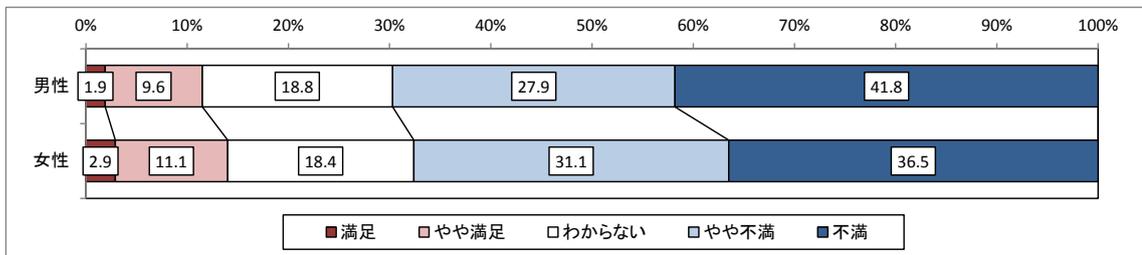


1) 働く場の確保

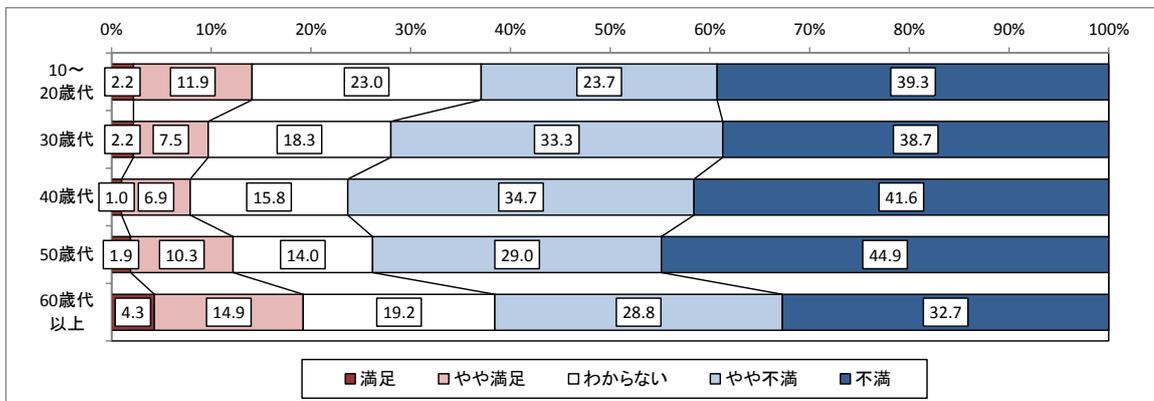
○「不満」＋「やや不満」が67.6%を占め、比率は全項目中で2番目に高い。

■属性別動向

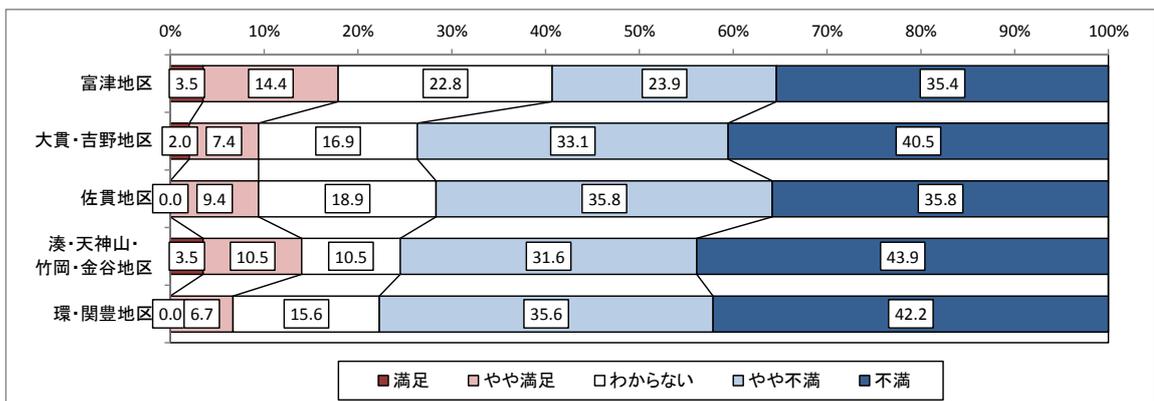
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



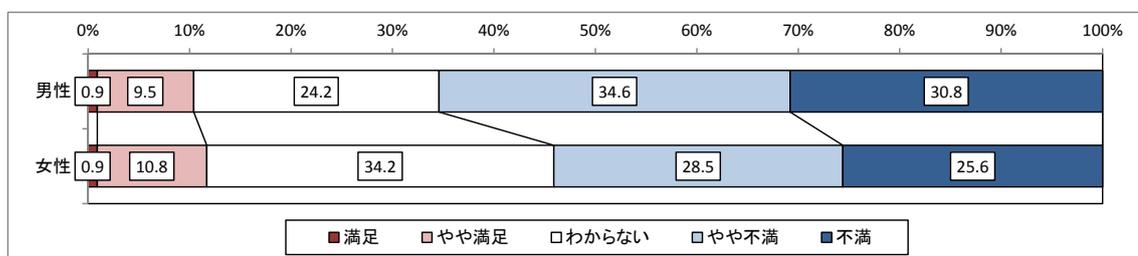
- ・男性で女性より「不満」との回答がやや多くなっている。
- ・40歳代を中心として、30歳代や50歳代でも「不満」の比率は高い。
- ・各地区とも「不満」の比率が高い中で、「富津地区」でやや低いことが目立っている。

2) 地場産業の育成

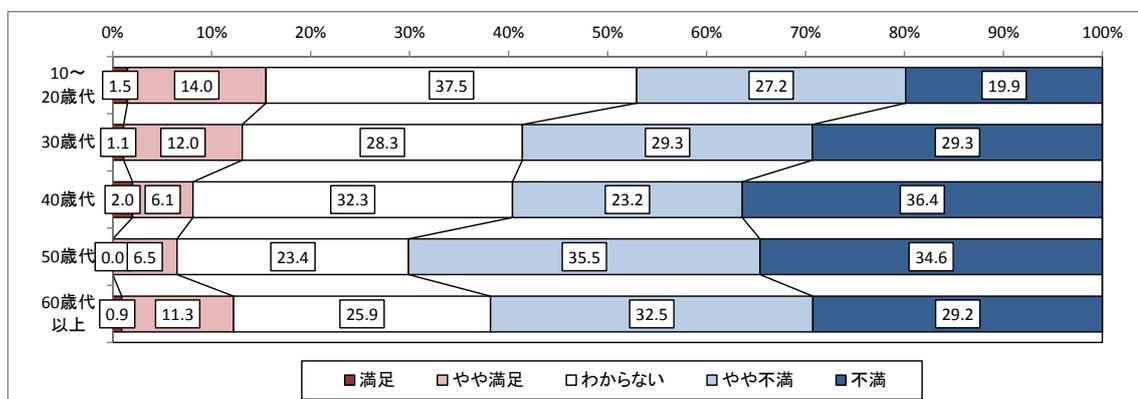
○「不満」＋「やや不満」が59.4%と過半数を占める。

■属性別動向

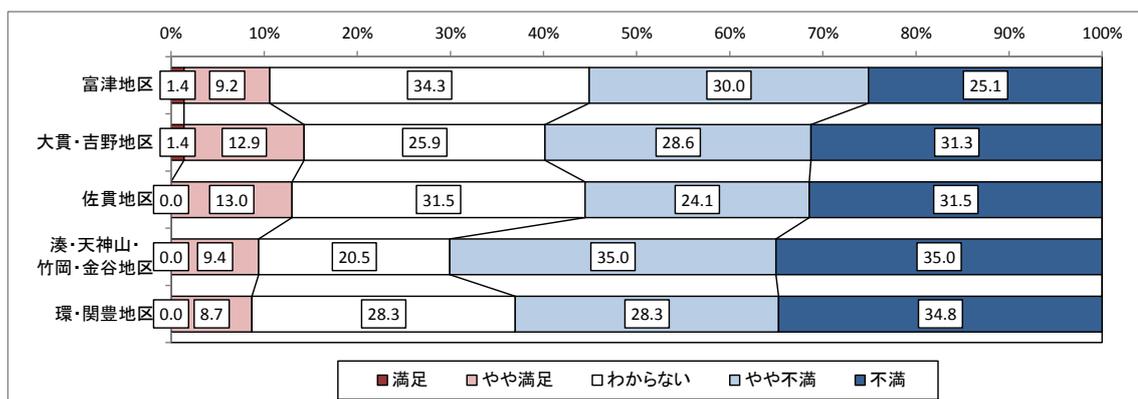
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



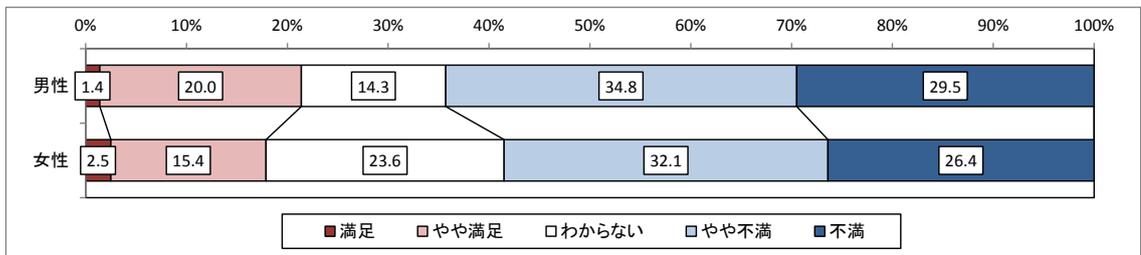
- ・男性で不満の比率が高い。女性は「わからない」との回答が多い。
- ・50歳代で不満の比率が高い。10～20歳代では「わからない」との回答が多い。
- ・「湊・天神山・竹岡・金谷地区」で、特に不満の比率が高くなっている。

3) 観光産業の振興

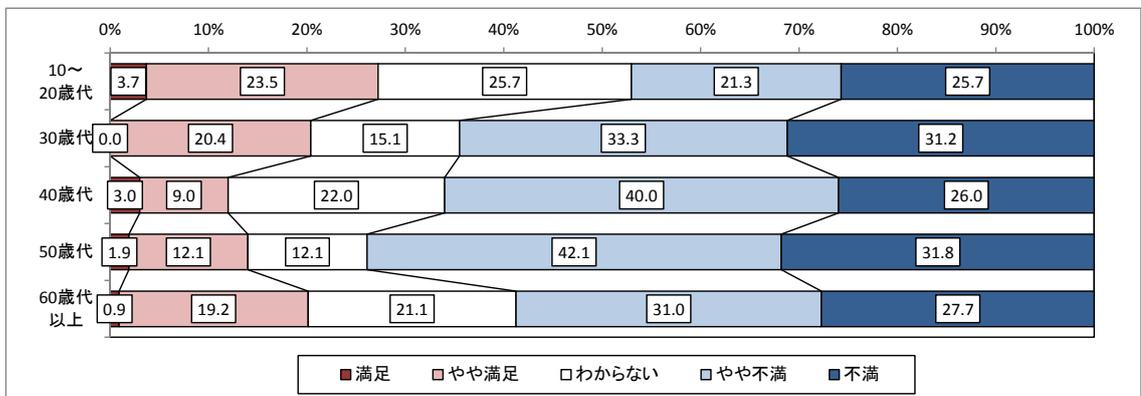
○「不満」＋「やや不満」が60.7%と過半数を占める。

■属性別動向

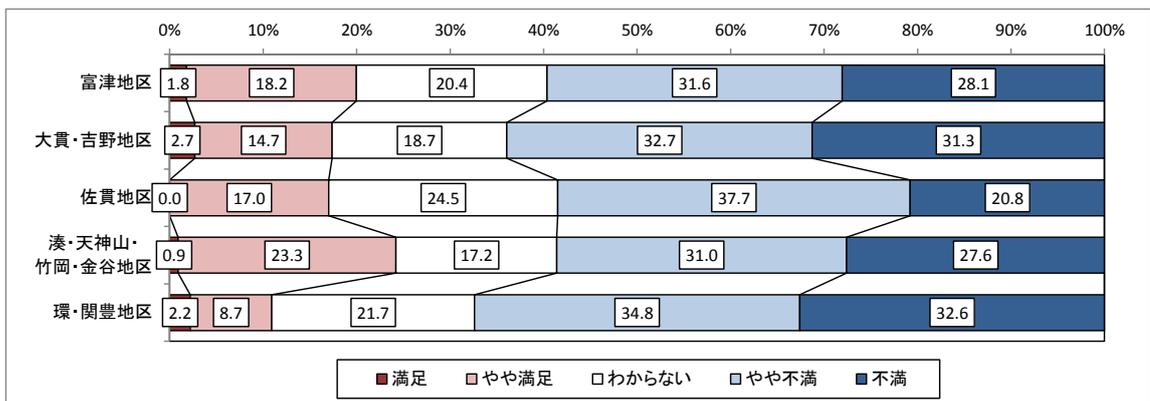
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



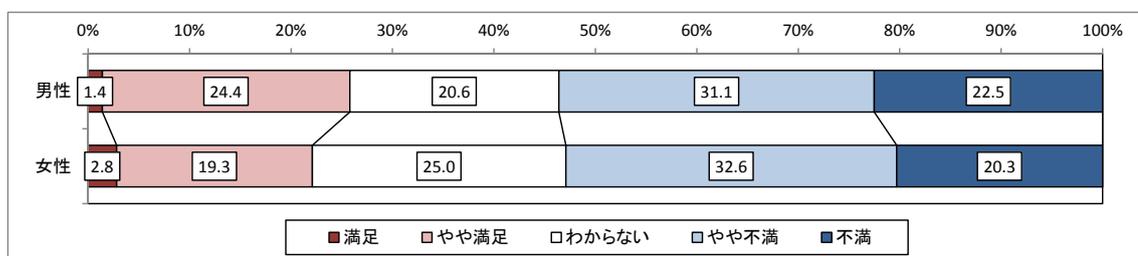
- ・男性で「不満」「満足」とも比率が高く、女性は「わからない」との回答が多い。
- ・50歳代で特に不満の比率が高い。
- ・「湊・天神山・竹岡・金谷地区」で「満足」の比率が相対的に高くなっている。

4) 地域情報の発信

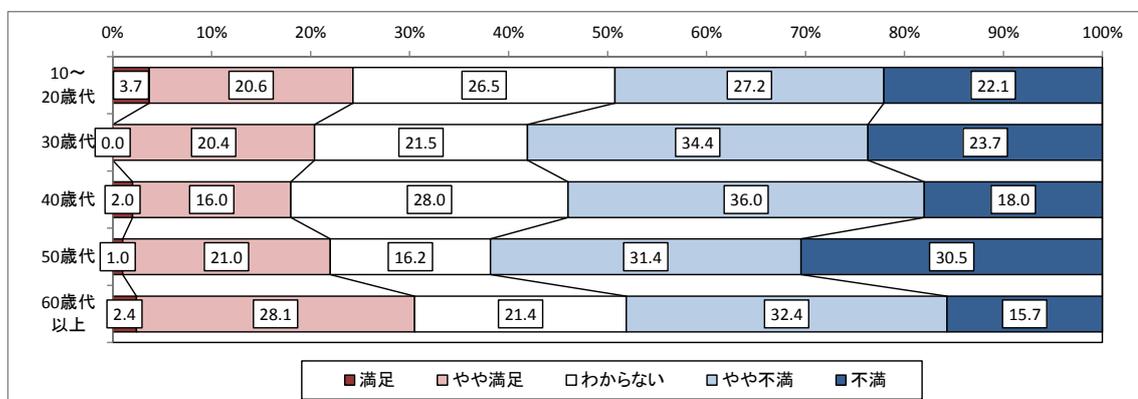
○「不満」+「やや不満」が52.7%と過半数を占める。

■属性別動向

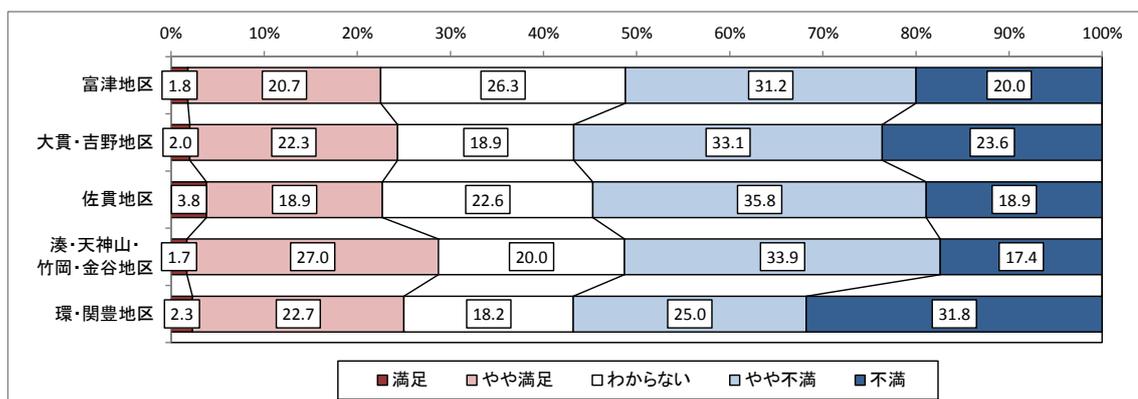
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



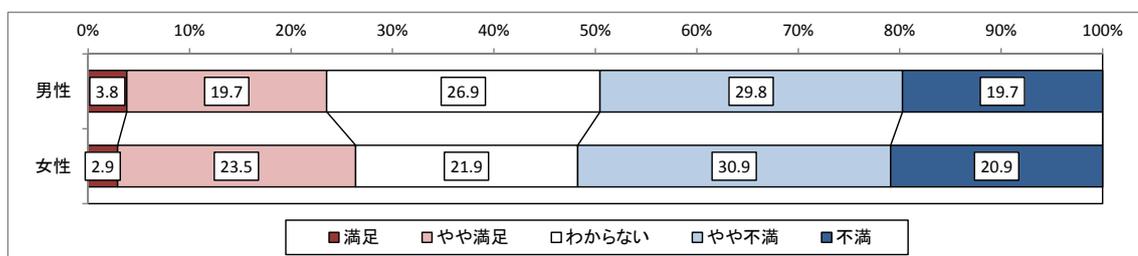
- ・男性で女性より「満足」の比率がやや高くなっている。
- ・50歳代で「不満」、60歳代以上で「満足」の比率がやや高くなっている。
- ・「不満」とする比率は「大貫・吉野地区」「環・関豊地区」でやや高くなっている。

5) 仕事と生活の調和

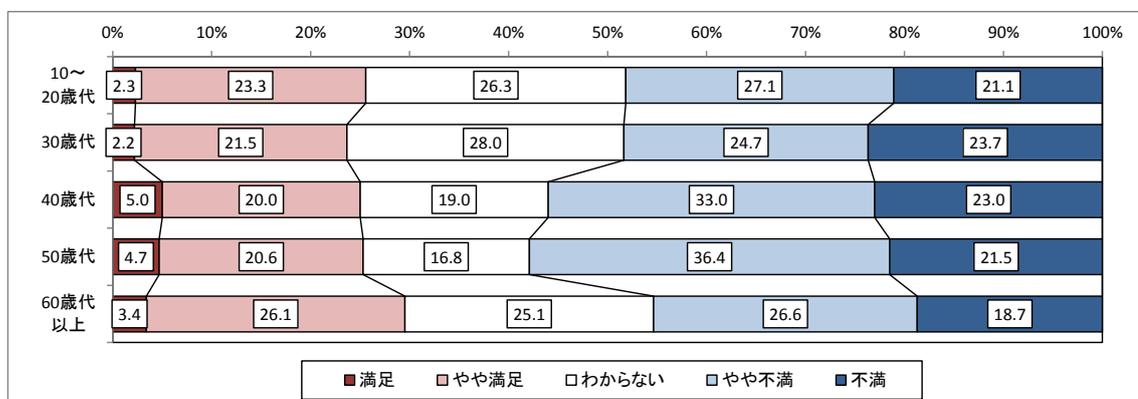
○「不満」＋「やや不満」が50.1%と過半数を占める。

■属性別動向

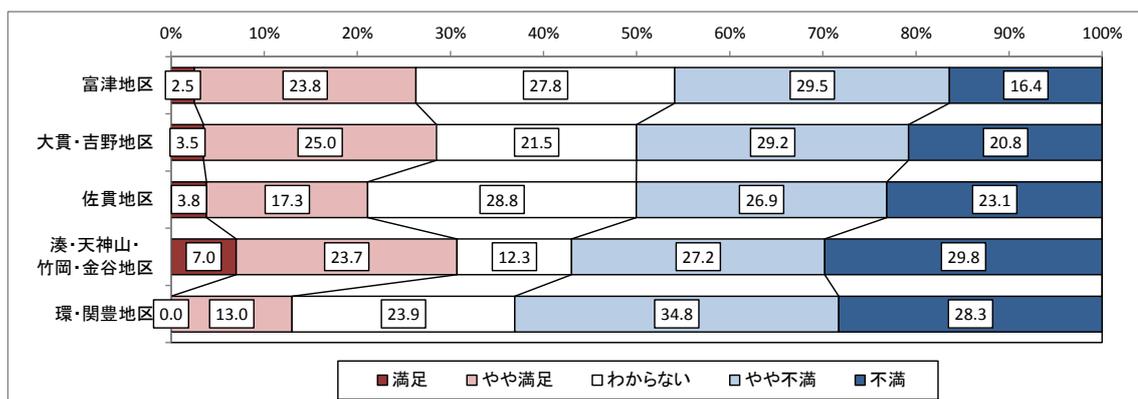
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



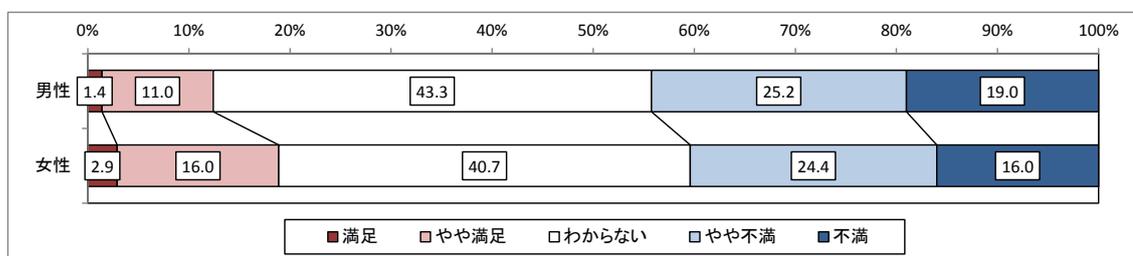
- ・女性で「不満」「満足」とも比率が高く、男性は「わからない」との回答が多い。
- ・40歳代、50歳代で不満の比率が高くなっている。
- ・「不満」の比率は「環・関豊地区」で特に高い。また「湊・天神山・竹岡・金谷地区」では「不満」も多いが「満足」も多くなっている。

6) 子育て支援

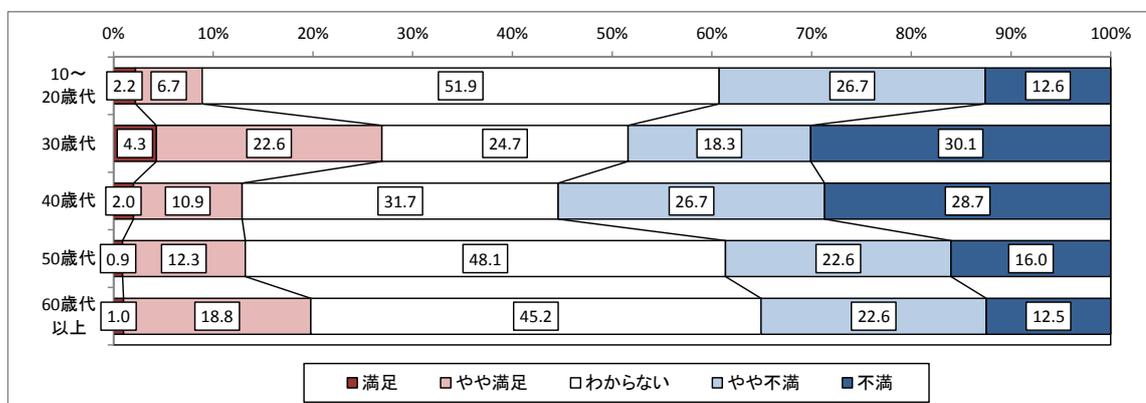
○「不満」+「やや不満」が41.9%を占めるが、「わからない」も41.9%と多い。

■属性別動向

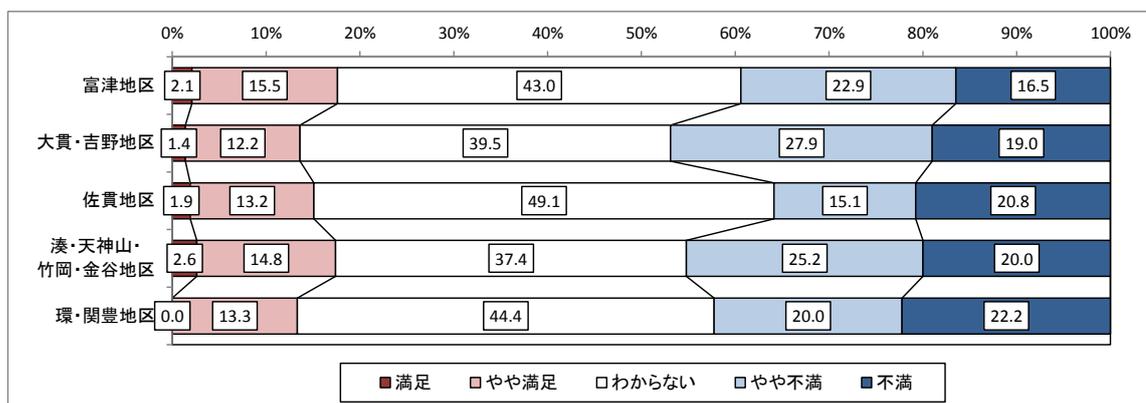
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



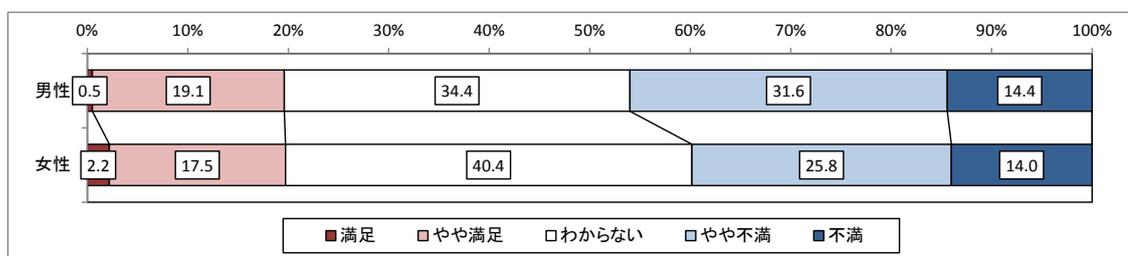
- 男性で女性より「不満」の比率が、逆に女性で男性より「満足」の比率が高い。
- 40歳代で「不満」の声が大きい。30歳代は「不満」も多いが「満足」も多くなっている。
- 「佐貫地区」で不満の比率がやや低くなっている。

7) 市民活動等の支援

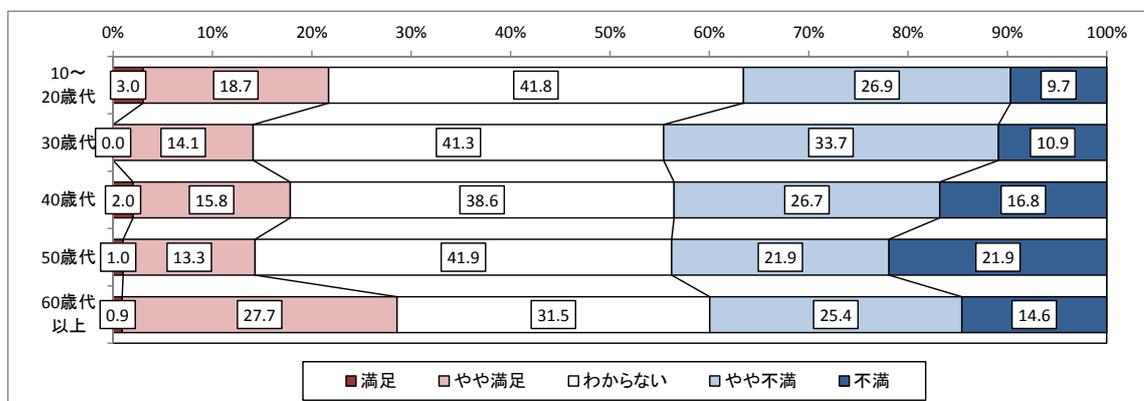
○「不満」＋「やや不満」が41.0%を占めるが、「わからない」も37.9%と多い。

■属性別動向

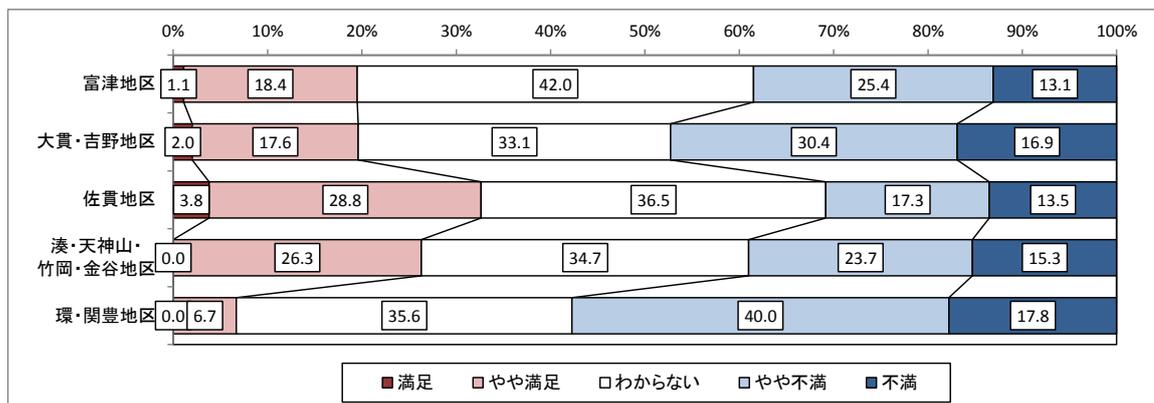
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



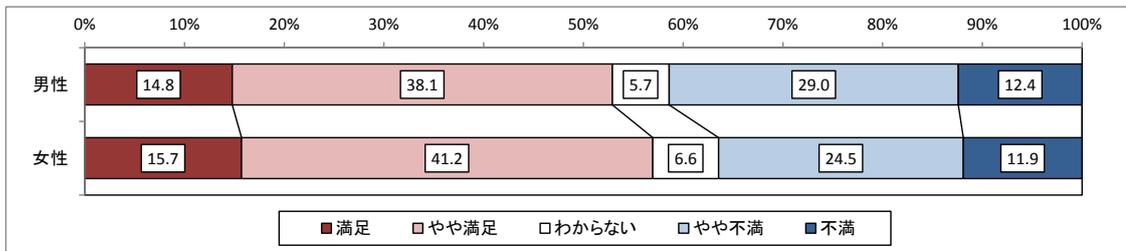
- ・男性で「不満」の比率が高くなっている。
- ・60歳代以上で「満足」の比率が高くなっている。
- ・「環・関豊地区」で「不満」、「佐貴地区」で「満足」の比率が高い。

8) 住む場所

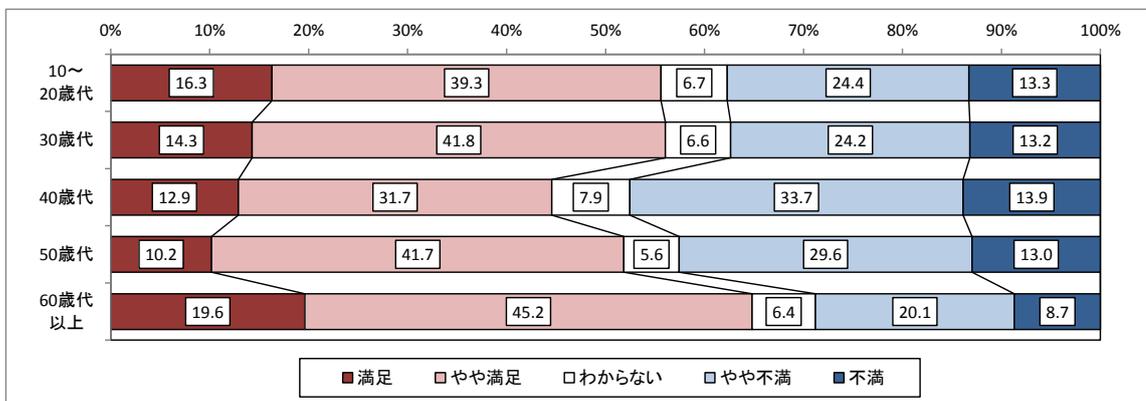
○「満足」＋「やや満足」が56.1%と過半数を占める。「満足」が「不満」を上回るのは2項目のみで、中でもこの項目の「満足」の比率は突出して高い。

■属性別動向

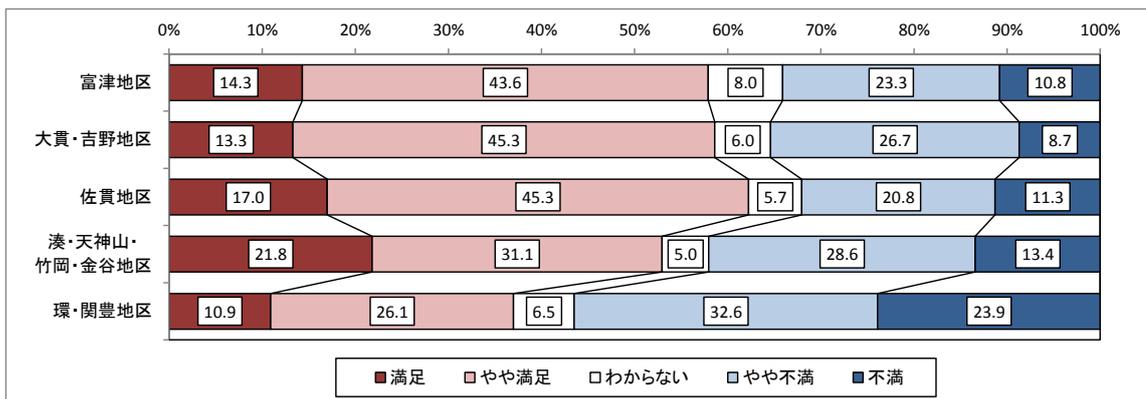
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



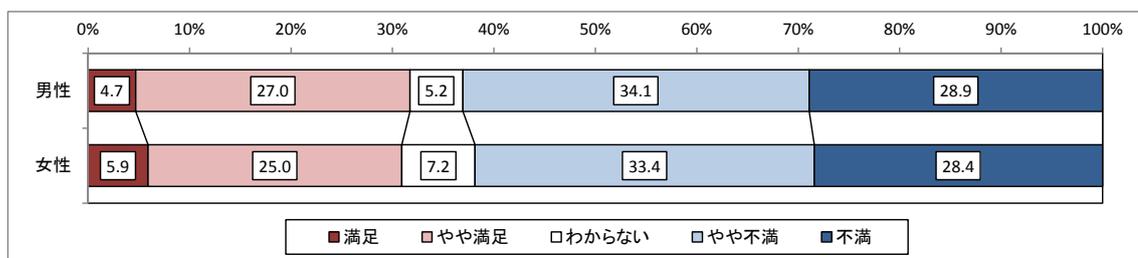
- 男性で女性より「不満」の比率が、女性で男性より「満足」の比率がやや高くなっている。
- 40歳代、50歳代で「不満」の比率が高く、60歳代以上では「満足」の比率が高くなっている。
- 「環・関豊地区」で「不満」の比率が突出して高くなっている。「満足」の比率は「佐貫地区」が最も高い。

9) 道路の整備

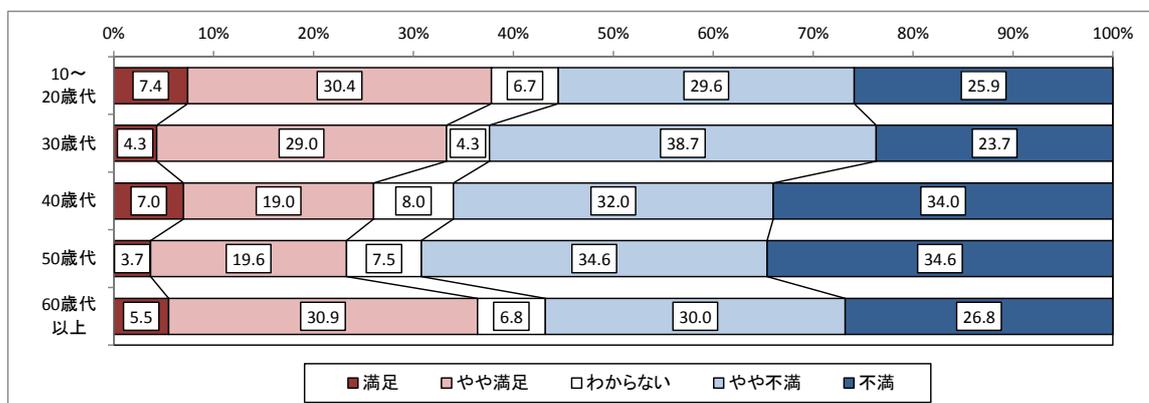
○「不満」＋「やや不満」が60.6%と過半数を占めるが、一方で「満足」＋「やや満足」も32.5%と少なくない比率となっている。

■属性別動向

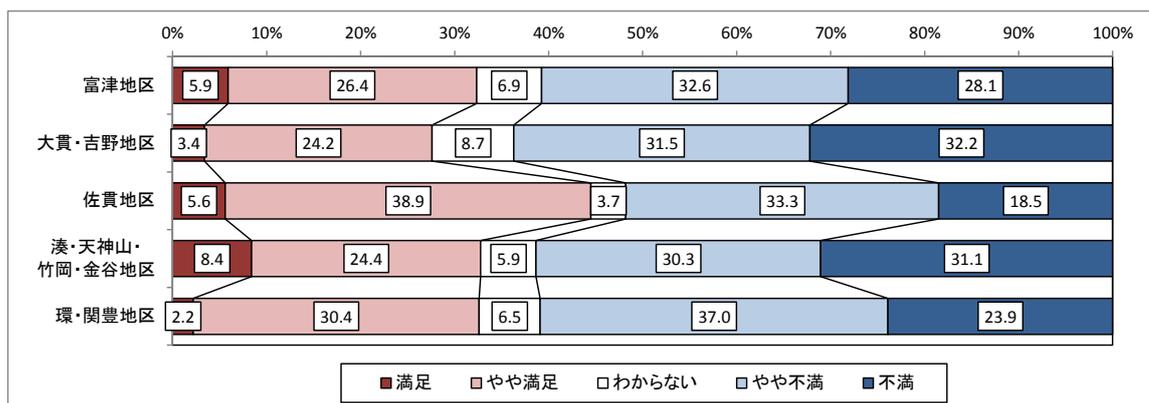
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



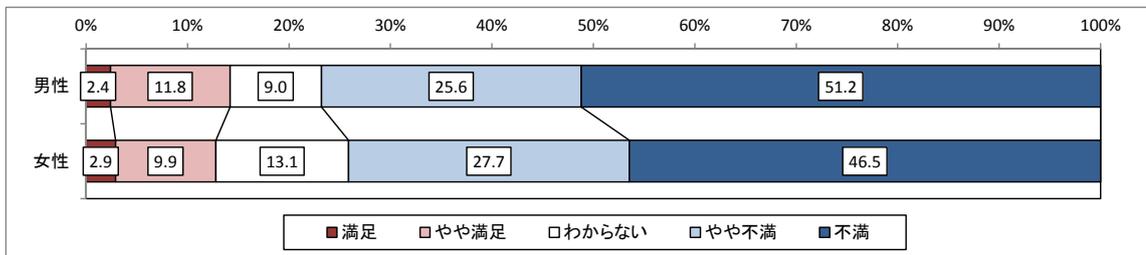
- 男女の間で大きな差異は見られない
- 40歳代、50歳代で「不満」の比率が高く、10～20歳代、60歳代以上では「満足」の比率が相対的に高くなっている。
- 「佐貫地区」で「満足」との回答が多い。

10) 公共交通網の整備

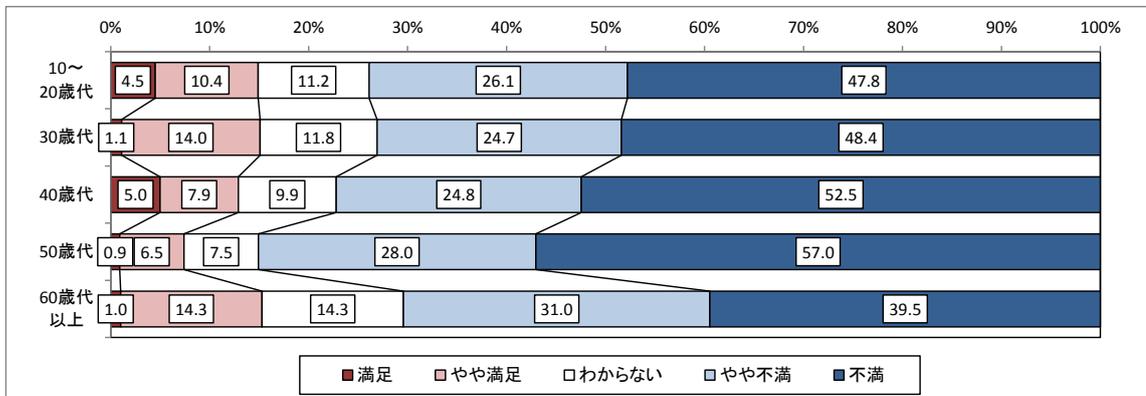
○「不満」＋「やや不満」が74.8%を占める。この比率は全項目中で最も高い。

■属性別動向

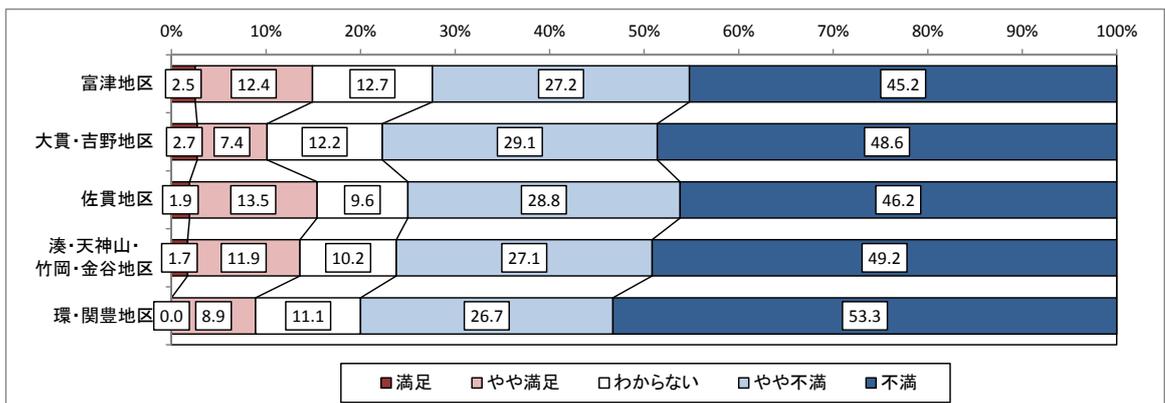
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



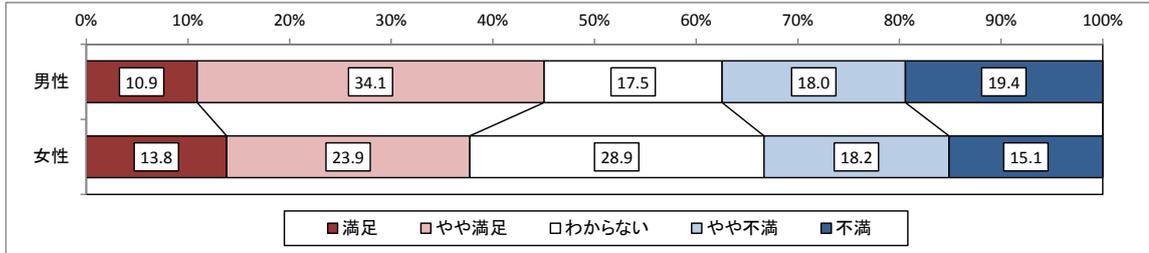
- ・「不満」「満足」とも男性の方がやや多くなっている。
- ・50歳代で「不満」の比率が特に高いことが目立つ。
- ・「不満」との回答は「環・関豊地区」で多く、「富津地区」で低くなっている。

11) 上水道の整備

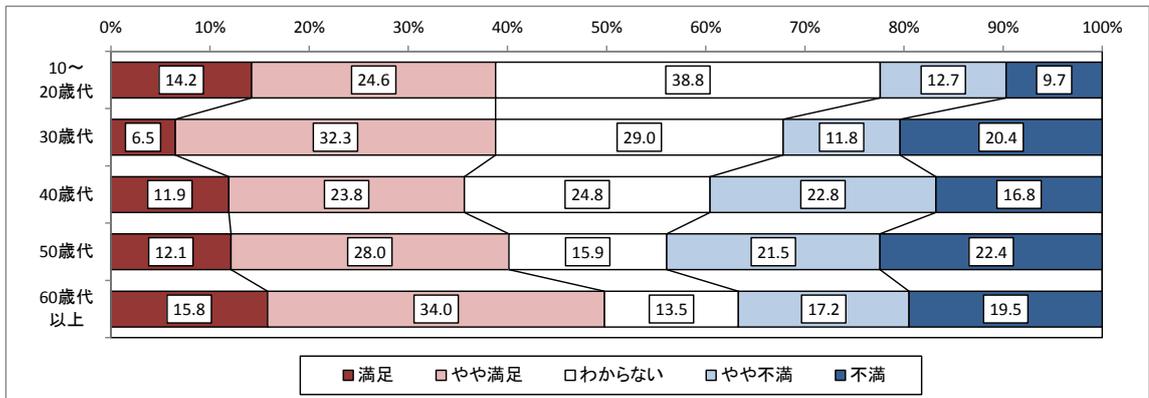
○「満足」＋「やや満足」が42.0%で、「不満」＋「やや不満」の34.7%を上回っている。「満足」が「不満」より多い2項目のうちの1項目である。

■属性別動向

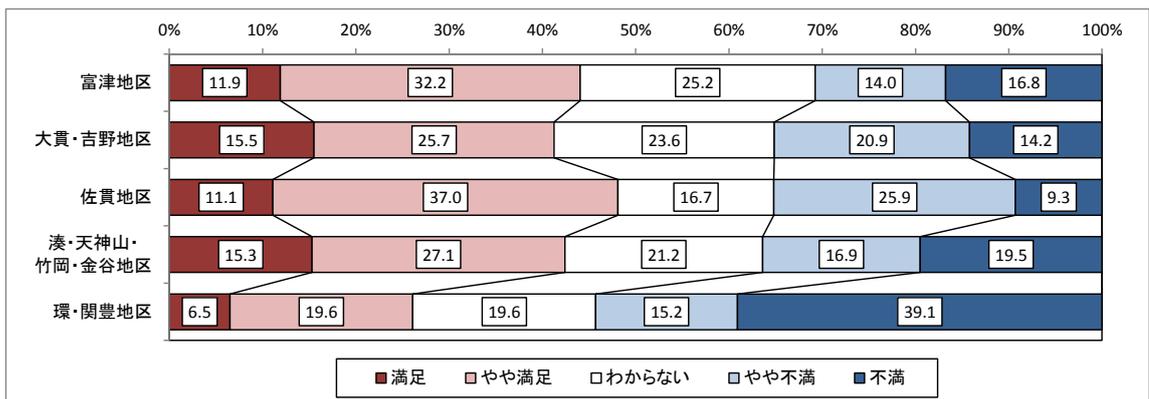
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



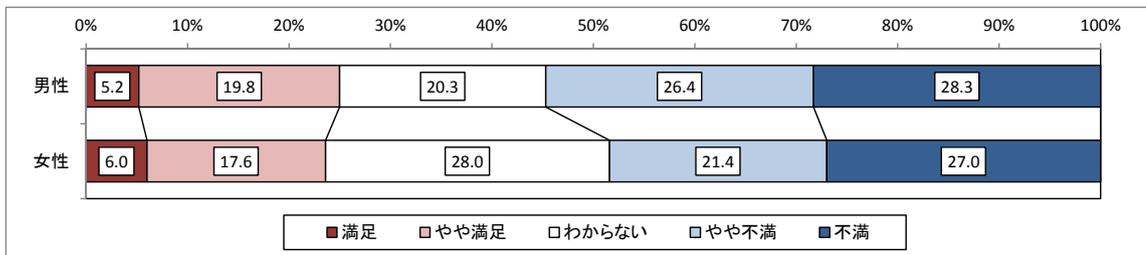
- ・「不満」「満足」とも男性の方が多く、女性は「わからない」との回答が多い。
- ・50歳代で「不満」、60歳代以上で「満足」の比率が高くなっている。
- ・「環・関豊地区」で「不満」の比率が高いことが目立つ。

12) 下水道・排水路の整備

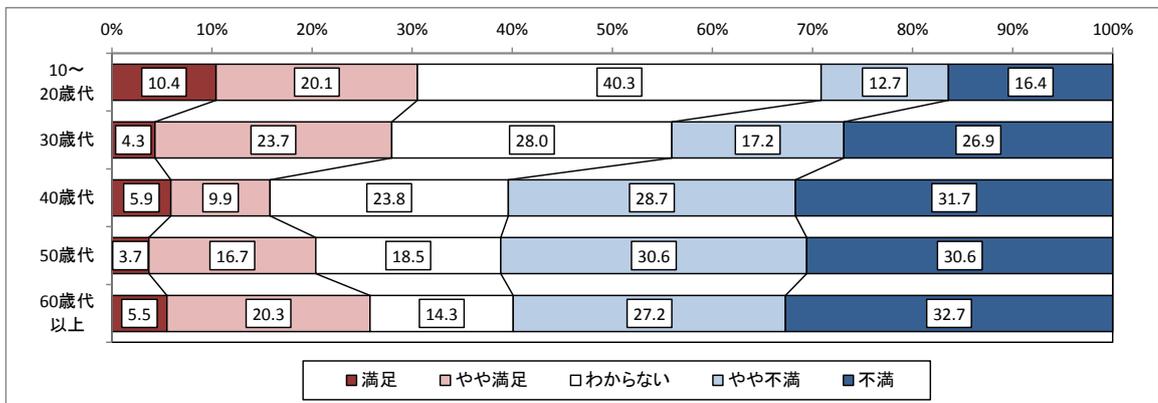
○「不満」+「やや不満」が51.4%と過半数を占めている。

■属性別動向

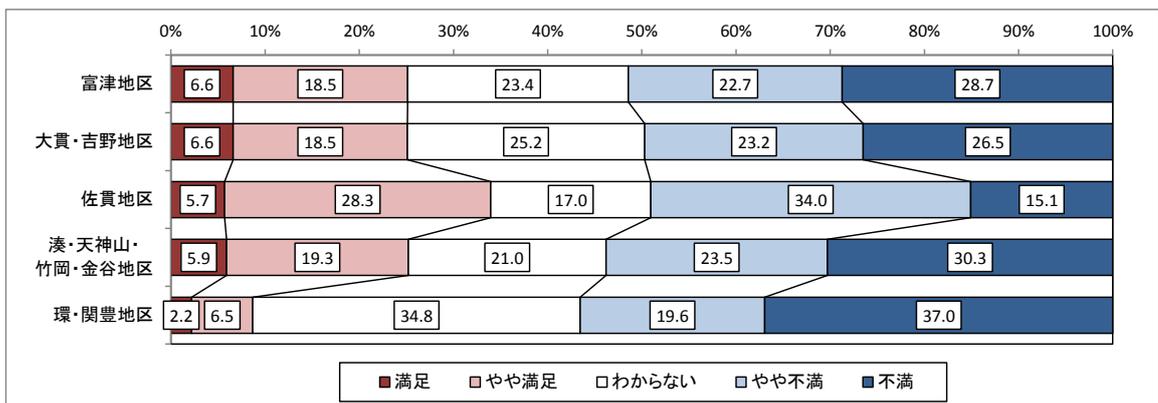
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



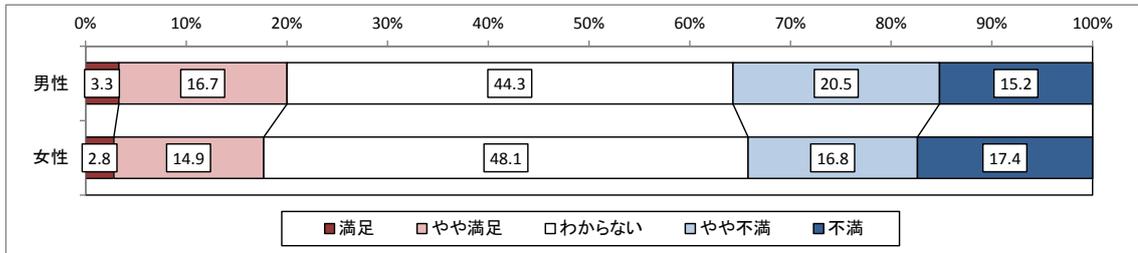
- ・「不満」「満足」とも男性の方が多く、女性は「わからない」との回答が多い。
- ・40歳以上で「不満」の比率が高い、10～20歳代では「わからない」との回答が4割を占めている。
- ・「満足」の比率は「佐貫地区」で高く、「環・関豊地区」で低くなっている。

13) 里山の保全

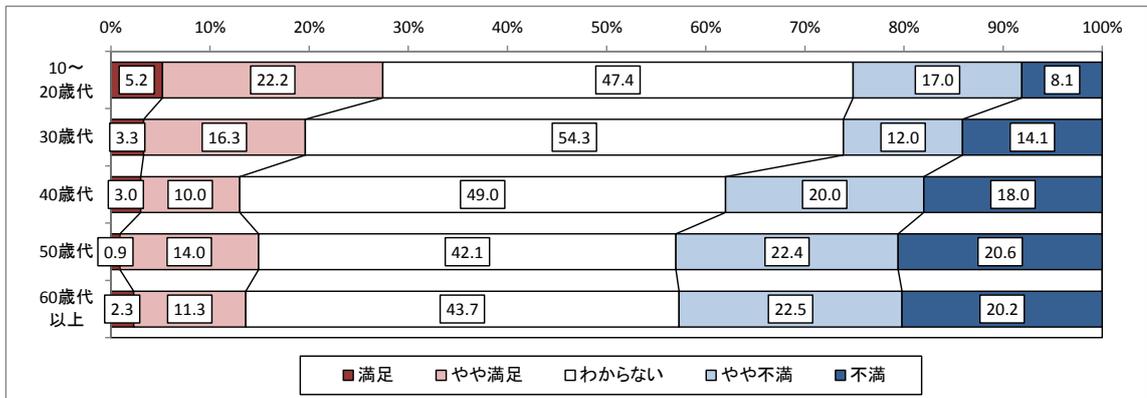
○「不満」＋「やや不満」の合計が「満足」＋「やや満足」の合計をやや上回っている。ただし「わからない」が46.9%と半数近くを占め、全項目中で最も多い。

■属性別動向

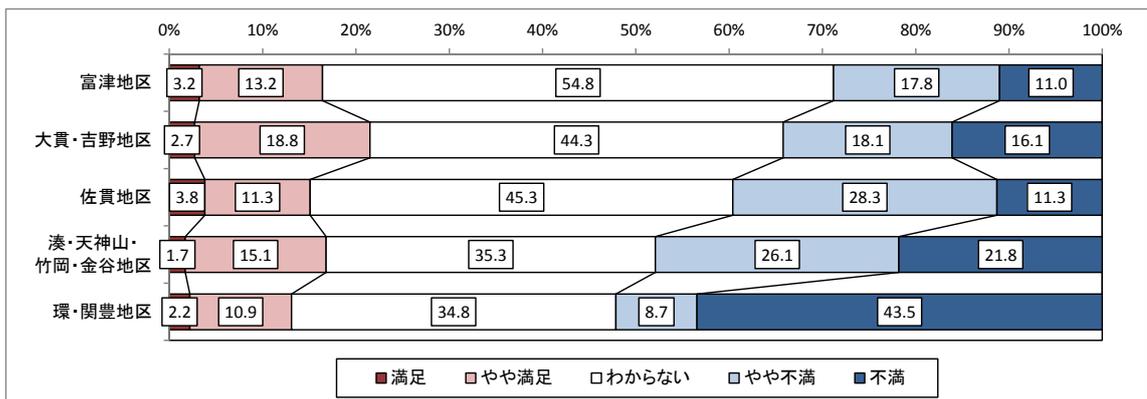
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



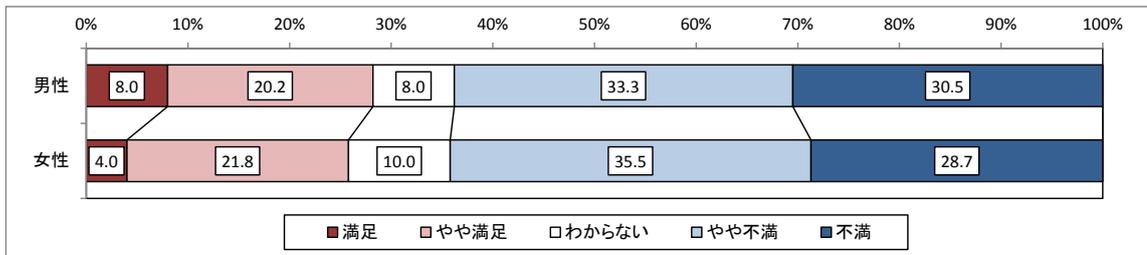
- ・「不満」「満足」とも男性の方がやや多く、女性は「わからない」との回答が多い。
- ・年齢が高くなるほど「不満」の比率が高くなる傾向がみられる。
- ・「環・関豊地区」で「不満」の比率が高くなっている。

14) 医療

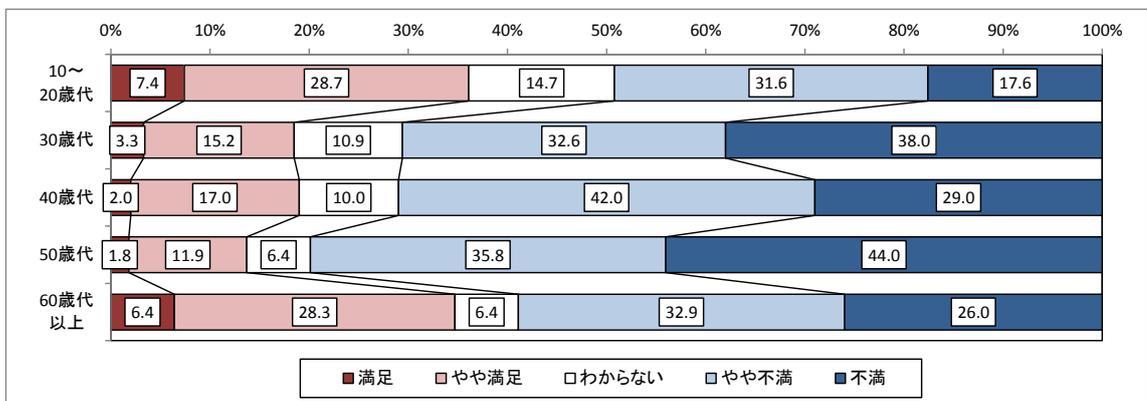
○「不満」+「やや不満」が63.7%で、全項目中で3番目に高い比率となっている。
 一方で「満足」+「やや満足」も26.9%と少なくない比率となっている。

■属性別動向

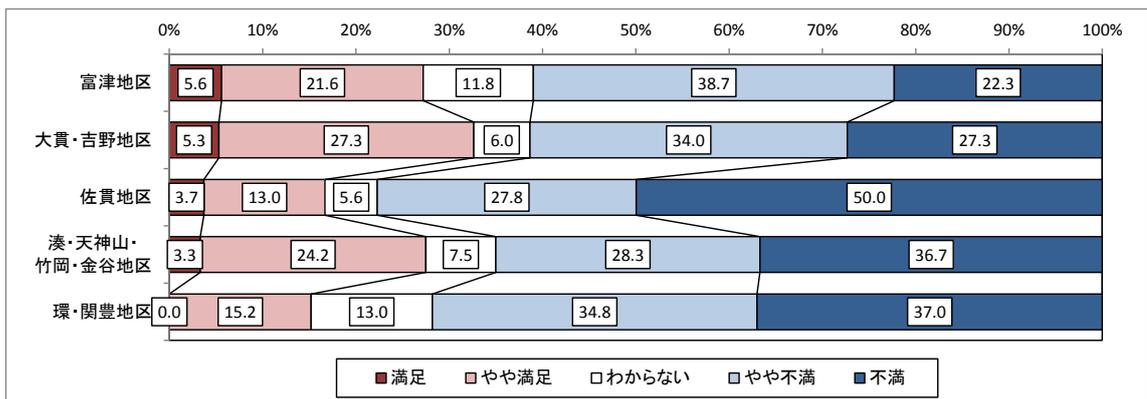
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



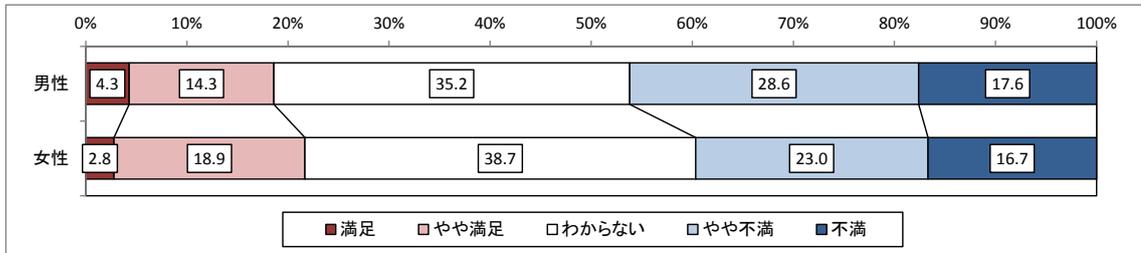
- 男性で「満足」の比率がやや高くなっている。
- 50歳代で「不満」の比率が特に高い。10～20歳代では「満足」の比率が高くなっている。
- 「不満」の比率が「佐貴地区」「環・関豊地区」の順で高くなっている。

15) 福祉サービス

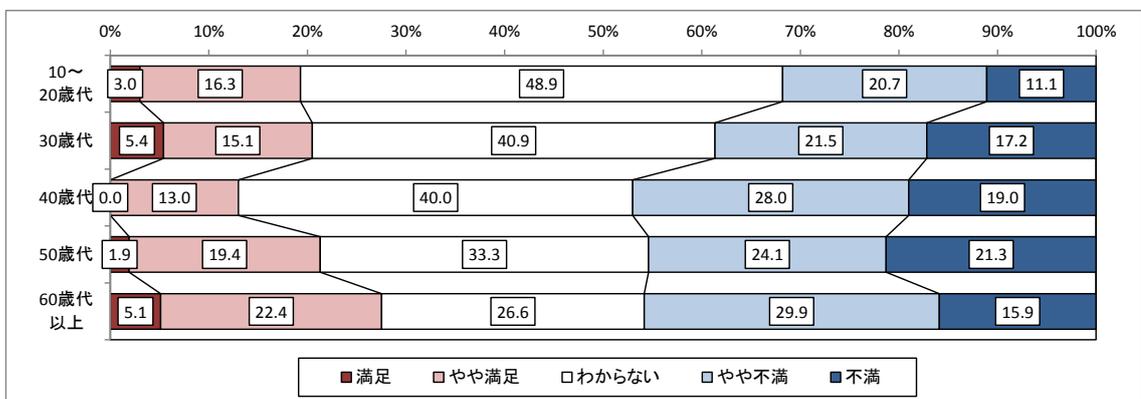
○「不満」＋「やや不満」の合計が「満足」＋「やや満足」の合計をやや上回っているが、「わからない」の比率も36.6%と高い。

■属性別動向

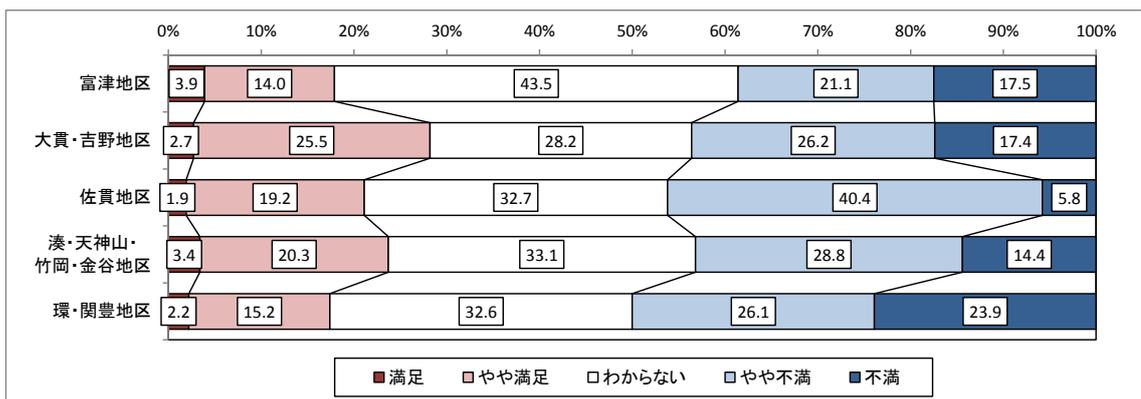
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



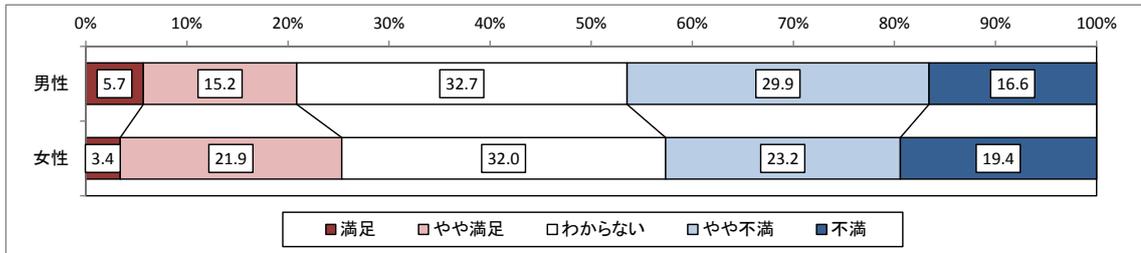
- 男性で女性より「不満」の比率が、女性で男性より「満足」の比率が高くなっている。
- 60歳代以上で「満足」も多いが「不満」も多い。年齢が低いほど「わからない」との回答が多い。
- 「満足」は「大貫・吉野地区」、「不満」は「環・関豊地区」でやや多い。

16) 学習環境

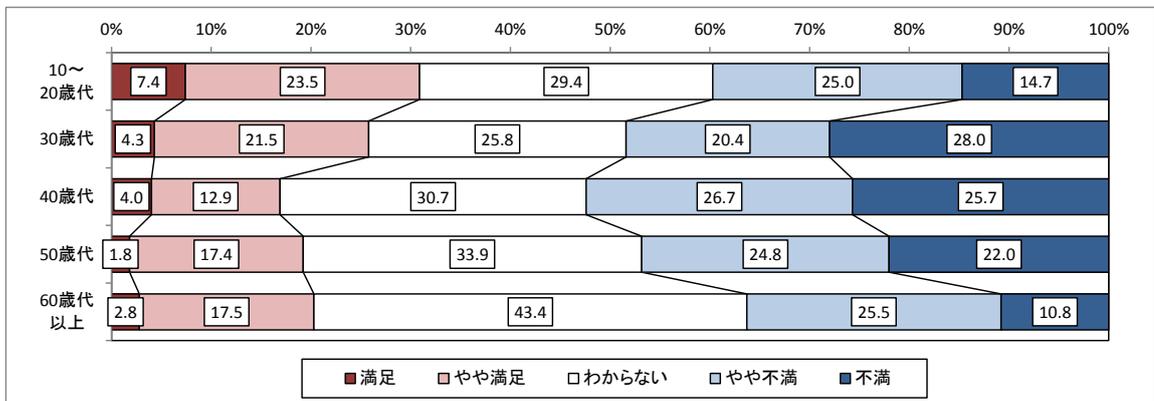
○「不満」＋「やや不満」の合計が「満足」＋「やや満足」の合計をやや上回っているが、「わからない」の比率も34.6%と高い。

■属性別動向

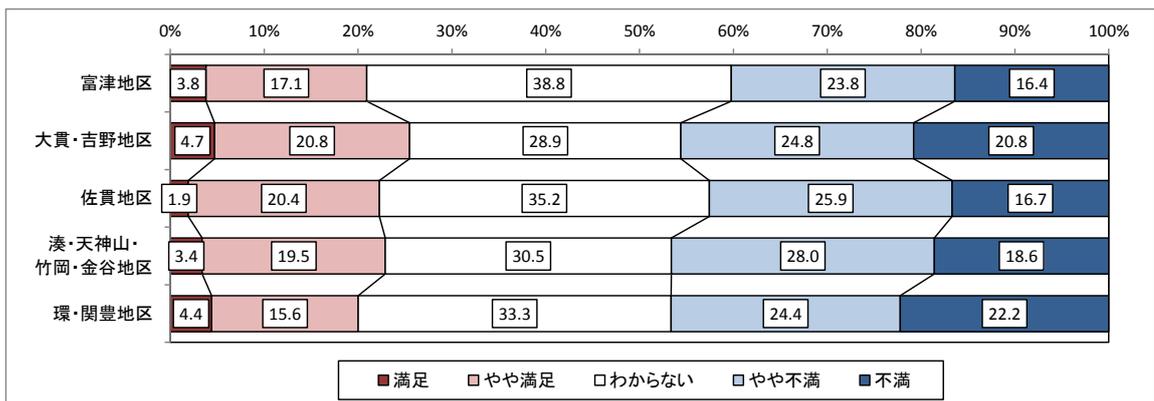
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



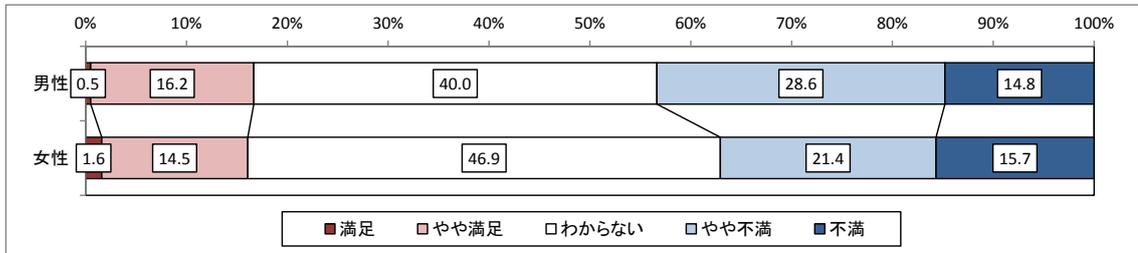
- ・男性で女性より「不満」、女性で男性より「満足」の比率が高くなっている。
- ・40歳代で「不満」の比率が高い。30歳代、50歳代でもその傾向がみられる。
- ・地区ごとにさほど大きな差異はみられない。

17) 市民の交流拠点

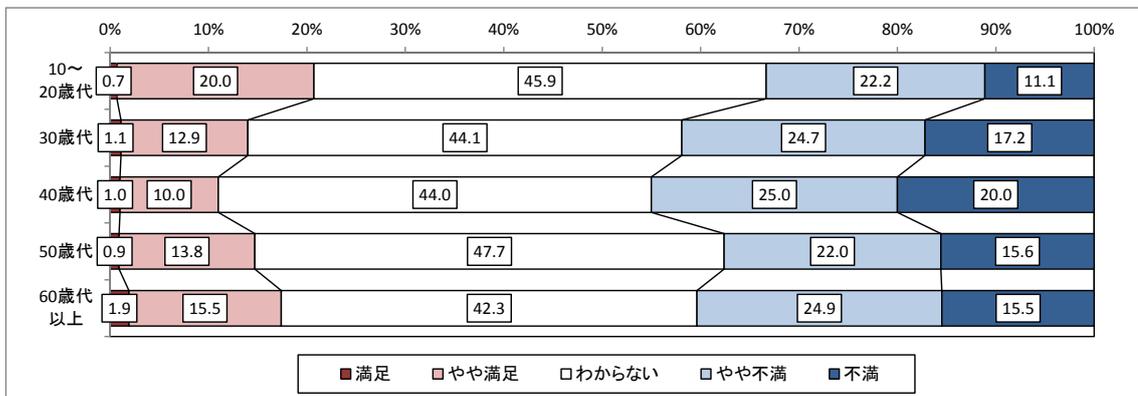
○「不満」＋「やや不満」の合計が「満足」＋「やや満足」の合計をやや上回っているが、「わからない」の比率も44.8%で全項目中2番目に高くなっている。

■属性別動向

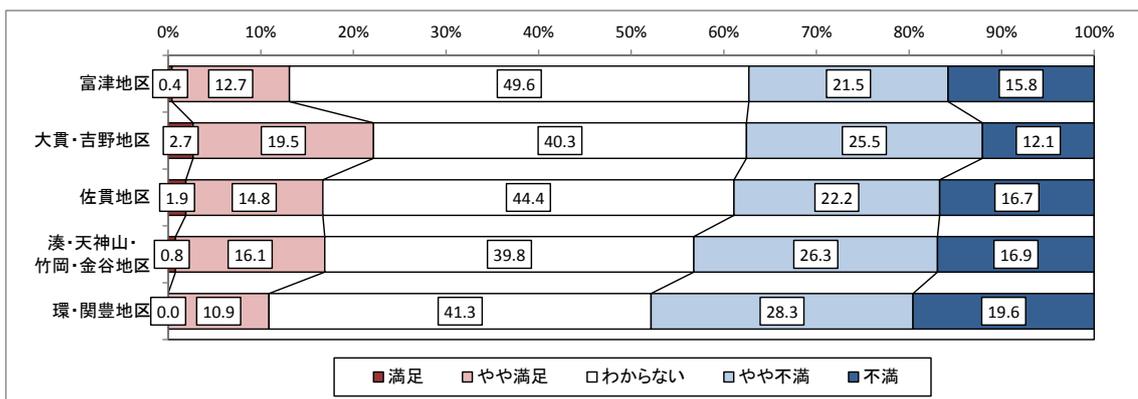
①男女別



②年齢階層別



③居住地区別



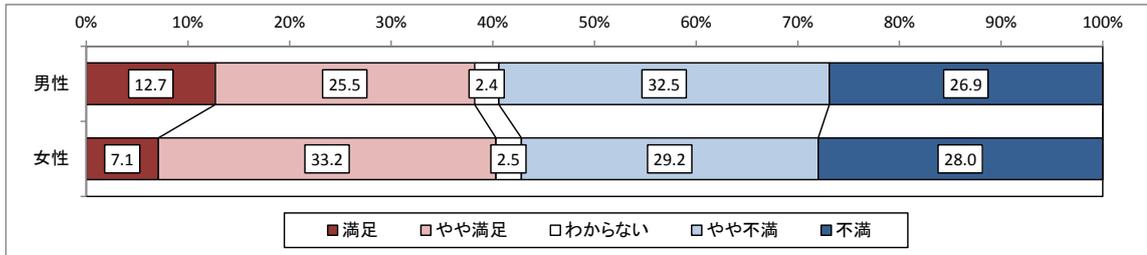
- ・男性で「不満」の比率が高くなっている。
- ・40歳代で「不満」の比率がやや高くなっている。
- ・「満足」は「大貫・吉野地区」、「不満」は「環・関豊地区」でやや多い。

18) 買い物をする場所

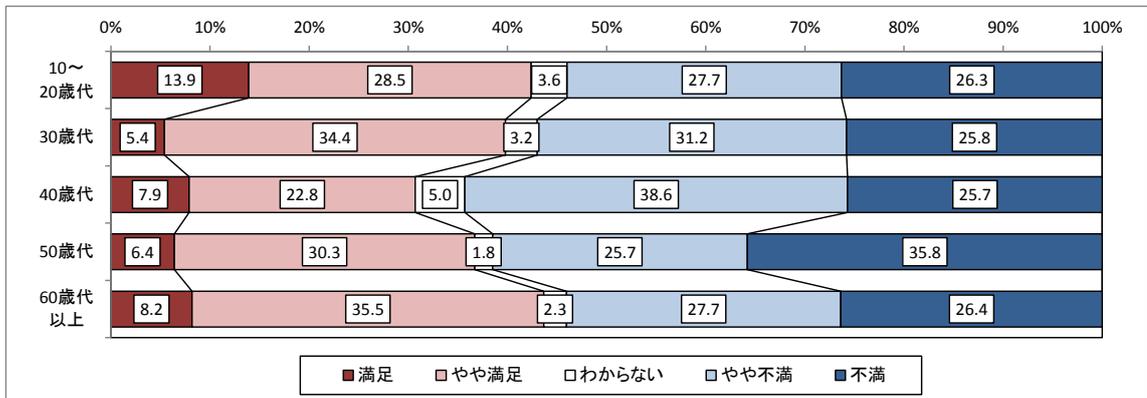
○「不満」＋「やや不満」の合計が 57.2%と過半数を占めるが、「満足」＋「やや満足」の合計も 39.7%と高くなっている。

■属性別動向

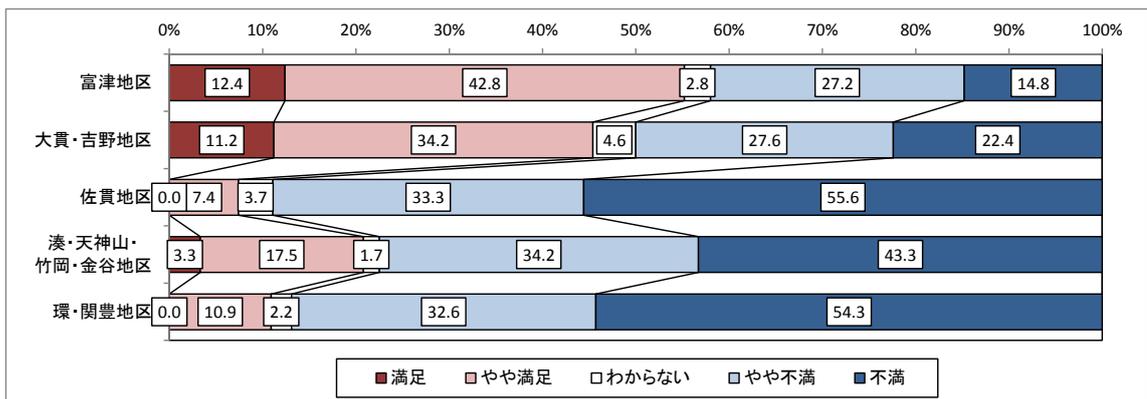
①男女別



②年齢階層別



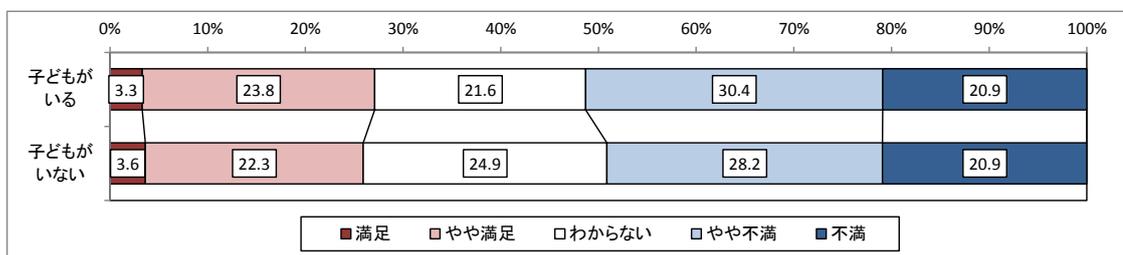
③居住地区別



- ・男性で女性より「不満」、女性で男性より「満足」の比率が、それぞれやや高くなっている。なお本項目は 18 項目の中で「わからない」の比率が最も低く、回答者が明確に判断しやすかったものと考えられる。
- ・40 歳代で「不満」の比率が高い。10～20 歳代、60 歳代以上では「満足」の比率が相対的に高くなっている。
- ・「佐貫地区」「湊・天神山・竹岡・金谷地区」「環・関豊地区」で「不満」が多く、「富津地区」「大貫・吉野地区」で「満足」が多いという明確な傾向がみられた。

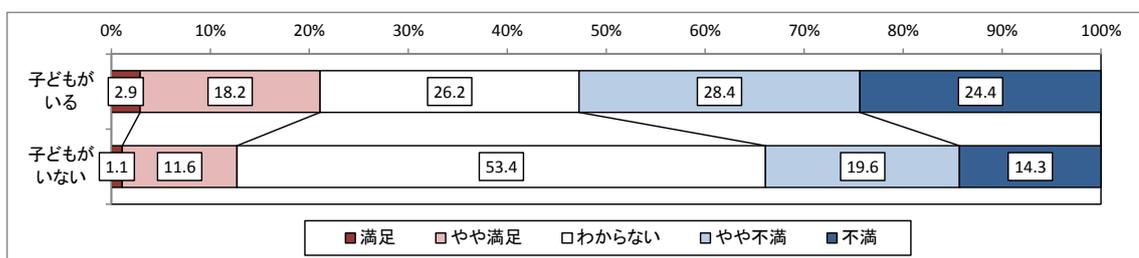
◇「子どもの有無別」とのクロス集計 ～重要と考えられる項目とのクロス

5)「仕事と生活の調和」とのクロス



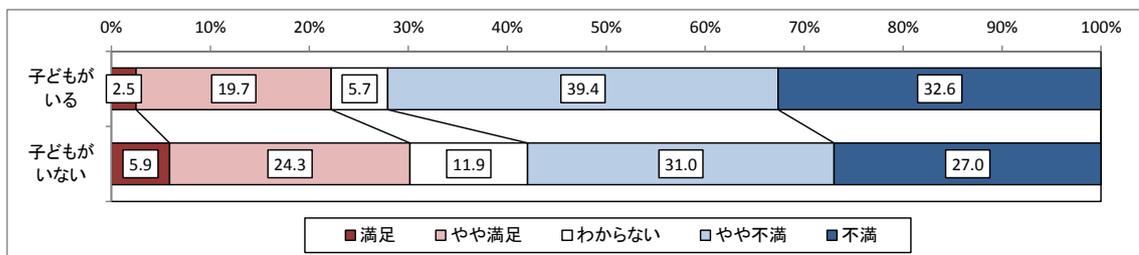
・「子どもがいる」層で満足、不満とも比率がやや高くなっている。

6)「子育て支援」とのクロス



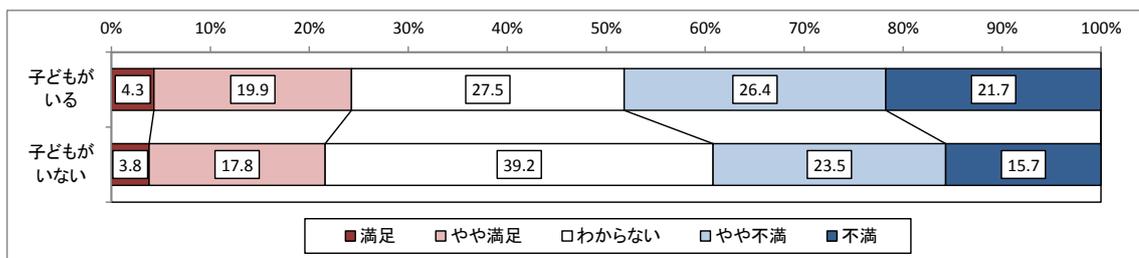
・「子どもがいる」層で「不満」「満足」ともに多い。「子どもがいない」層では「わからない」との回答が多い。

14)「医療」とのクロス



・「子どもがいる」層で「いない層」よりも「不満」との回答が多くなっている。

16)「学習環境」とのクロス

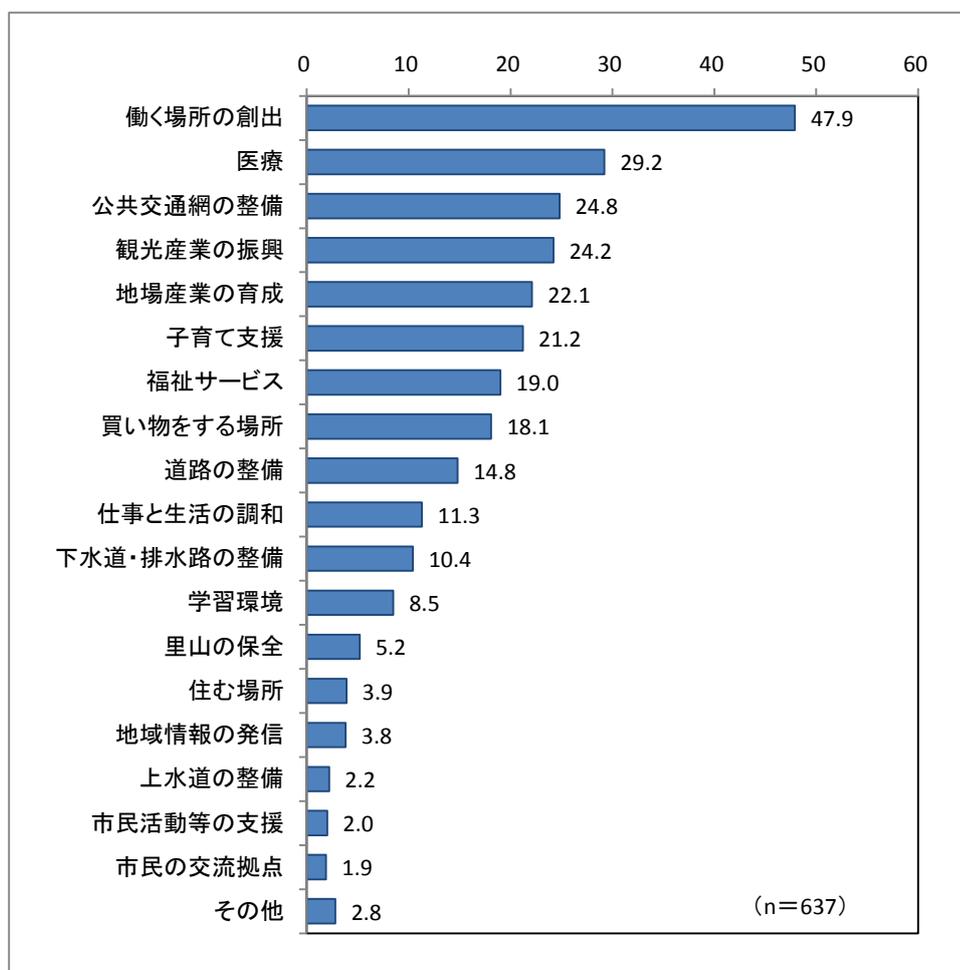


・「不満」「満足」ともに「子どもがいる」層で多くなっている。

(5) 富津市に重要なこと

問 あなたが、これからの富津市に重要だと思うものを選んで番号に○印をつけてください。(MA)

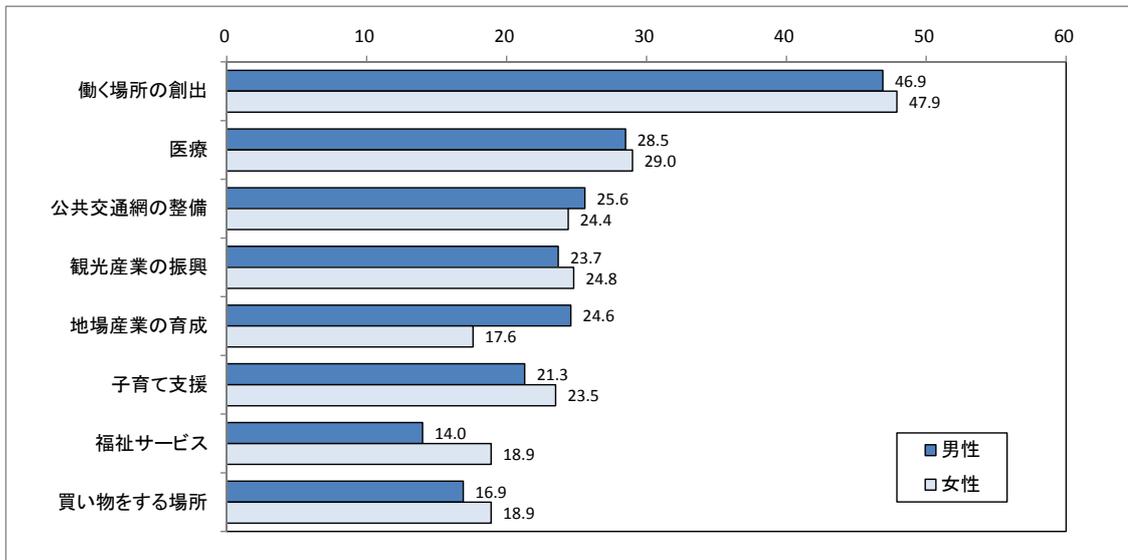
⇒「働く場の創出」の比率が突出して多く、「医療」「公共交通網の整備」「観光産業の振興」がこれに続いている。



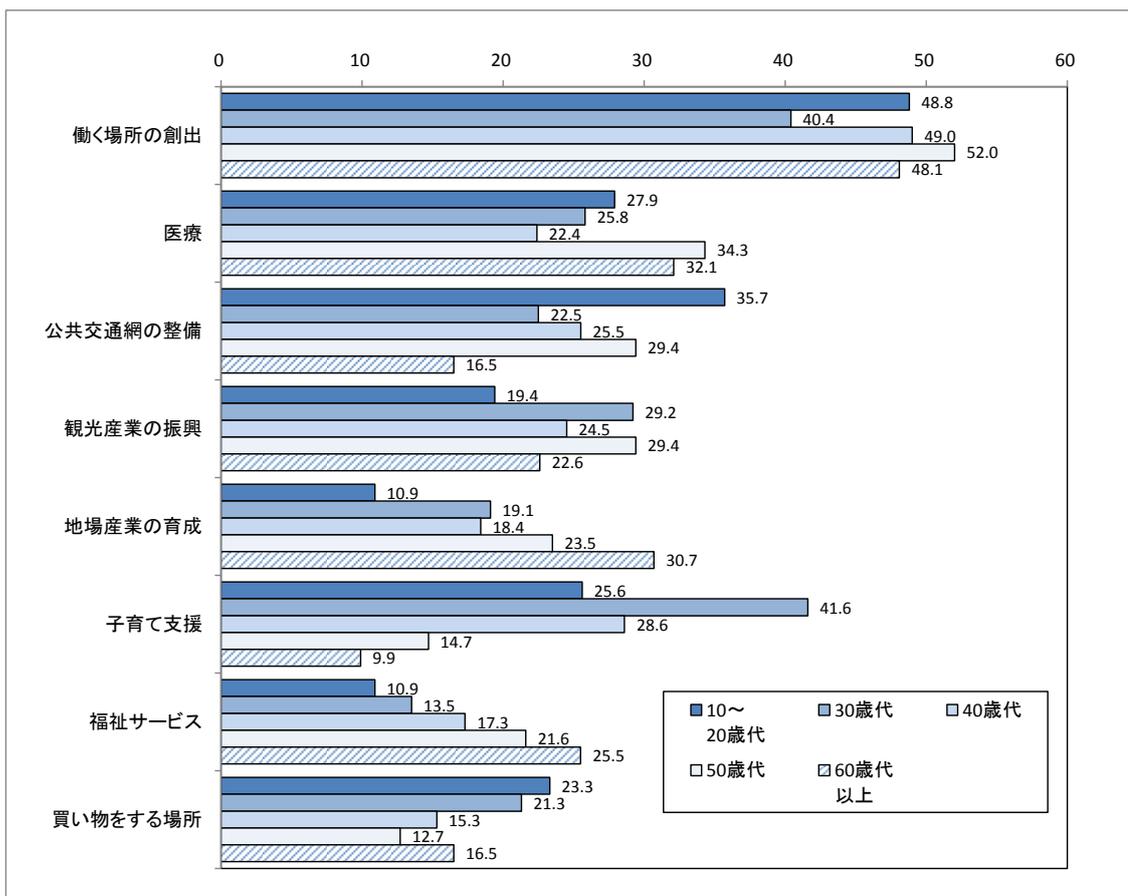
■属性別動向

- 男女別では、上位の項目に大きな差異はない。
- 30歳代で「子育て支援」の比率が高いことが目立つ。その他では、10～20歳代で「公共交通網の整備」、60歳代以上で「地場産業の育成」「福祉サービス」などの比率が高い。
- 「子育て支援」「医療」で「子どもがいる」層の方が重要だと回答している。
- 「働く場の創出」は「富津地区」以外で比率が高くなっている。また、「佐貫地区」で「医療」「買い物をする場所」の比率が高くなっている。

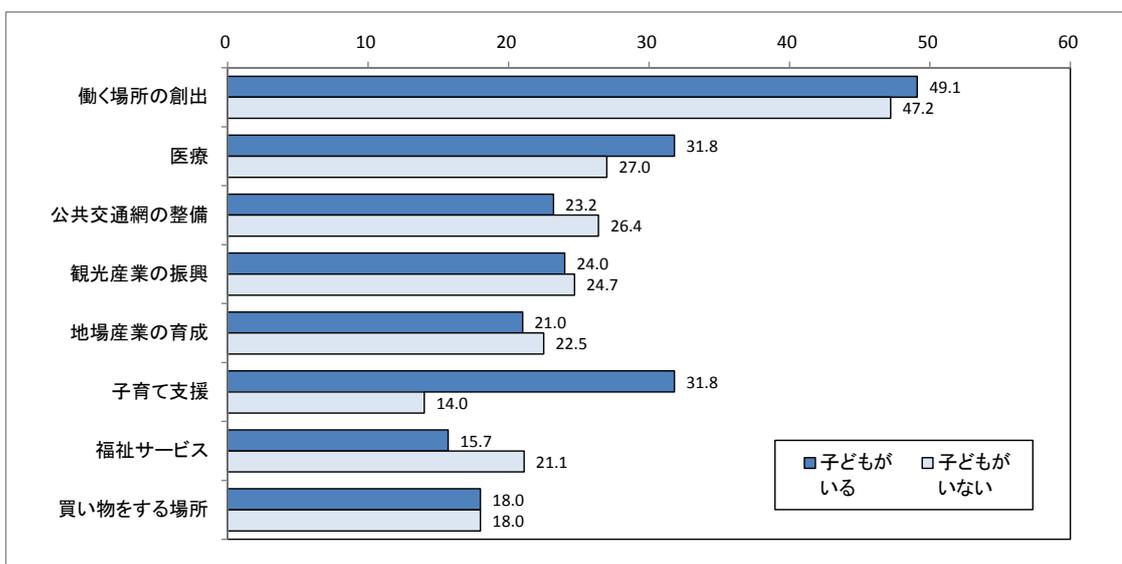
①男女別



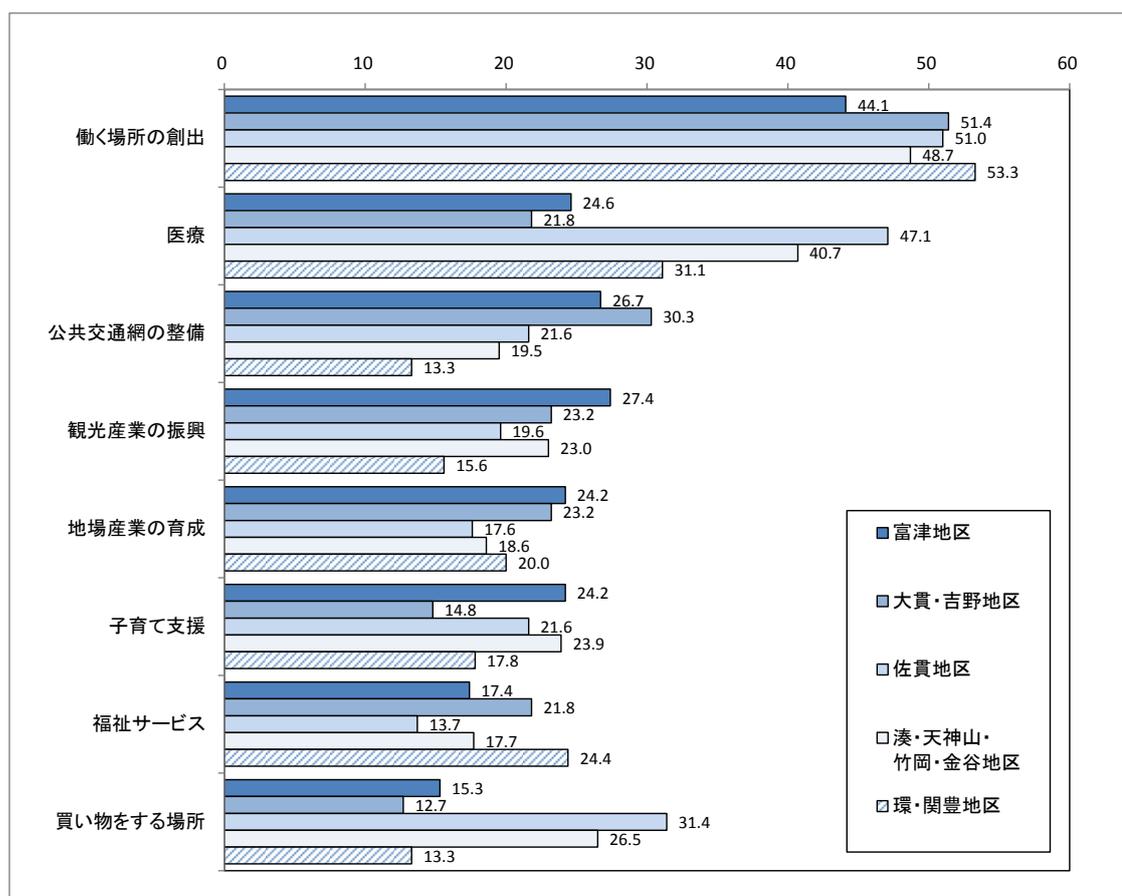
②年齢階層別



③子どもの有無別



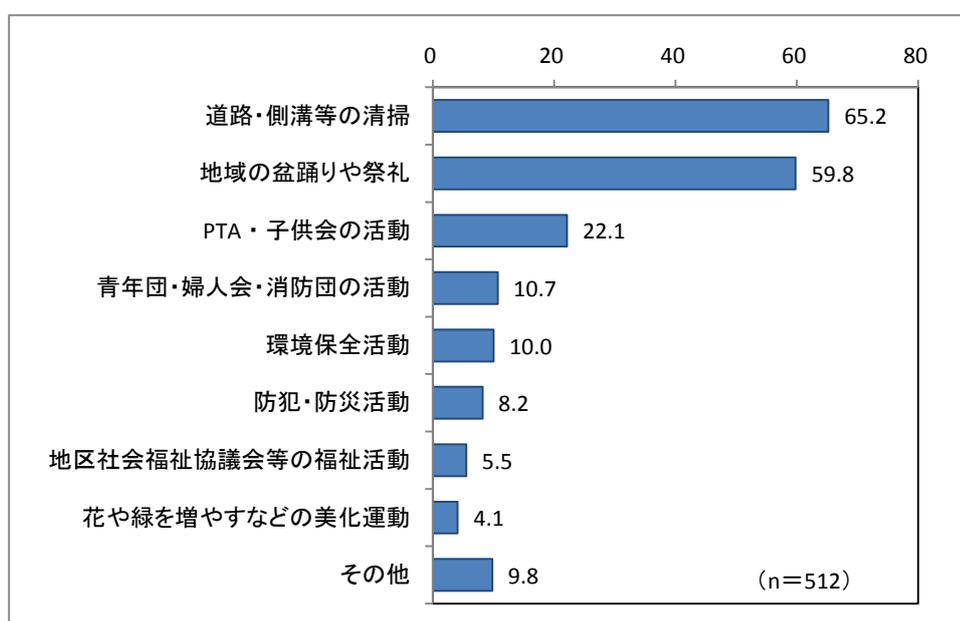
④居住地区別



(6) 参加している地域活動

問 あなたは、地域などで行っているさまざまな活動に参加・協力していますか。
参加しているものを次の中からすべて選んで番号に○印をつけてください。
(MA)

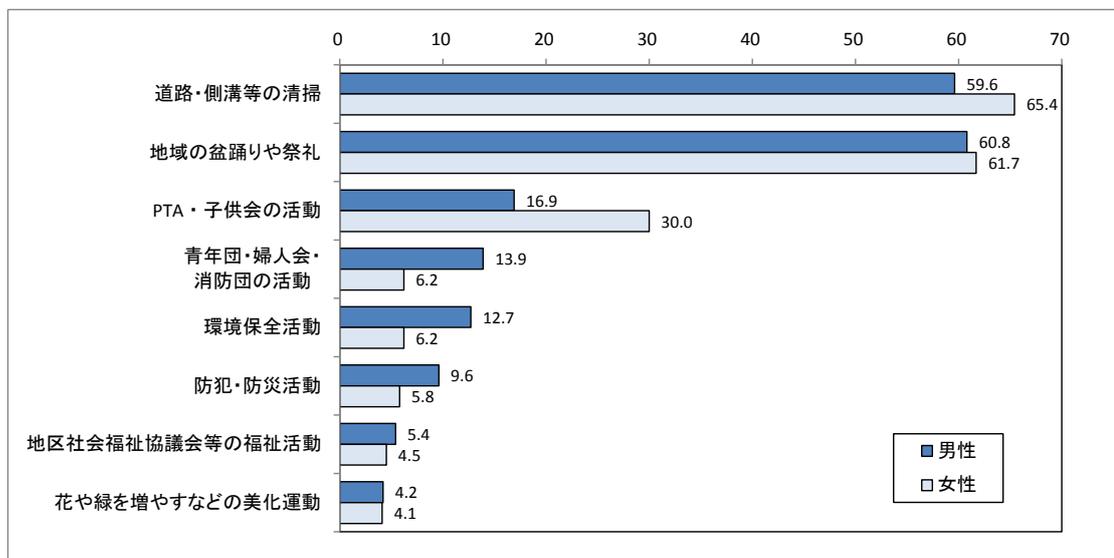
⇒回答者の半数以上が「道路・側溝等の清掃」「地域の盆踊りや祭礼」に参加・協力しているとしており、これらの活動の比率が他と比較して突出して多くなっている。



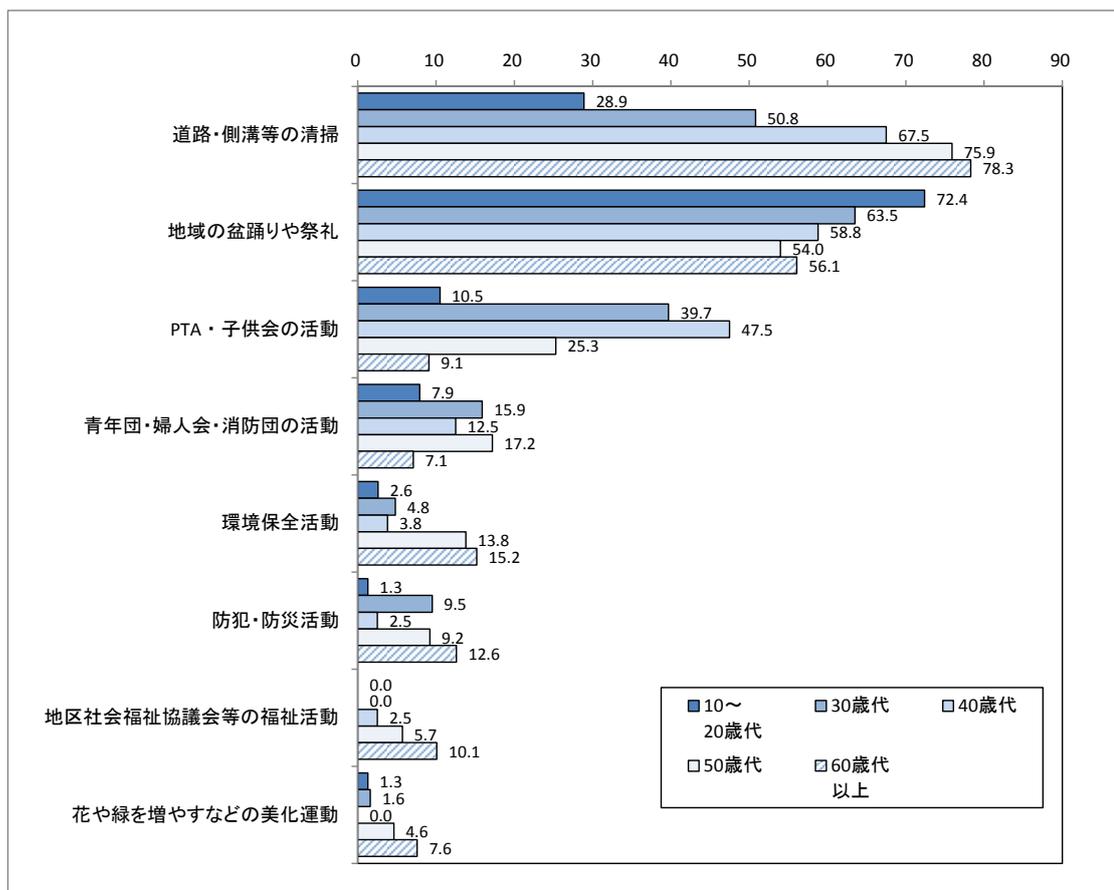
■属性別動向

- ・女性で「道路・側溝等の清掃」「PTA・子供会の活動」の比率が高くなっている。
- ・「道路・側溝等の清掃」は年齢が高いほど、「地域の盆踊りや祭礼」は年齢が低いほど比率が高い。また、「PTA・子供会の活動」は40歳代で特に参加しているとの声が多い。
- ・「道路・側溝等の清掃」「PTA・子供会の活動」など、比率が高い項目は総じて「子どもがいる」層の方が多くなっている。
- ・「道路・側溝等の清掃」は「大貫・吉野地区」で、「地域の盆踊りや祭礼」は「湊・天神山・竹岡・金谷地区」「佐貫地区」で比率が高くなっている。

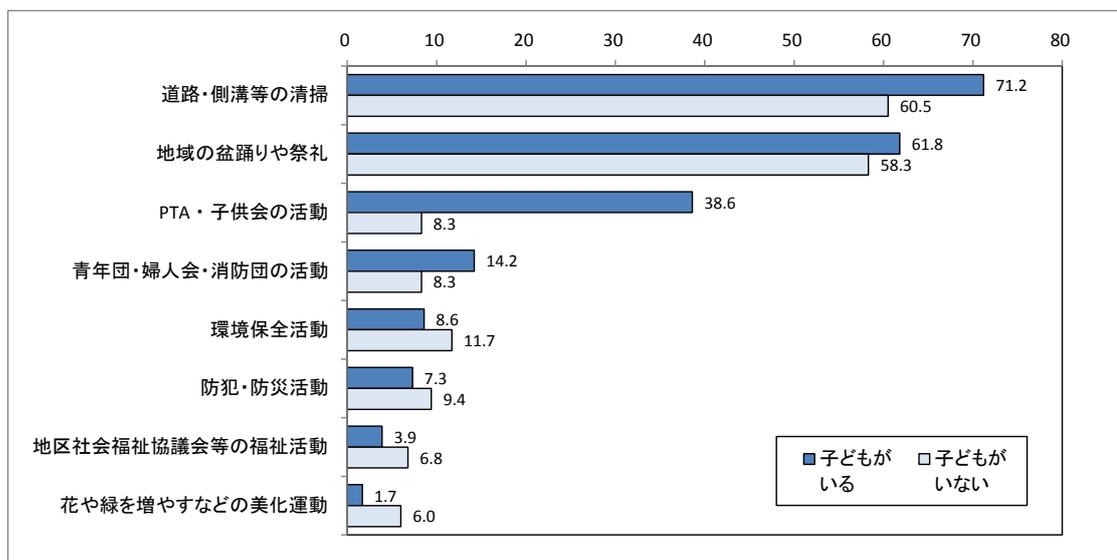
①男女別



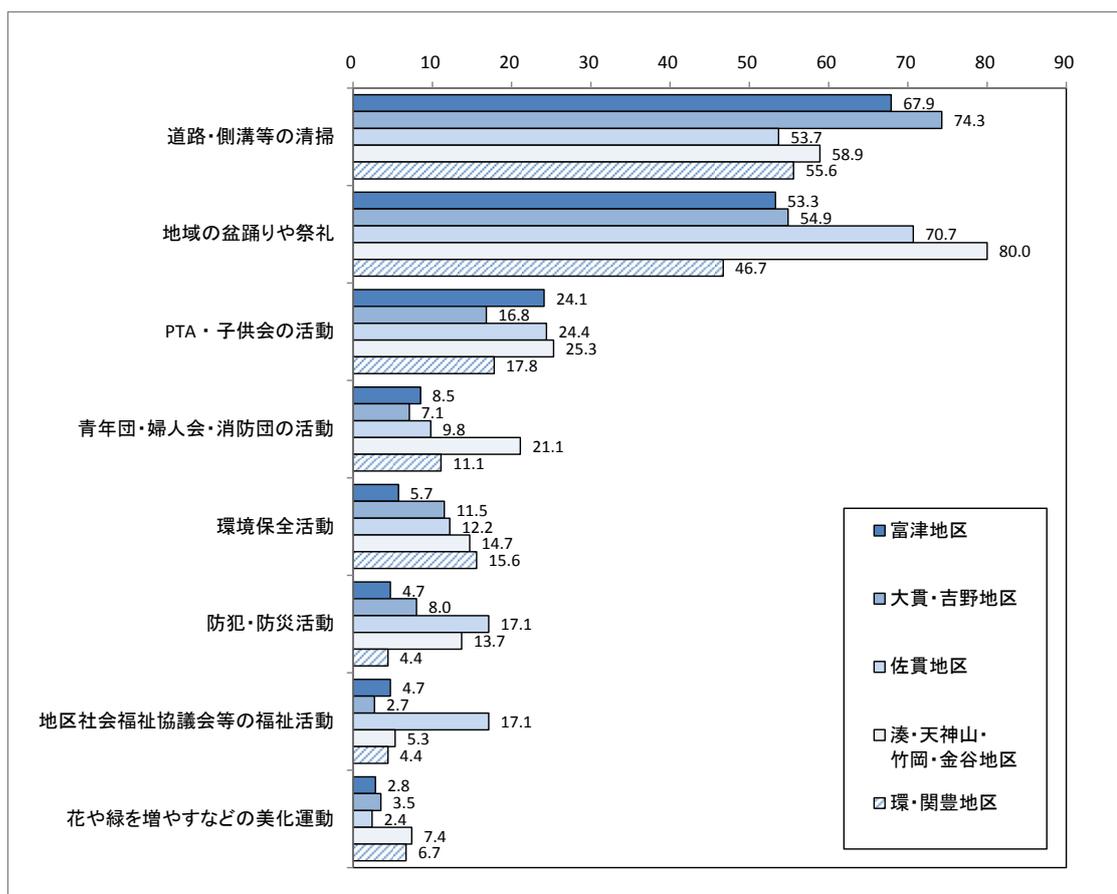
②年齢階層別



③子どもの有無別



④居住地区別

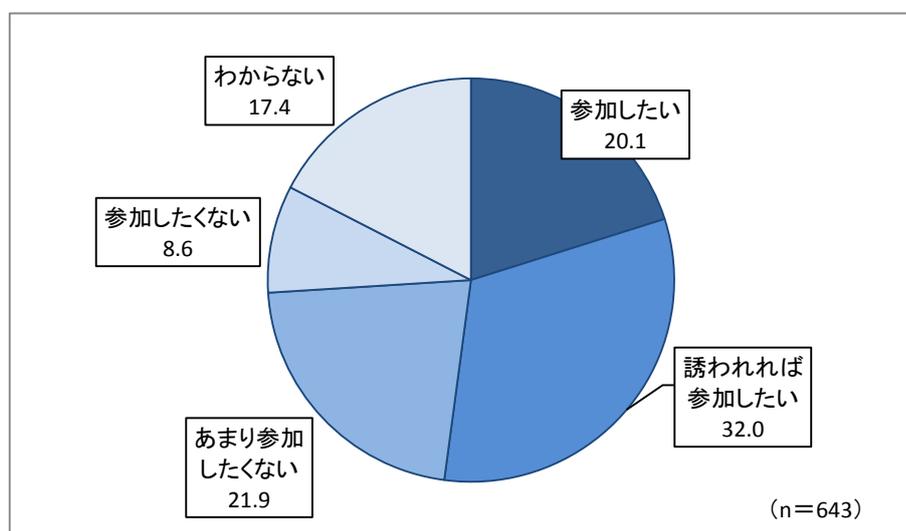


(7) 地域活動への参加意欲

問 あなたは、前問のようなコミュニティ活動（地域のさまざまな活動）に今後も参加したいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。（SA）

⇒「参加したい」（「誘われれば」を含む）は52.1%、「参加したくない」（「あまり」を含む）は30.5%となっている。

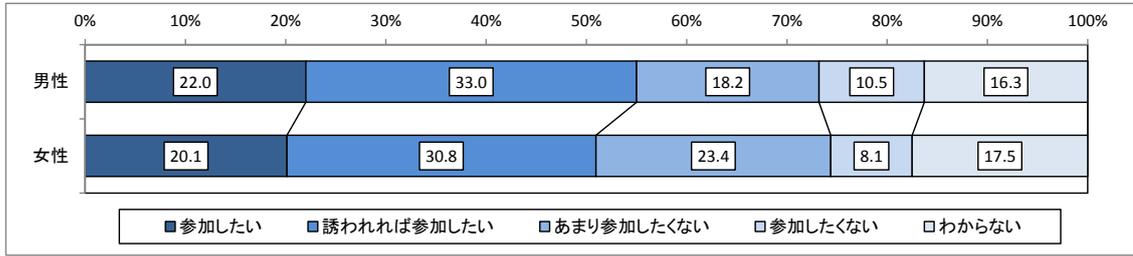
⇒「参加したい」の比率の方が高いが、「誘われれば参加したい」は積極的な姿勢とはいえ、今後は行動を顕在化させていくためのきっかけが求められる。



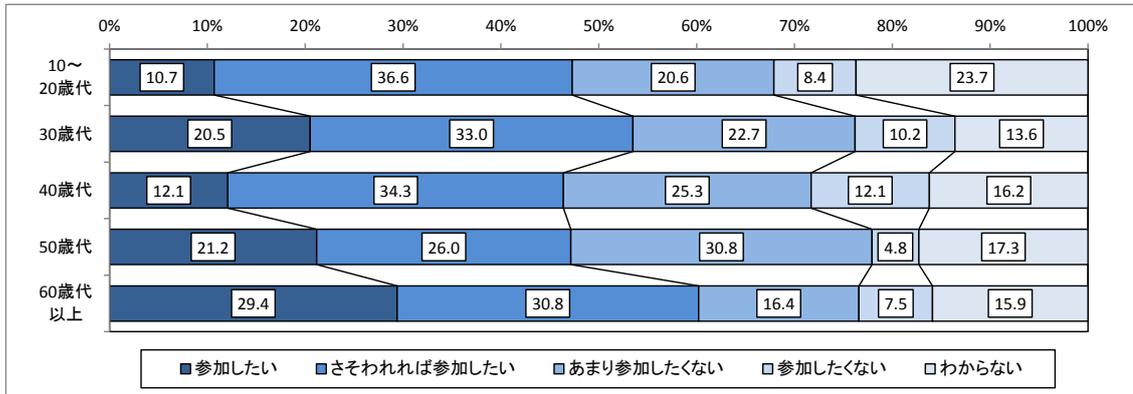
■属性別動向

- ・「参加したい」は男性の方がやや多くなっている。
- ・年齢別では、「参加したい」は60歳代で最も多く、30歳代がこれに続いている。
- ・「子どもがいる」層の方が「参加したい」の比率は高い。
- ・地区別では、「参加したい」の比率は「湊・天神山・竹岡・金谷地区」で高く、「大貫・吉野地区」で低くなっている。

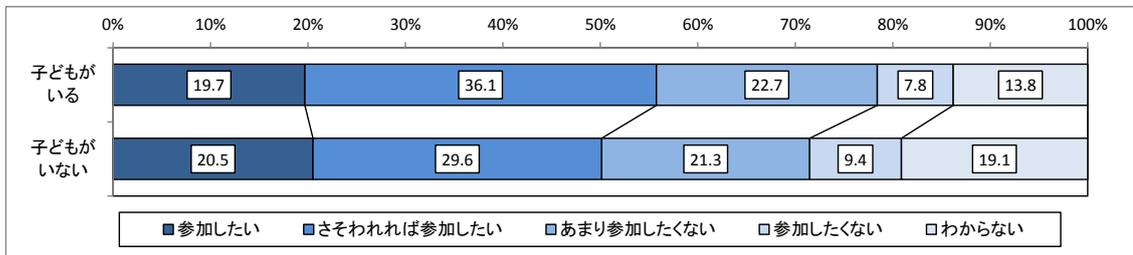
①男女別



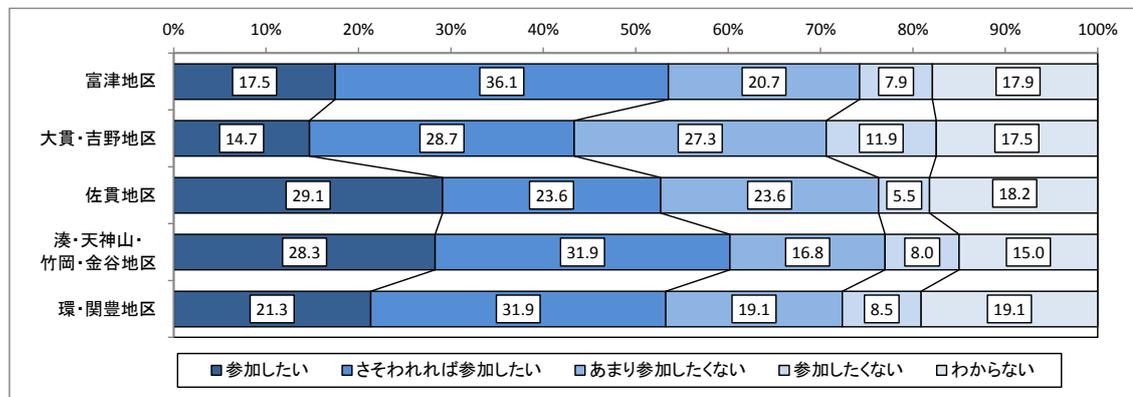
②年齢階層別



③子どもの有無別



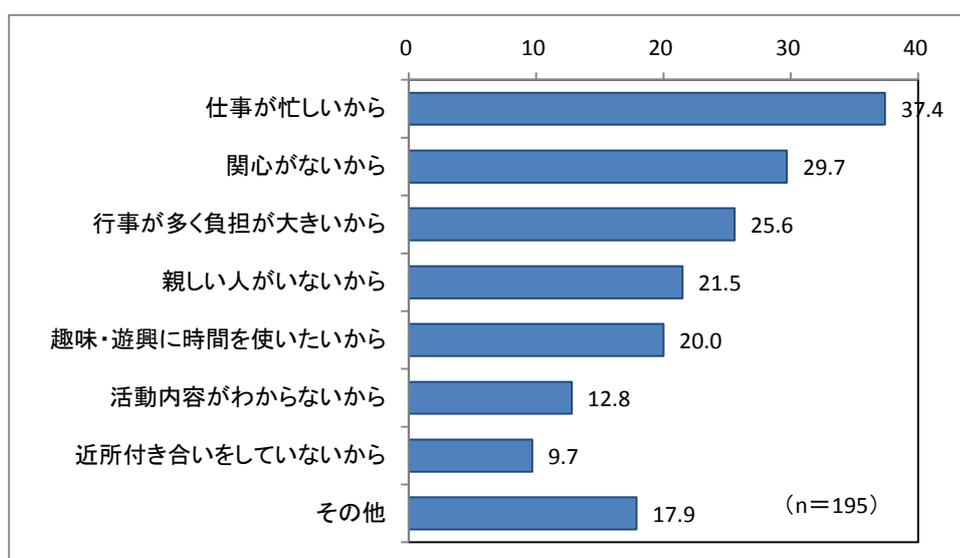
④居住地区別



(8) 地域活動に参加しない理由

問 前問で「あまり参加したくない」または「参加したくない」に○印をつけた人におうかがいします。コミュニティ活動に参加したくない理由はなんですか。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。(MA)

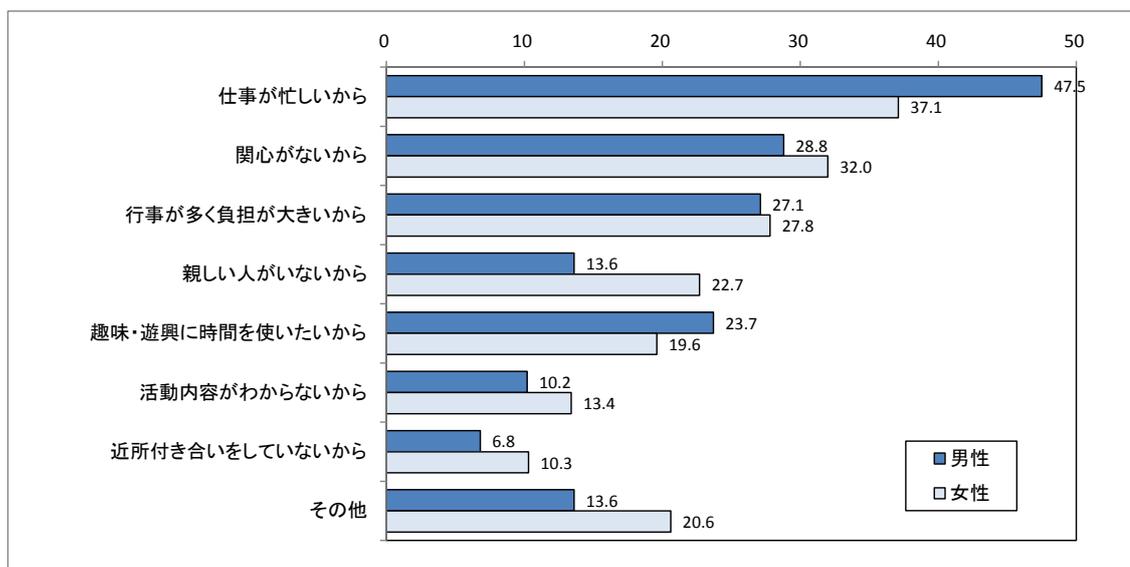
⇒「仕事が忙しいから」「関心がないから」などが参加しない理由にあげられている。



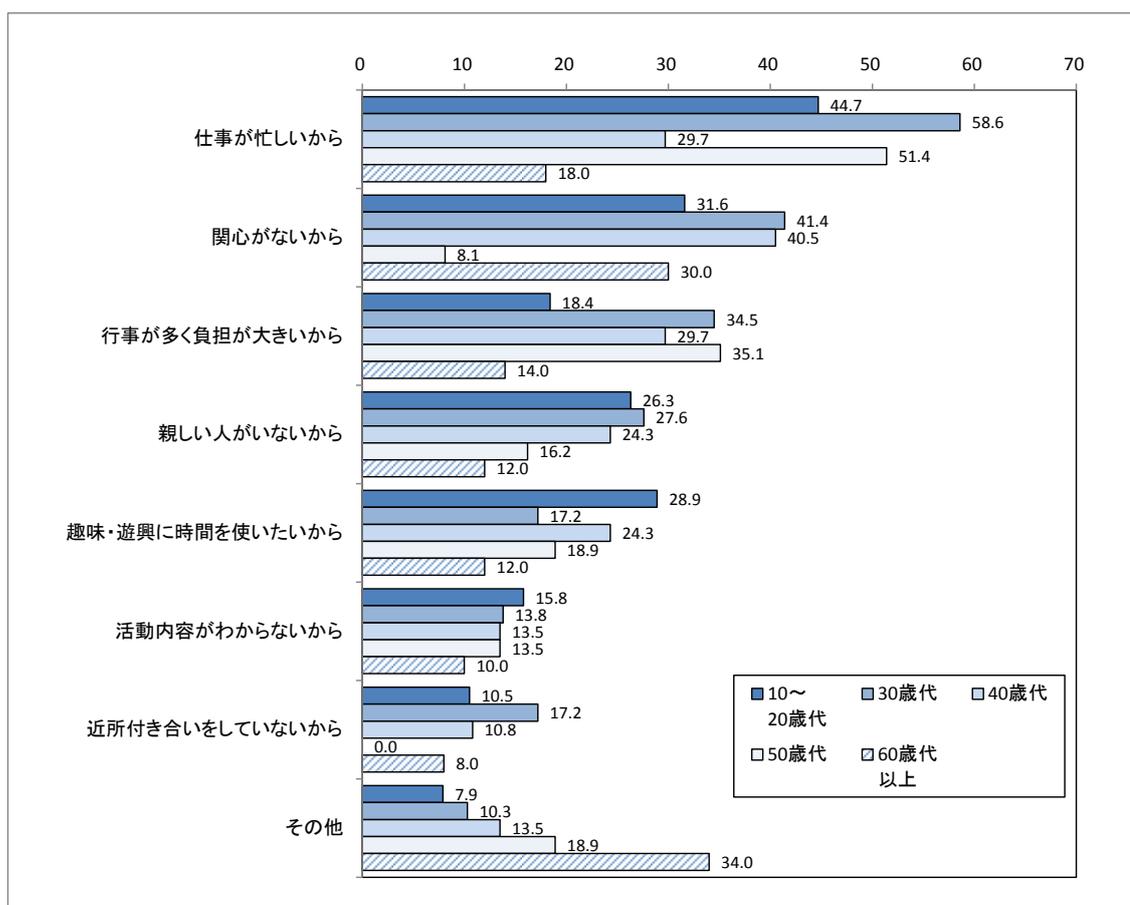
■ 属性別動向

- 男性では「仕事が忙しいから」、女性では「親しい人がいないから」の比率が高くなっている。
- 年齢別では「仕事が忙しいから」は30歳代と50歳代、「関心がないから」は30歳代と40歳代、「趣味・遊興に時間を使いたいから」は10～20歳代が多い。60歳代以上で「その他」の比率が高いが、この多くは健康上の理由となっている。
- 「子どもがいる」層で「行事が多く負担が大きいから」、「子どもがいない」層で「関心がないから」をあげる向きが多い。
- 「湊・天神山・竹岡・金谷地区」で「行事が多く負担が大きいから」の比率が高いことが目立つ。また、「環・関豊地区」と「大貫・吉野地区」で「仕事が忙しいから」、「佐貫地区」で「活動内容がわからないから」の比率が高い。

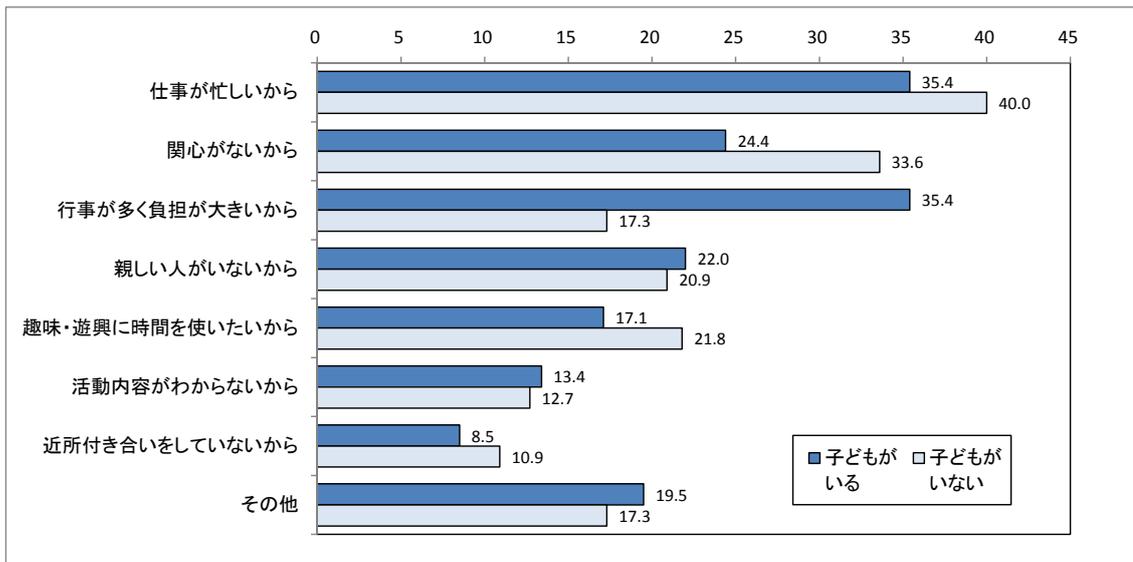
①男女別



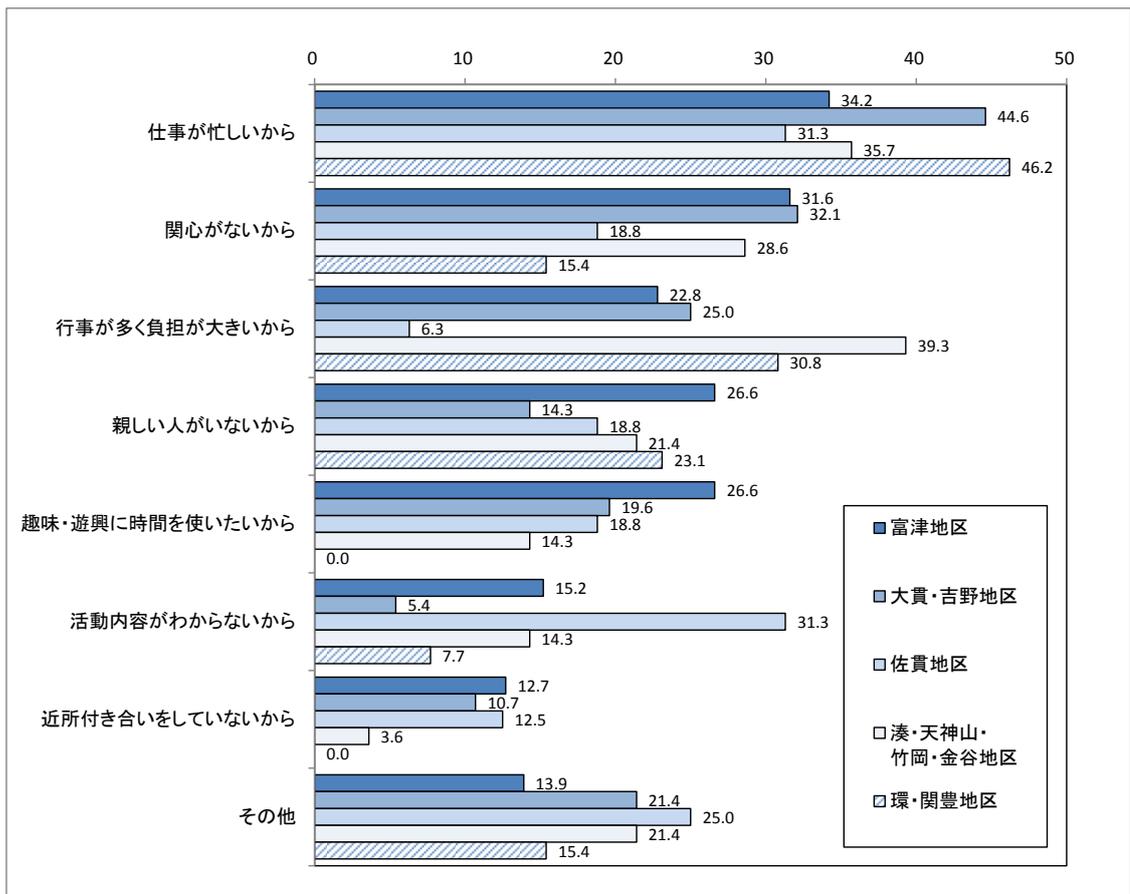
②年齢階層別



③子どもの有無別



④居住地区別



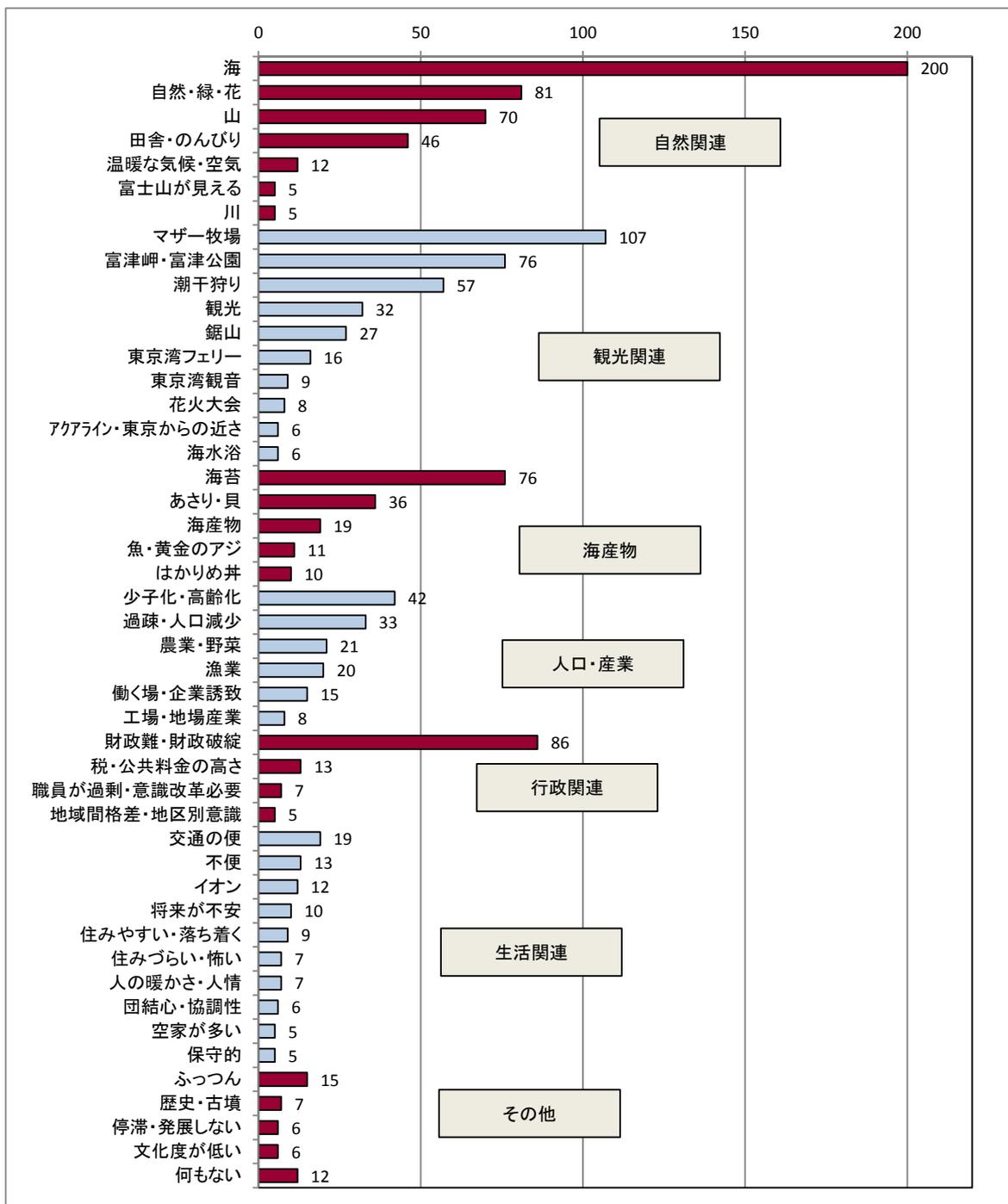
(9) 富津市から連想するキーワード

問 「富津市」から連想するキーワードを3つまで書いてください。(自由記載)

*回答のうち、主なものを掲載

⇒自然関連の回答が多く、中でも「海」を連想する市民が最も多かった。

⇒観光関連の「マザー牧場」、海産物の「海苔」、行政関連の「財政難・財政破綻」との回答も多くなっている。



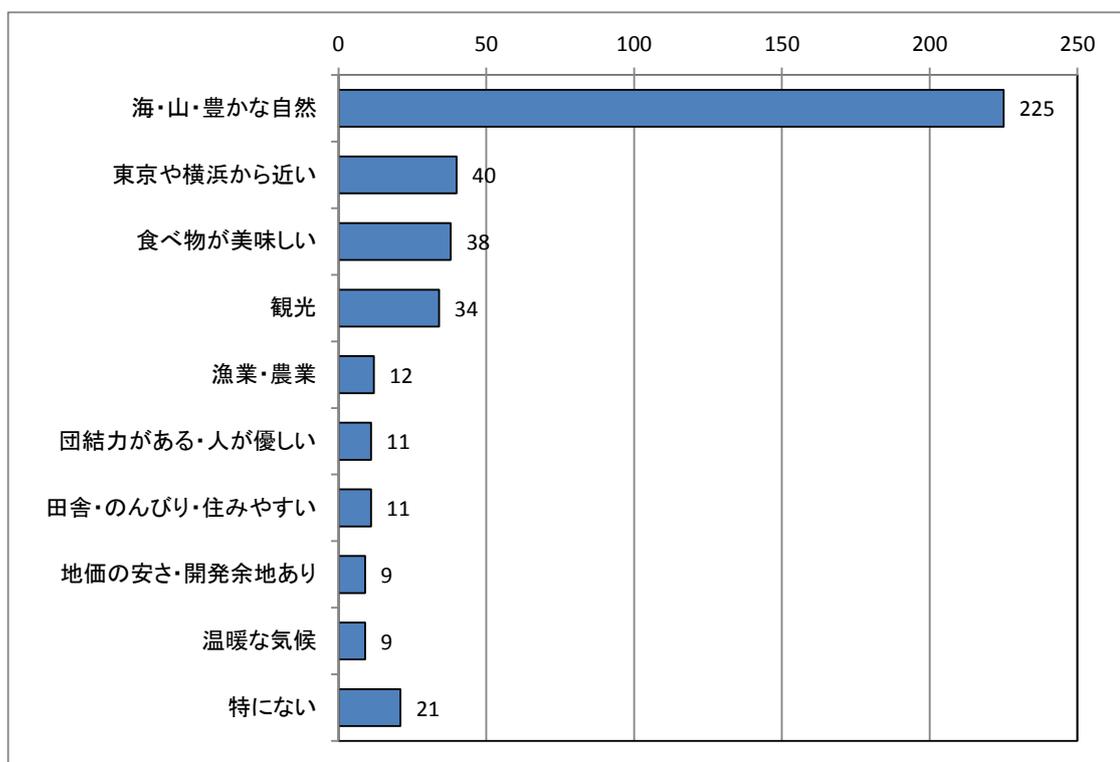
(10) 富津市の強み

問 あなたが思う富津市の「強み」を一言で書いてください。(自由記載)

*回答のうち、主なものを掲載

⇒多くの市民が「海・山・豊かな自然」を強みだと考えている。

⇒「東京や横浜から近い」「食べ物が美味しい」「観光」を強みとする回答もみられる。ただし「自然」と比較すると少ない水準といえる。



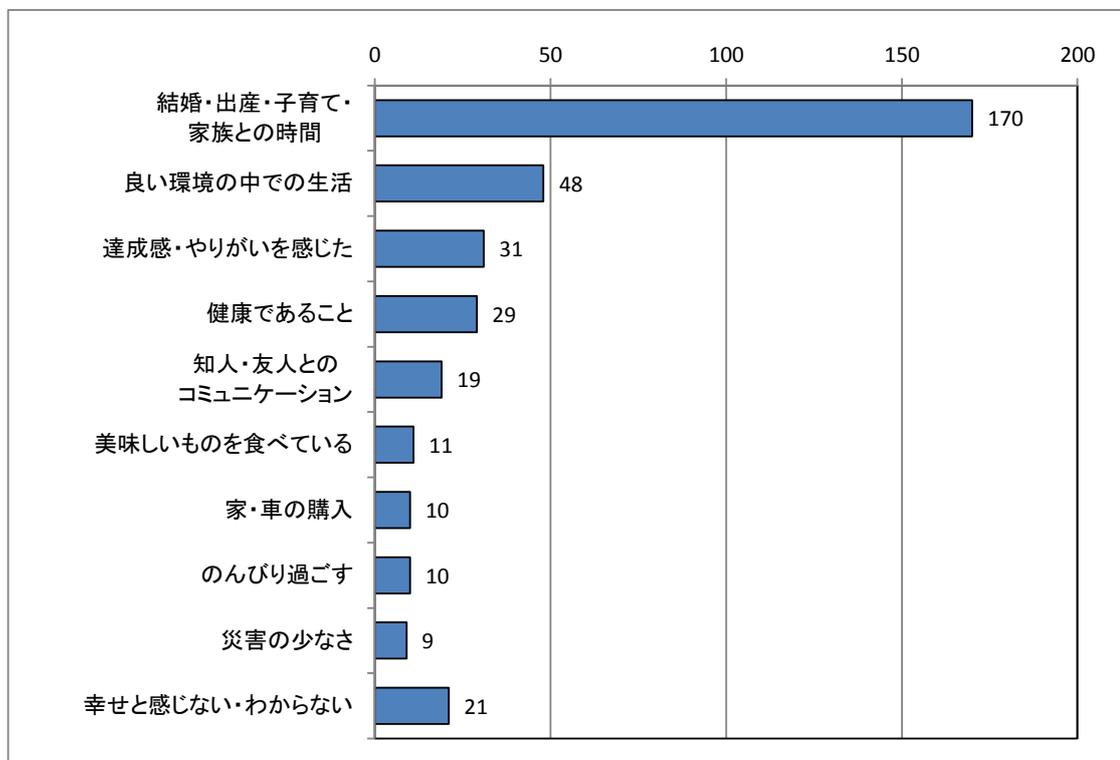
(11) 幸せだと感じたとき・こと

問 今までで最も幸せだと感じたとき、ことはなんですか。以下の欄にご記入ください。(自由記載)

*回答のうち、主なものを掲載

⇒「結婚・出産・子育て・家族との時間」との回答が最も多い。

⇒「良い環境での生活」「達成感・やりがいを感じた」「健康であること」などの回答がこれに続いている。

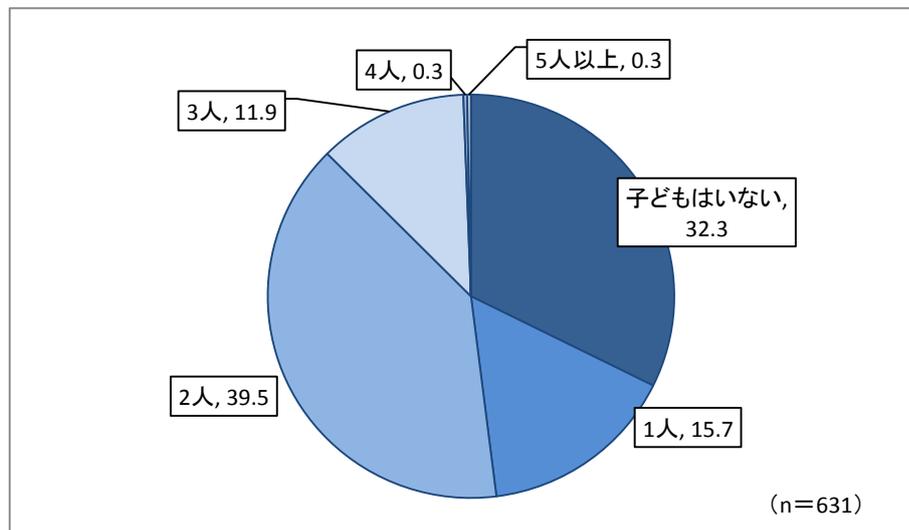


2. 「結婚・出産・子育ての意向等」についての設問

(1) 子どもの数

問 あなたの現在の子どもは何人ですか（同居の有無を問わず）。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。（SA）

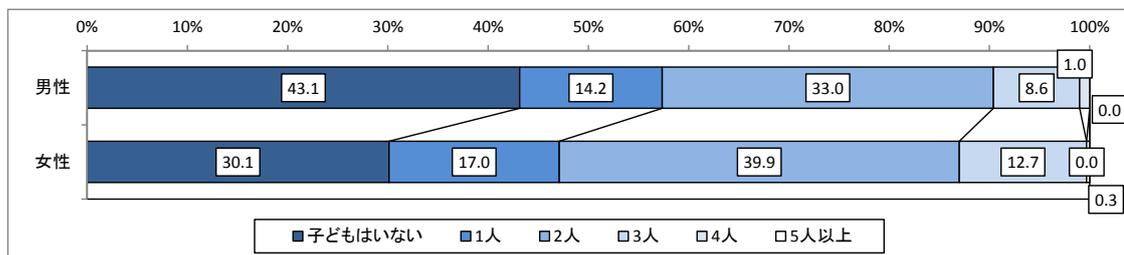
⇒回答者（既婚・未婚を問わず）のうち7割弱が「子どもがいる」と回答。子どもの数としては「2人」が39.5%で最も多く、「1人」が15.7%、「3人」が11.9%となっている。



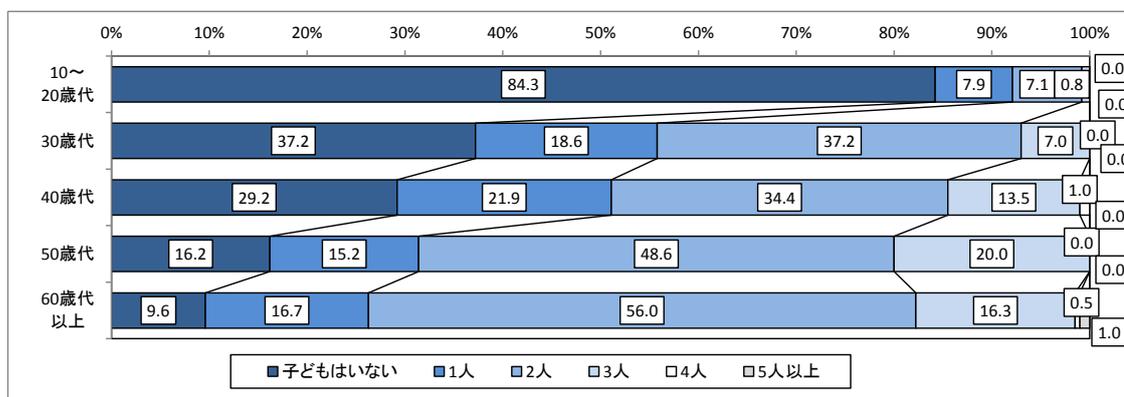
■属性別動向

- ・男性で「子どもはいない」が多い。
- ・年齢が高いほど、子どもの数が多くなっている。
- ・「湊・天神山・竹岡・金谷地区」で3人が20.7%など、相対的に子どもの数が多くなっている。

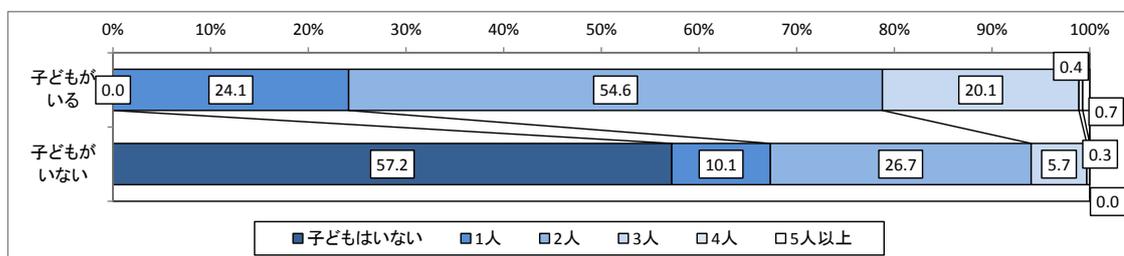
①男女別



②年齢階層別

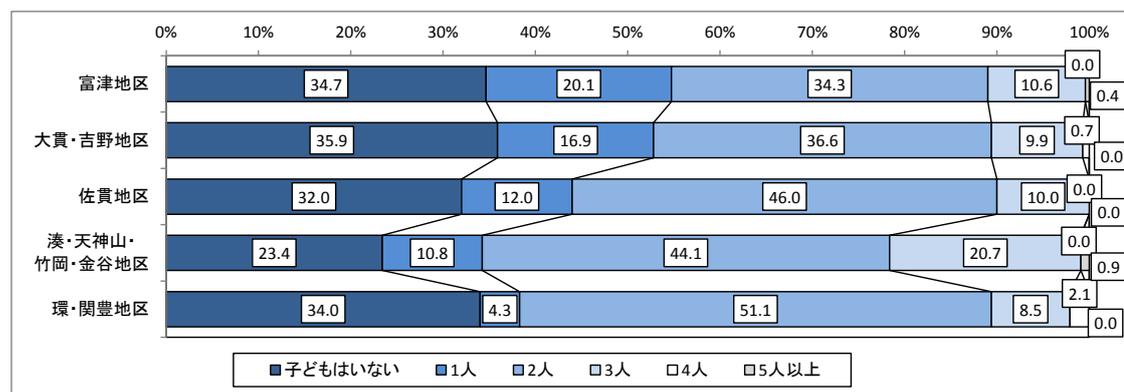


③子どもの有無別



*本問の「子どもはいない」は「同居の子どもがいない」ということであり、「子どもがいない」層でも、既に独立して別居している子どもがいれば、人数を回答している

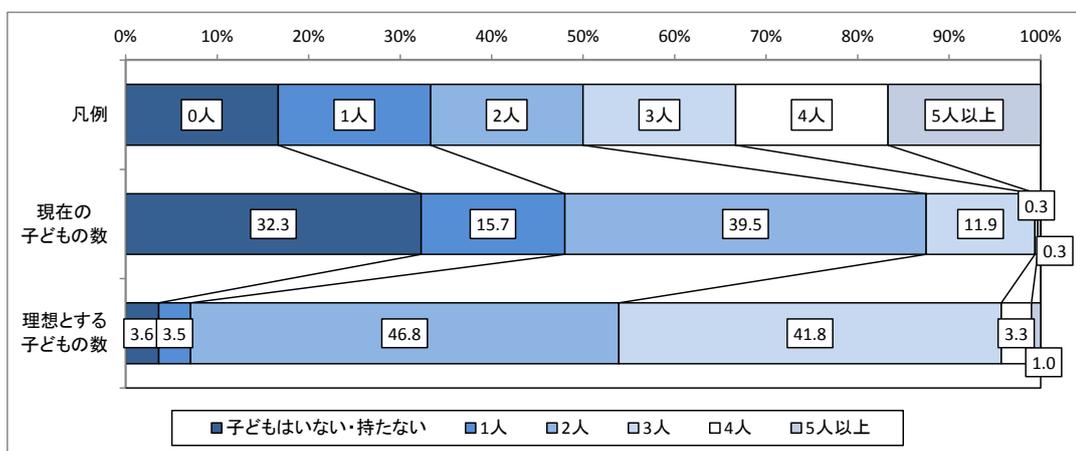
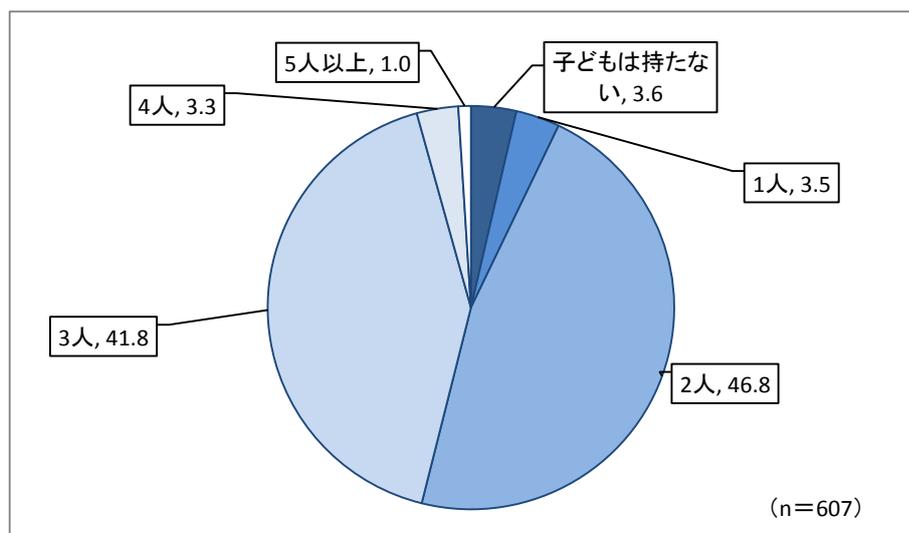
④居住地区別



(2) 理想とする子どもの数

問 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

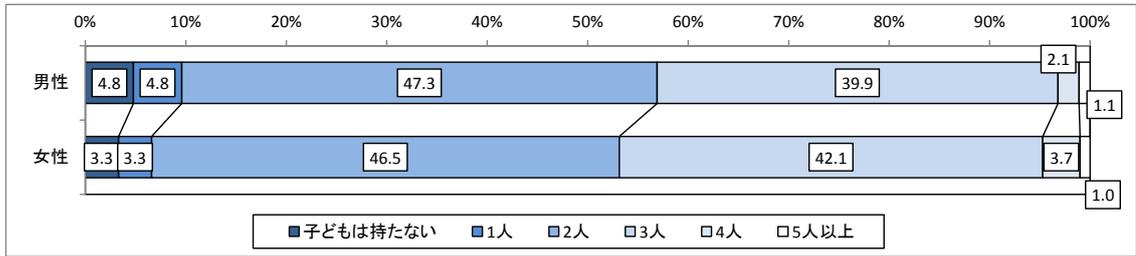
⇒「2人」が46.8%、「3人」が41.8%で、両者の合計で88.6%を占めている。「現在の子どもの数」よりも、子どもの数が多い選択肢で比率が高くなっている。



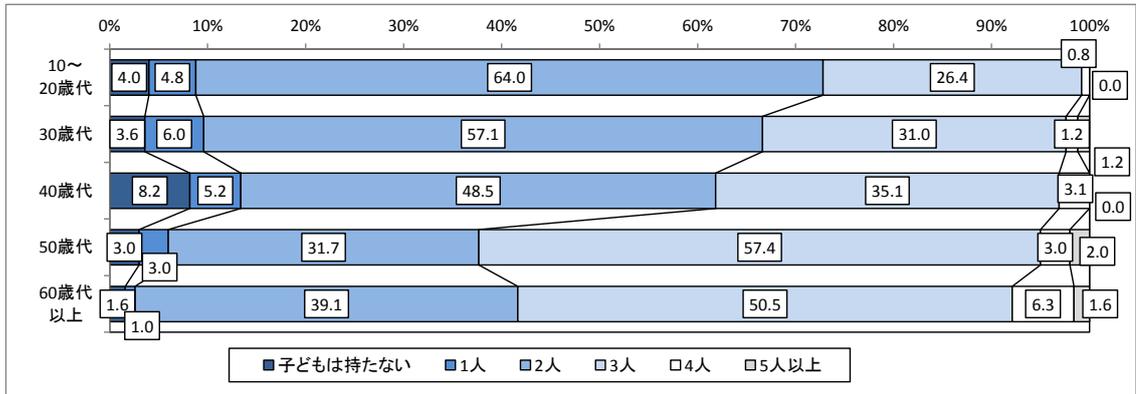
■属性別動向

- ・女性で、理想的な子どもの数がやや多くなっている。
- ・20～40歳代では「2人」、50歳代以上では「3人」との回答が最も多くなっている。
- ・「子どもがいる」層は「3人」、「いない層」は「2人」が最も多くなっている。
- ・「環・関豊地区」「湊・天神山・竹岡・金谷地区」で、「3人」との回答が「2人」を上回っている。

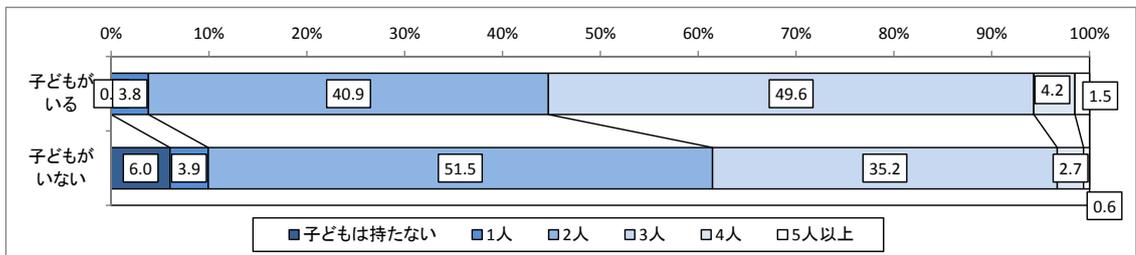
①男女別



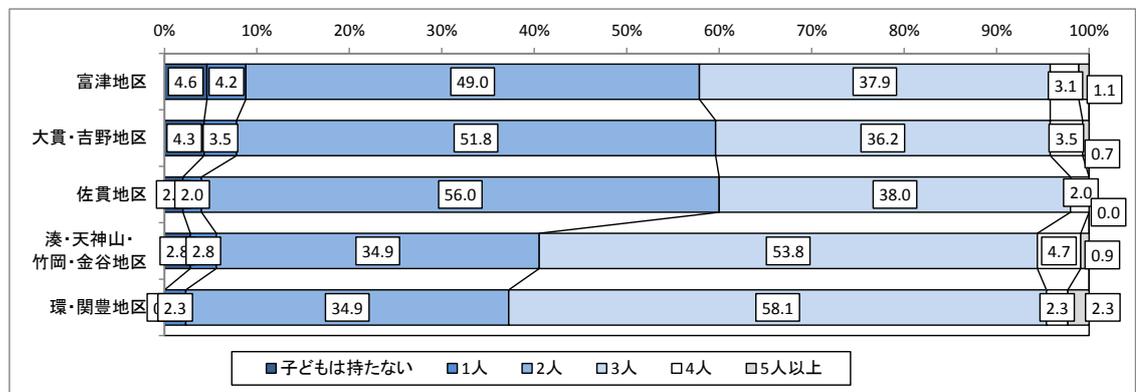
②年齢階層別



③子どもの有無別



④居住地区別

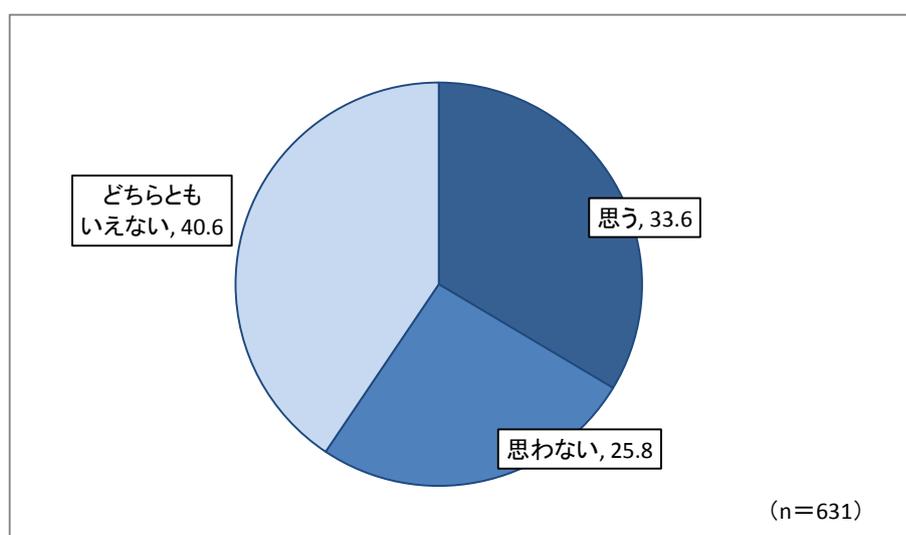


(3) 富津市の子育てのしにくさ

問 あなたは、富津市は子育てしにくいところだと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

⇒子育てしにくいと「思う」比率(33.6%)が「思わない」比率(25.8%)をやや上回っている。

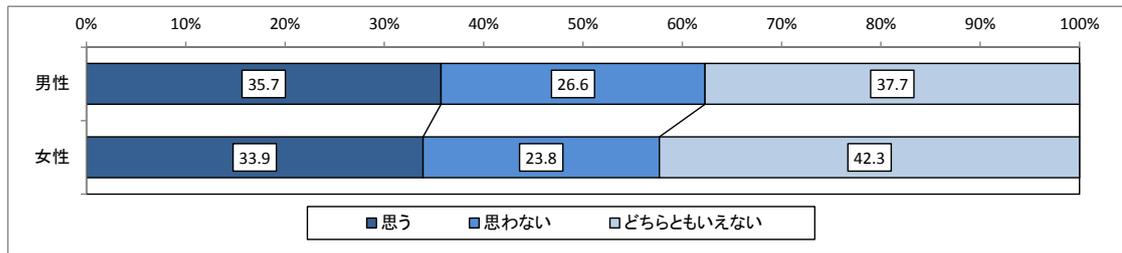
⇒市民は富津市を、必ずしも「子育てしやすいまち」とは認識していないといえる。



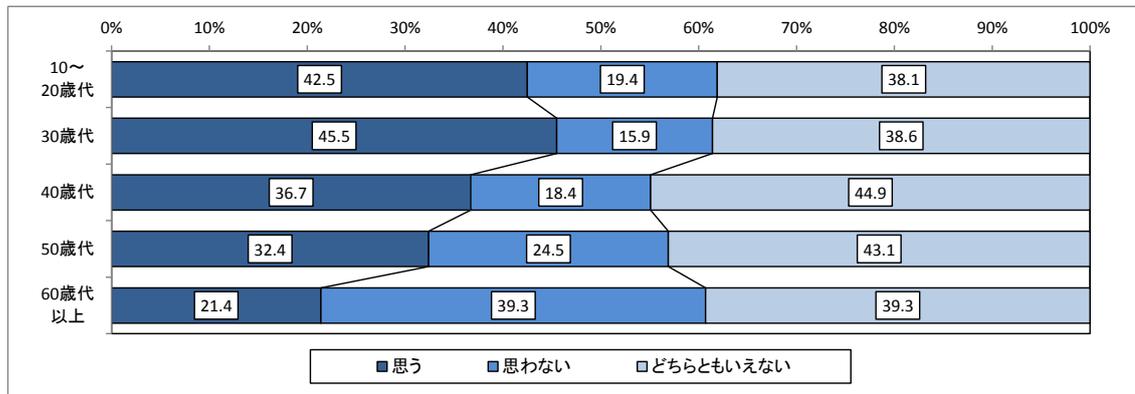
■属性別動向

- ・「子育てしにくい」と「思う」「思わない」とも、男性の方が女性より比率が高くなっている。
- ・「子育てしにくい」と思う比率は、30歳代で最も高い。年齢が高くなるほどこの比率は低くなっている。
- ・「子どもがいる」層で、「思う」比率がやや高い。
- ・他地区と比較して、「湊・天神山・竹岡・金谷地区」で「思う」比率が高いことが目立つ。

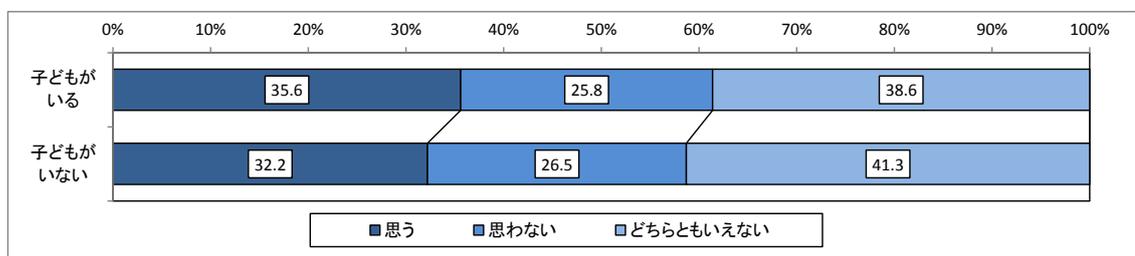
①男女別



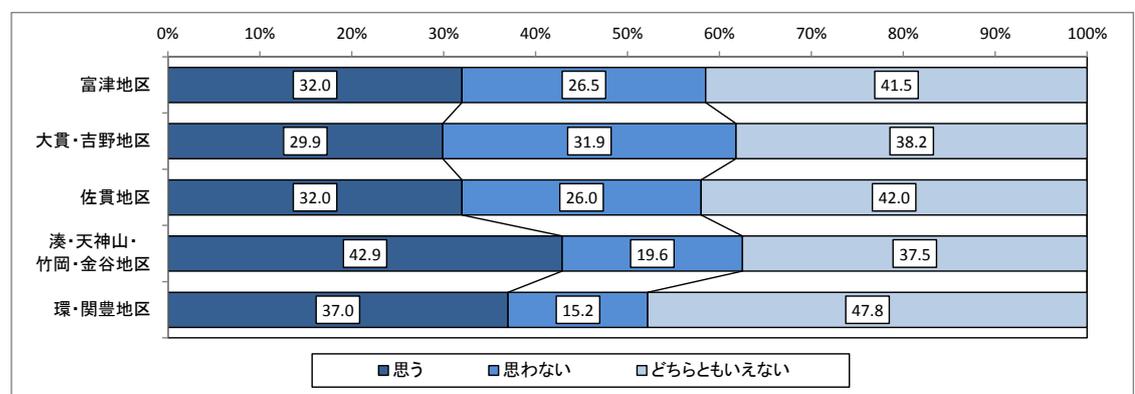
②年齢階層別



③子どもの有無別



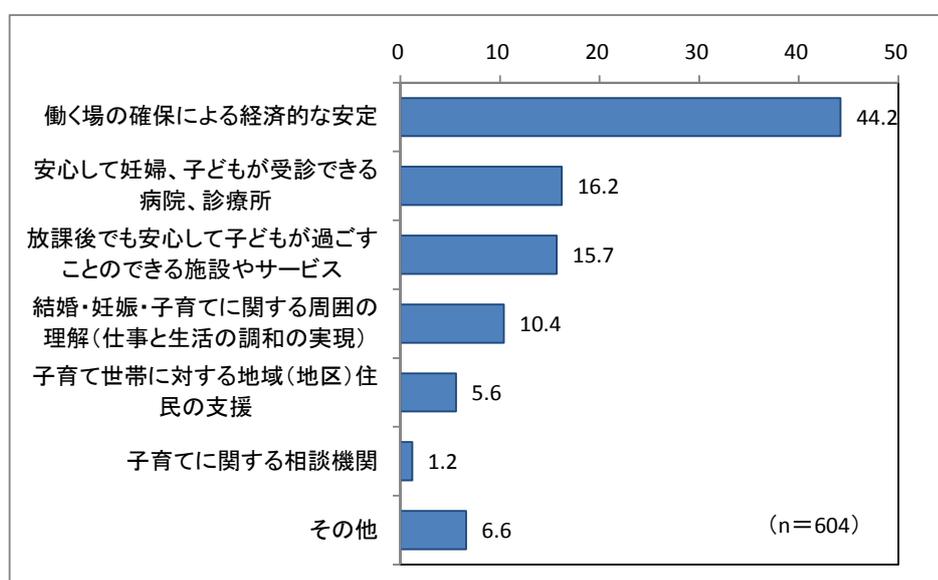
④居住地区別



(4) 子育てしやすいまちにするために必要なこと

問 あなたは、富津市が子育てしやすい地域になるためには、何が必要だとお考えですか。あてはまると思われるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

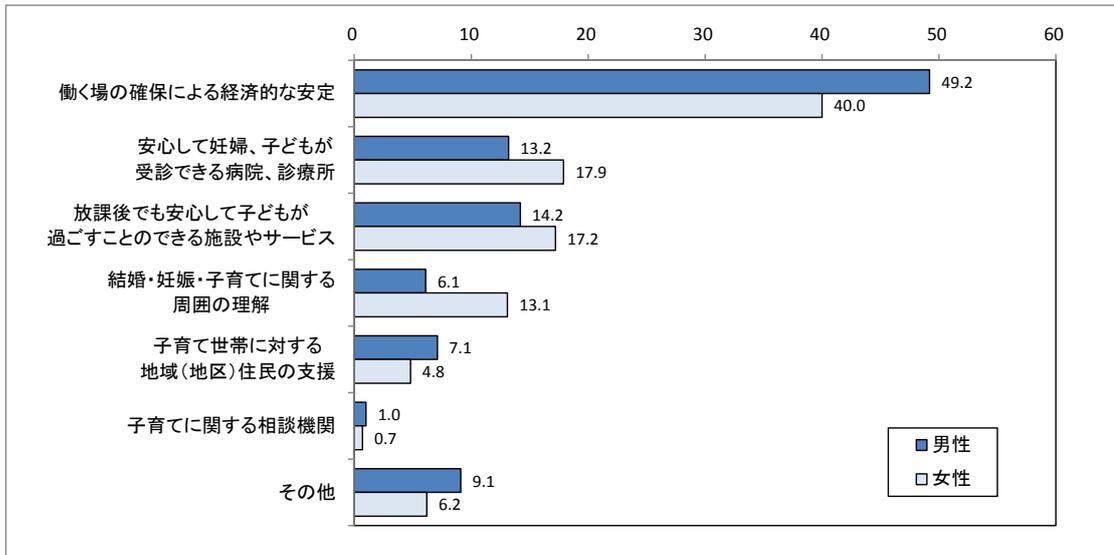
⇒「働く場の確保による経済的な安定」との回答が突出して多い。以下、「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」「放課後でも安心して子どもが過ごすことのできる施設やサービス」が続いている。



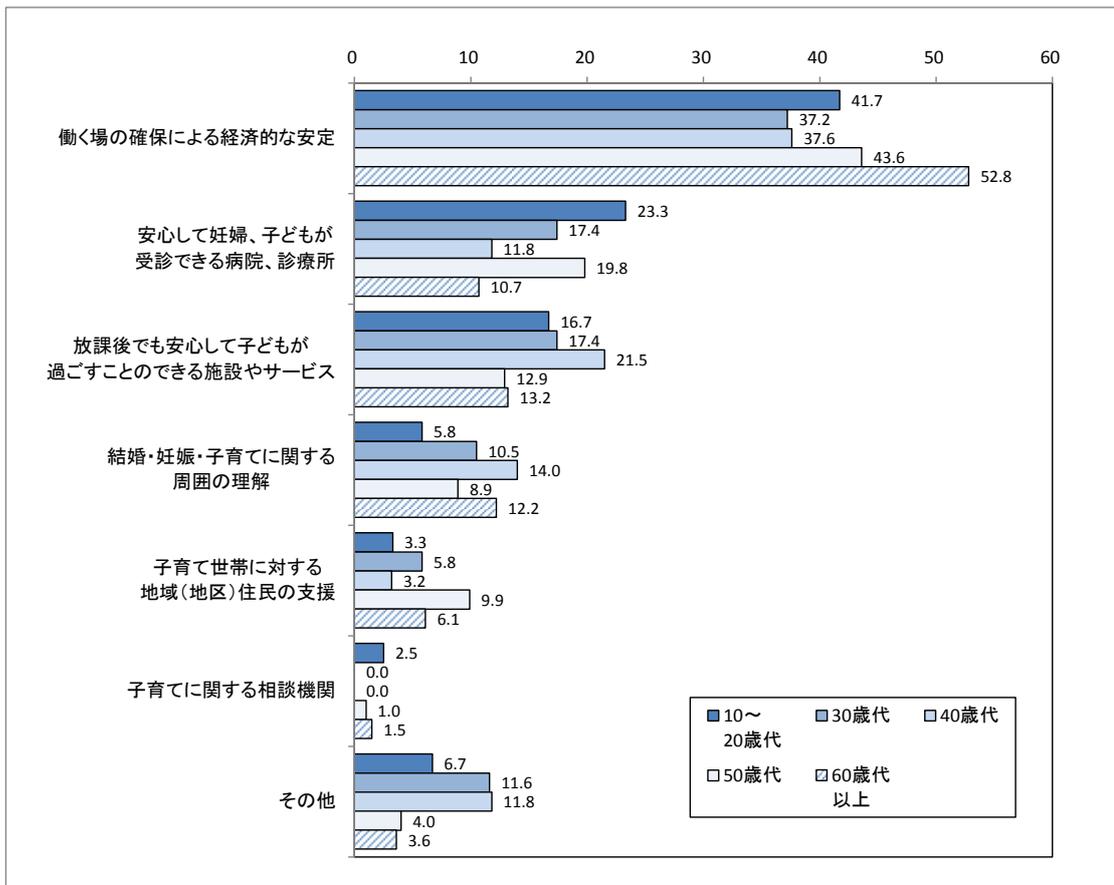
■属性別動向

- 男性で「働く場の確保」、女性で「病院・診療所」「放課後に過ごせる施設やサービス」「周囲の理解」が多くなっている。
- 60歳代以上で「働く場の確保」の比率が高いことが目立つ。
- 「子どもがいない」層では「働く場の確保」、「子どもがいる」層では「病院・診療所」をあげる声大きい。
- 「働く場の確保」は「環・関豊地区」で最も多くなっている。また「病院・診療所」は「佐貫地区」で多くなっている。

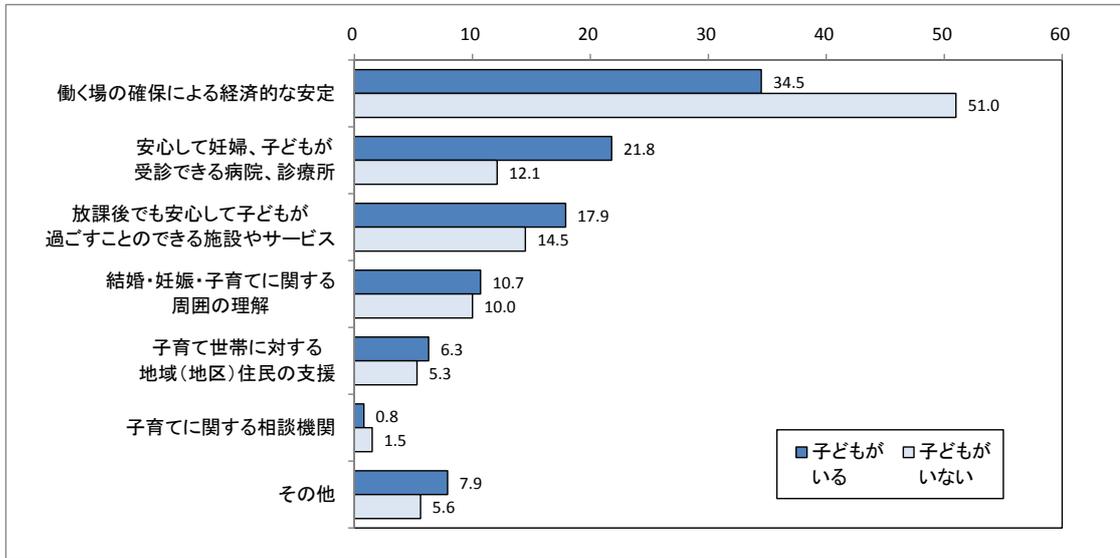
①男女別



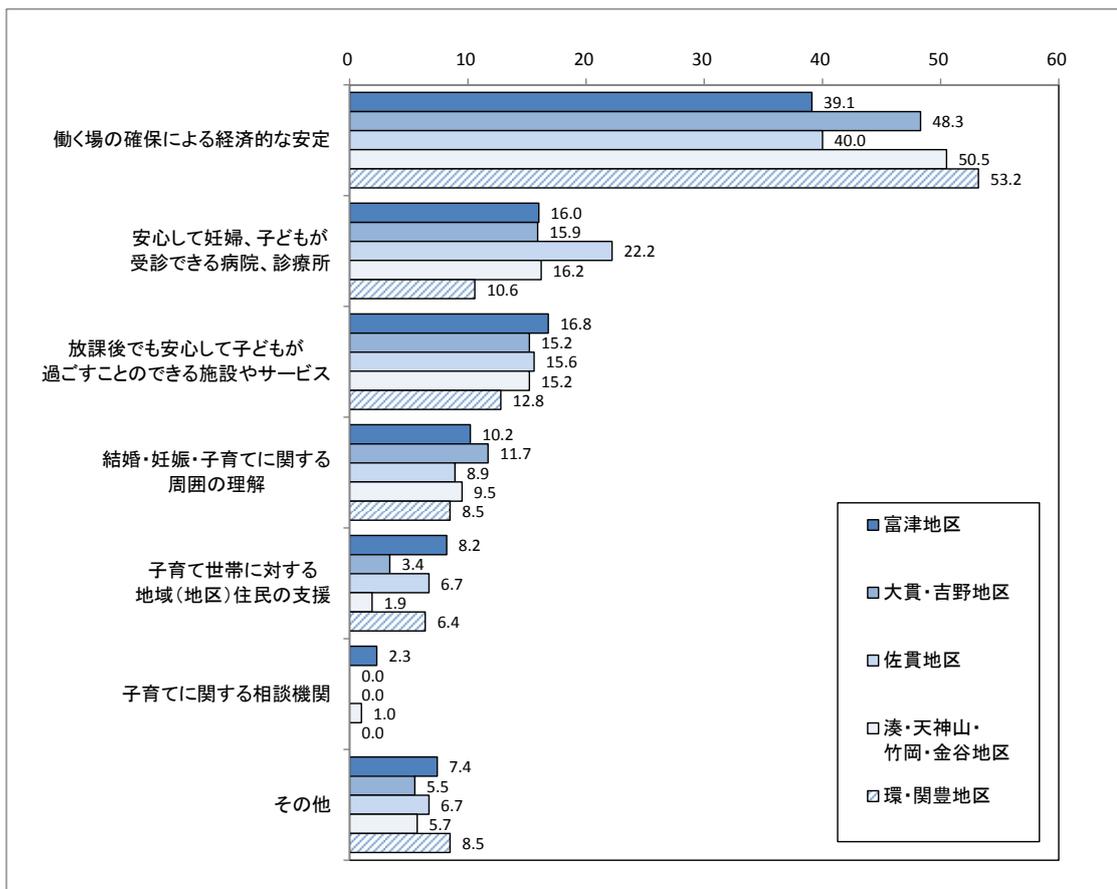
②年齢階層別



③子どもの有無別



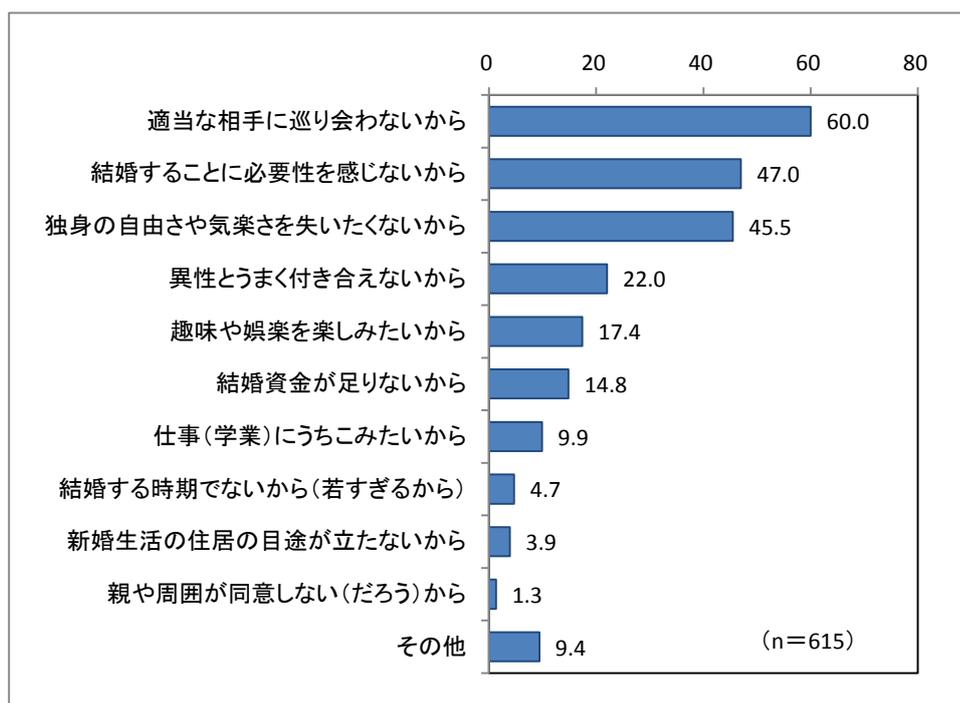
④居住地区別



(5) 未婚者が結婚しない理由

問 あなたは、結婚をしない人が独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれにあてはまるとお考えですか。あてはまると思われる理由を選んで番号に○印をつけてください。(MA)

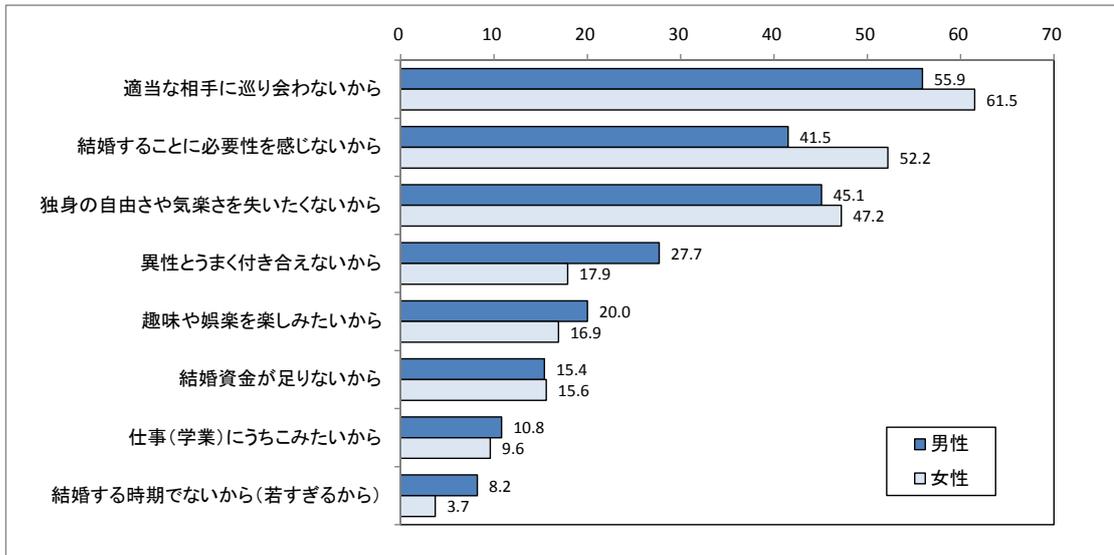
⇒「適当な相手に巡り合えないから」「結婚することに必要性を感じないから」「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」の比率が高い。



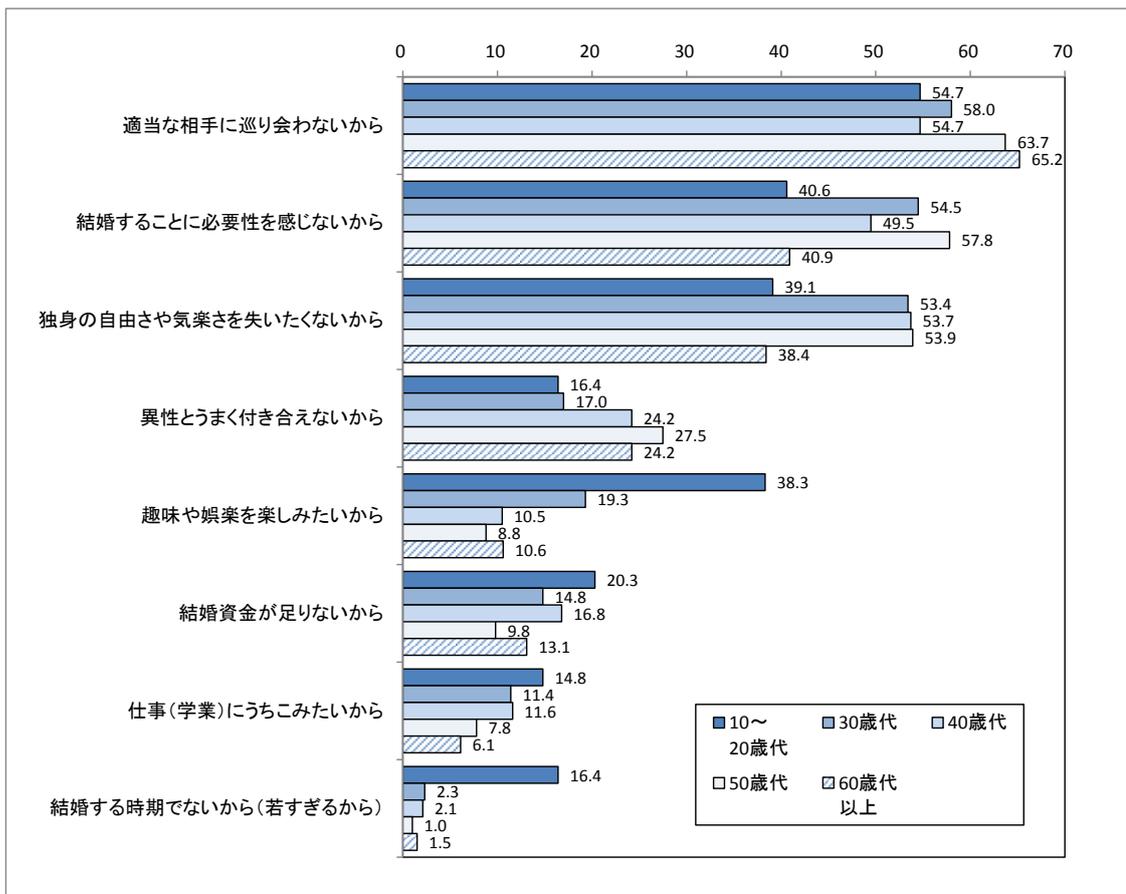
■属性別動向

- 女性で「適当な相手に巡り会わないから」「結婚することに必要性を感じないから」、男性では「異性とうまく付き合えないから」の比率が高くなっている。
- 50歳代以上で「適当な相手に巡り会わないから」と考えている人が多い。また10～20歳代で「趣味や娯楽を楽しみたいから」「結婚する時期でないから(若すぎるから)」との声が多い。
- 「子どもがいる」層で「適当な相手に巡り会わないから」「結婚することに必要性を感じないから」など、主な項目で比率が高くなっている。
- 「佐貫地区」で「結婚することに必要性を感じないから」、「湊・天神山・竹岡・金谷地区」で「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」、「環・関豊地区」で「異性とうまく付き合えないから」が多くなっている。

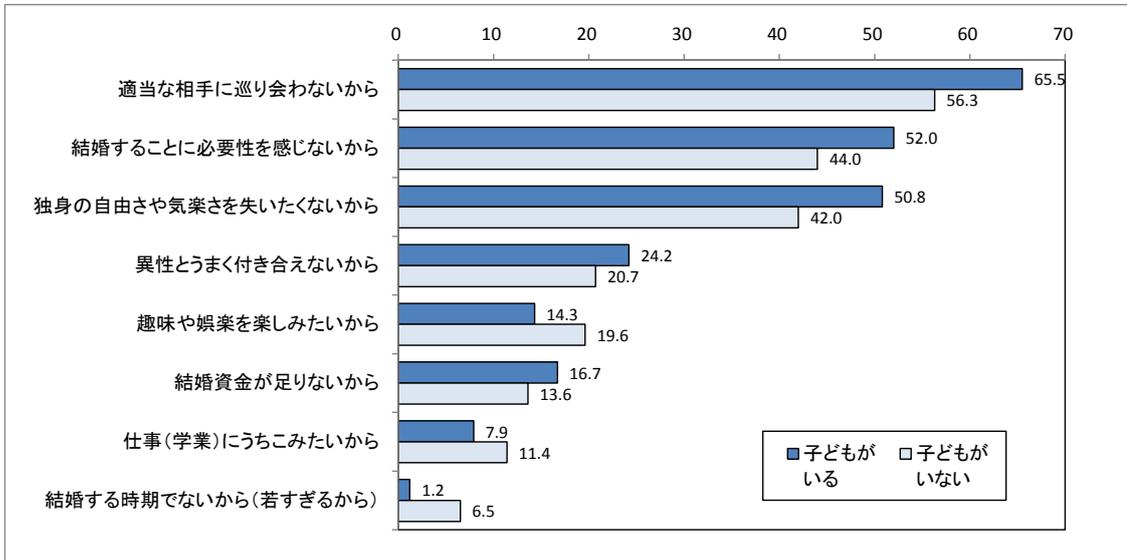
①男女別



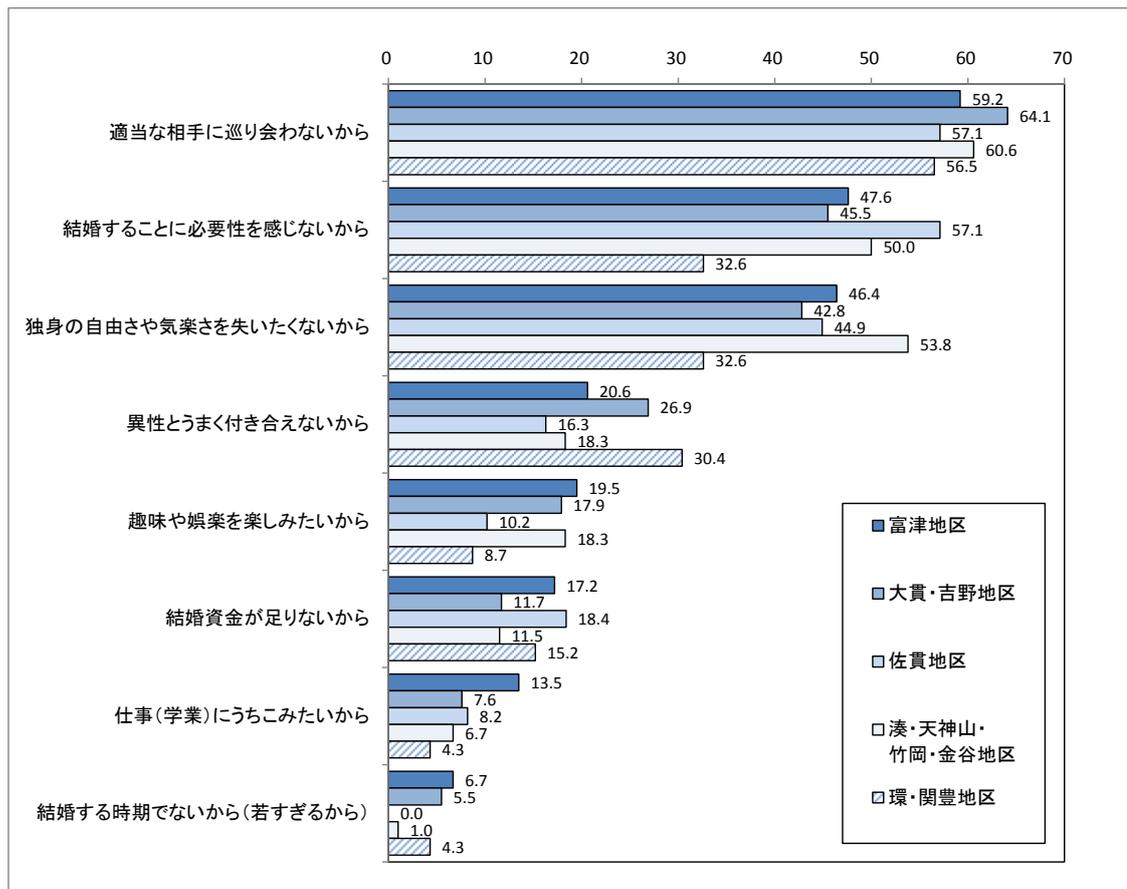
②年齢階層別



③子どもの有無別



④居住地区別

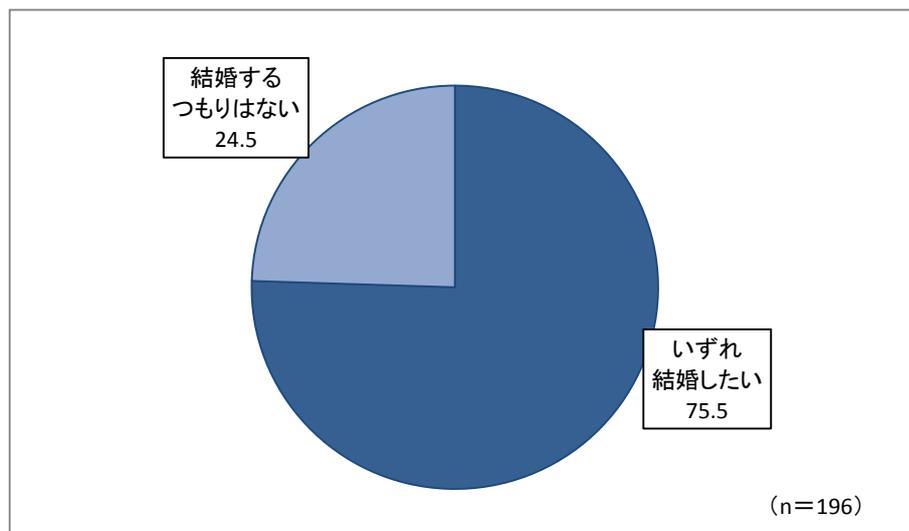


(6) 結婚の意思

* (6)(7)は、結婚していない方が対象

問 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に関するお考えは次のうちどちらですか。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。(SA)

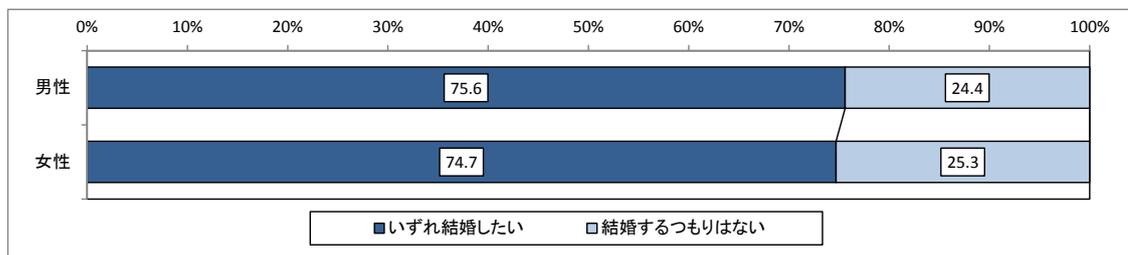
⇒75.5%が「いずれ結婚したい」と回答している。



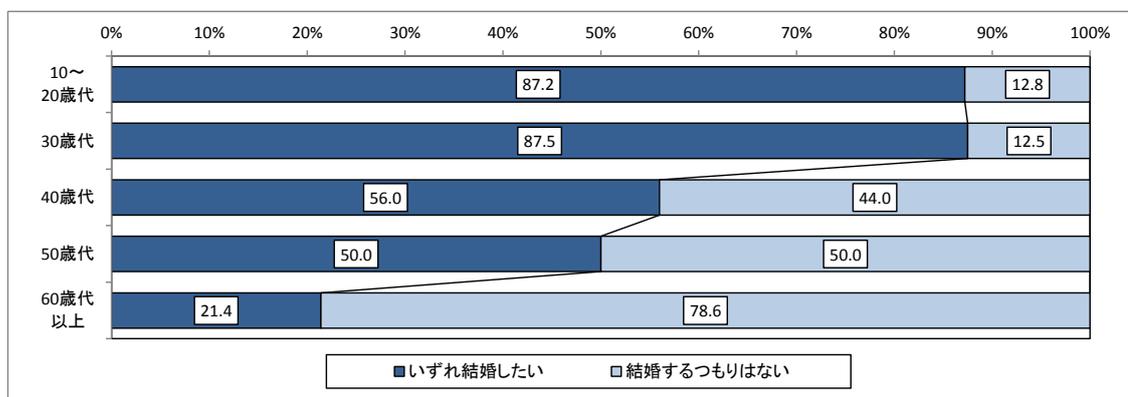
■属性別動向

- 男女で大きな差異は見られない。
- 年齢が高いほど「いずれ結婚したい」の比率が低くなっている（対象が未婚者のみであるため、当然の結果といえる）。
- 「佐貫地区」で「いずれ結婚したい」の比率が他地区より高いことが目立っている。

①男女別



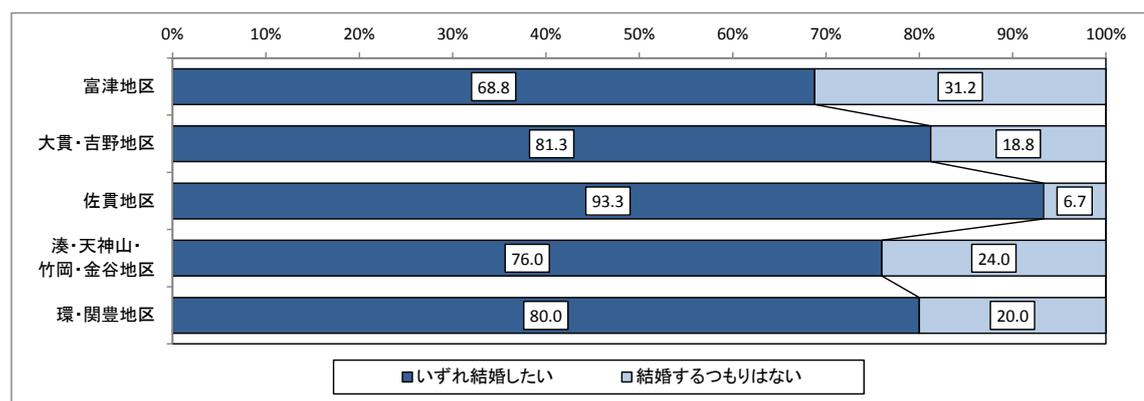
②年齢階層別



③子どもの有無別

*「子どもはいる」対象者はごくわずかであり、掲載せず。

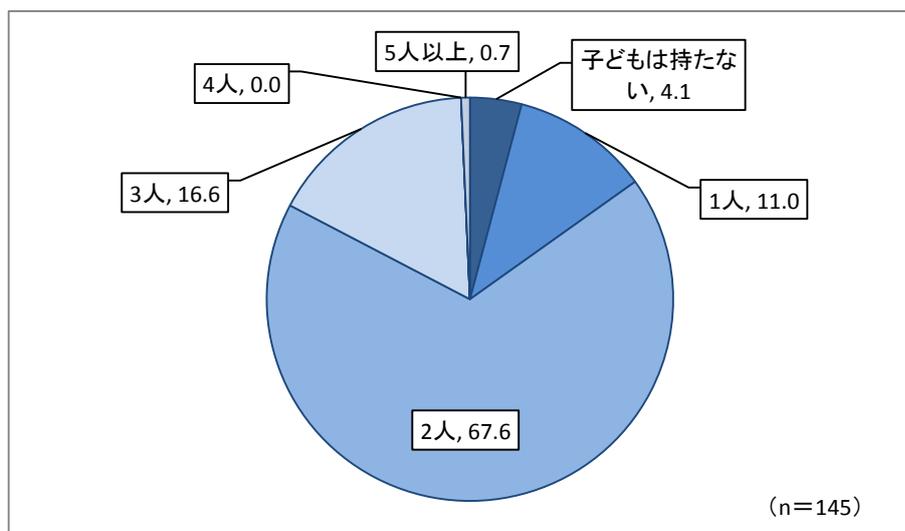
④居住地区別



(7) 結婚した場合の子どもの数

問 あなたが今後結婚したと仮定すると、子どもは何人くらいほしいですか。理想的な子どもの数についてあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(SA)

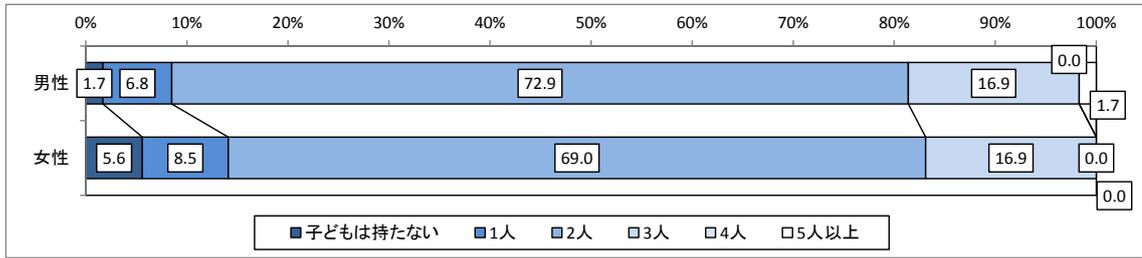
⇒「2人」との回答が67.6%を占め、「子どもは持たない」は4.1%にとどまっている。



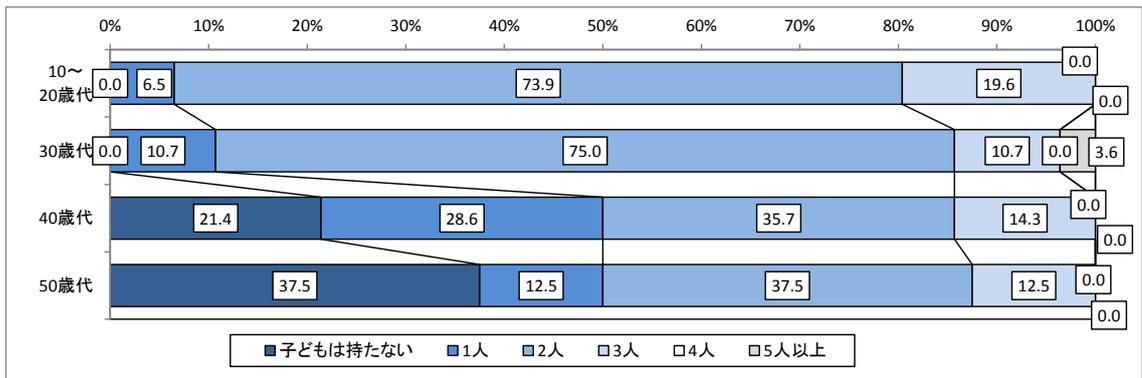
■属性別動向

- 女性で「2人」の比率がやや低く、「子どもは持たない」の比率がやや高くなっている。
- 年齢が高くなるほど、「子どもは持たない」の比率が高くなっている。
- 「3人」の比率が「環・関豊地区」で高い。また、「子どもは持たない」が「佐貫地区」で多くなっている。

①男女別



②年齢階層別

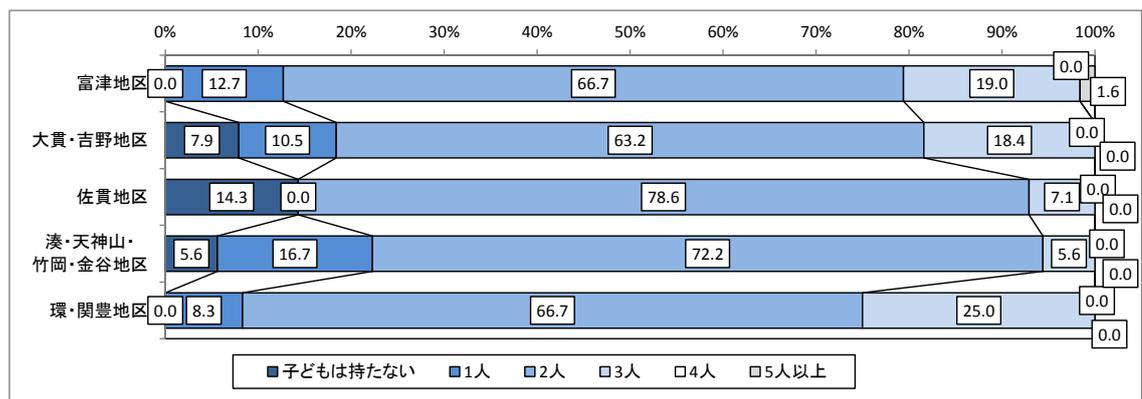


*60歳代の対象者はごくわずかであり、掲載せず。

③子どもの有無別

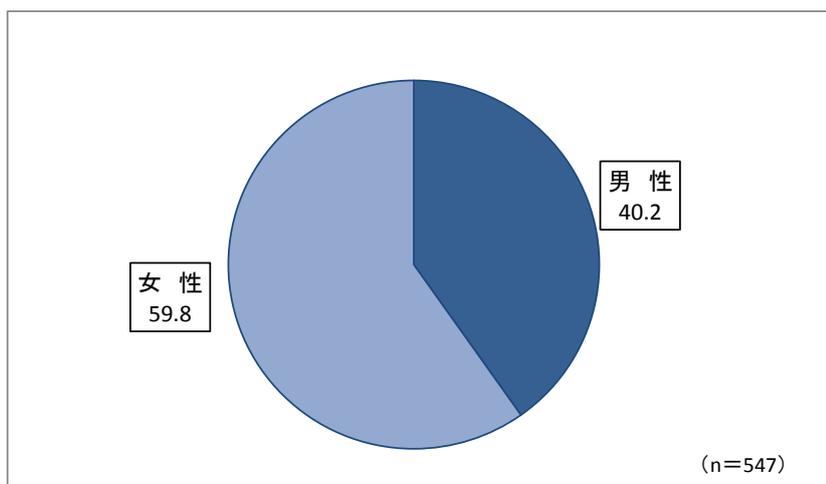
*「子どもはいる」対象者はごくわずかであり、掲載せず。

④居住地区別

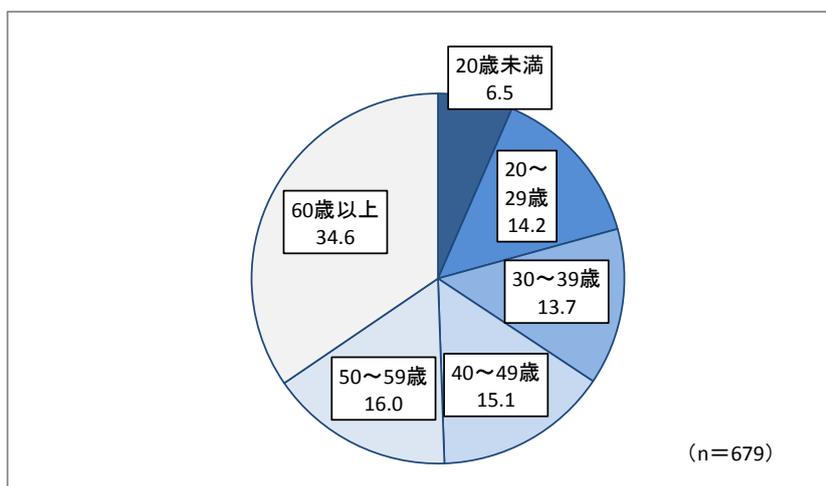


3. 回答者の属性についての設問

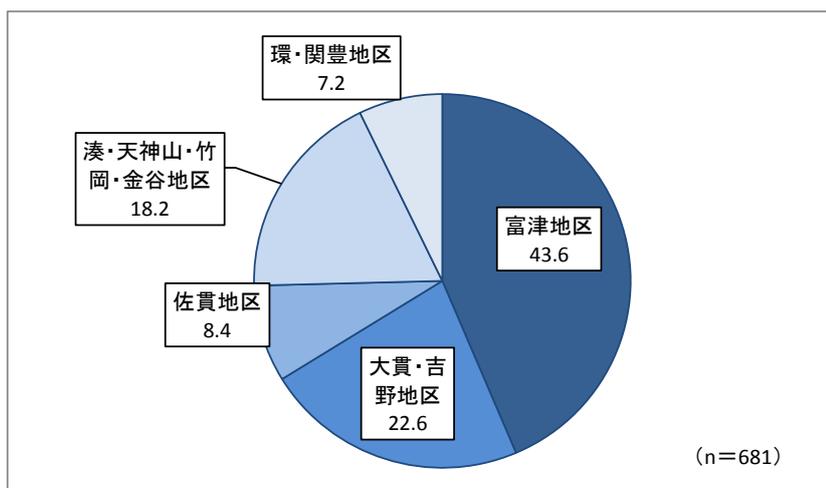
(1) 性別



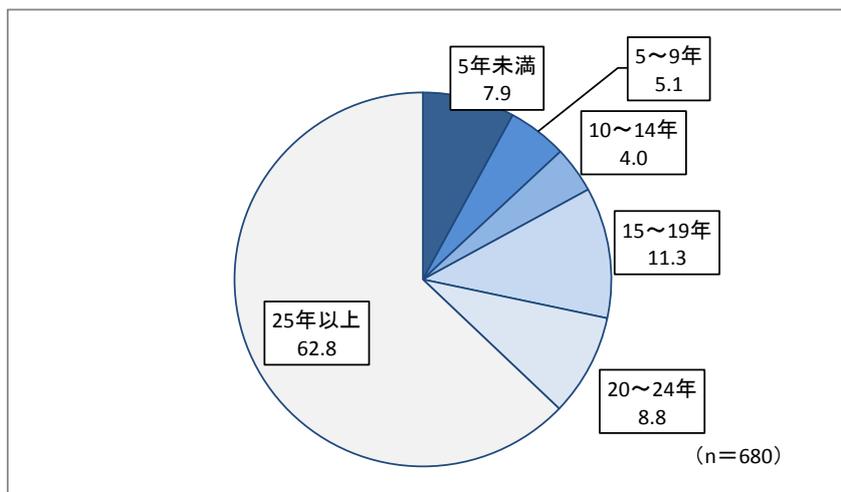
(2) 年齢階層



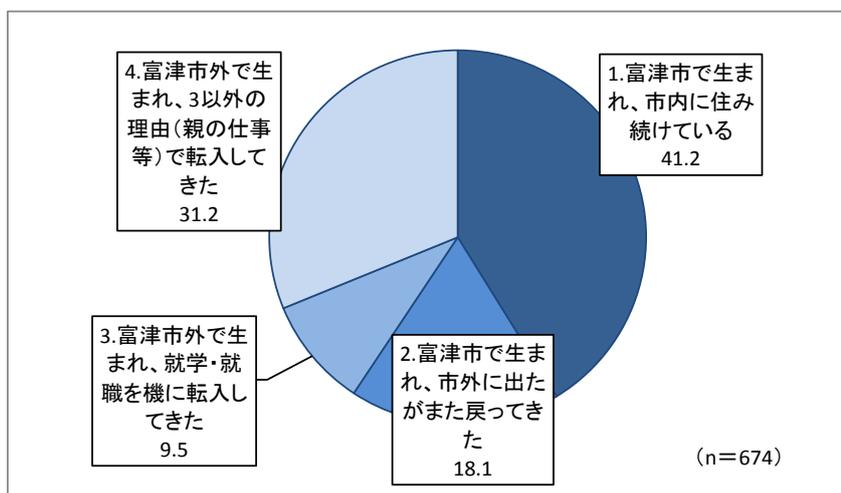
(3) 居住地区



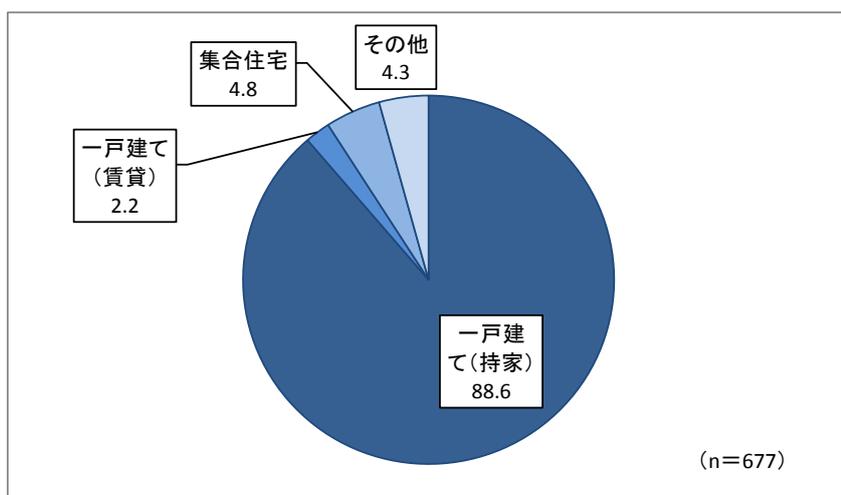
(4) 市内在住年数



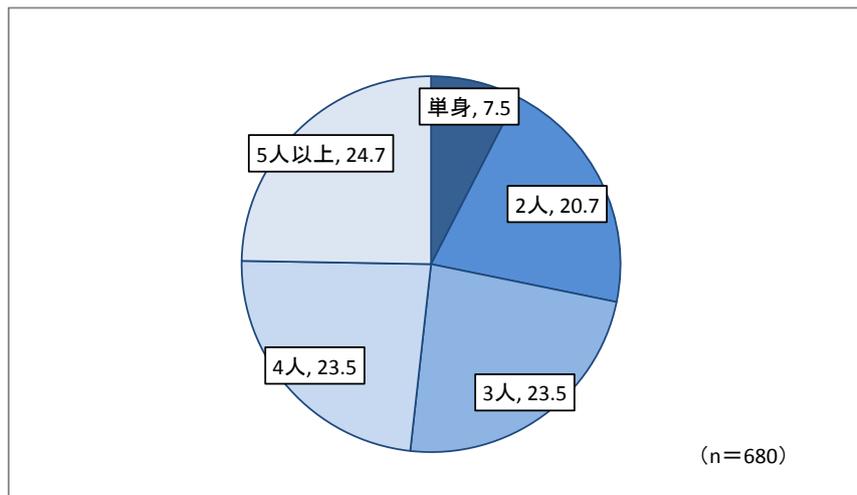
(5) 転入の動向



(6) 居住形態



(7) 世帯人員



(8) 同居者

